

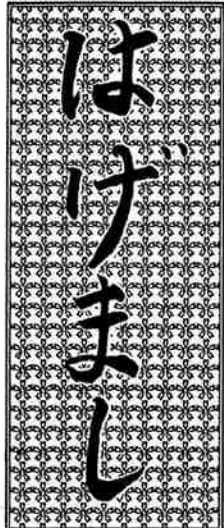
# 支援 心暖まる 千葉支部総会盛大に

当励ます会も十年目に入つた。機動隊員等の心の支えとして発足、隊員がその困難な警備任務を遂行するよう支援するといふ趣旨であり、今では隊員と国民のかけ橋として実を結んできている。

全国に東京本部と八つの支部を持つが、その中で最も新しく誕生した千葉支部が第三回目の支部総会を七月十四日、千葉市グランドホテルで開催した。県知事等関係者、機動隊員それに会員合わせて二百五十名の大盛況であった。

石井孝・世話人の開会宣言、厳肅な国歌斉唱、隊員殉職者に対する黙禱を捧げて内田順夫・千葉支部代表世話人が「規律正しい隊員の入場は平素の訓練を表すものであり、今後ともより一段の精進を期待する」と歓迎の挨拶。

当励ます会を代表して鈴木實、副理事長は「海外旅行から帰国すると、いつものことながら日本と治安の良さを改めて見直している。とくに千葉警備は、成田空港の警備で万全をはかっ



**発行所**  
社団法人 機動隊員等を励ます会  
東京都中央区八重洲2-4-14  
〒104 ミツヤビル3階  
発行人 鈴木 實  
TEL 03(272)2050  
購読料 年間1200円(送料共)  
(但し会費の中には購読料を含む)

ていることを感謝する。今後とも支援を続けていく」と励ました。米資はそれぞれ招待を受けた礼を述べるとともに、励ます会が心の支えになっていることを称えた。

沼田武・千葉県知事「千葉県の発展は目覚ましいものがあり、人口も間もなく五百万人になる。伴う法秩序の維持は大変だが、機動隊を中核とする警察関係各位に期待するところである。大波多三宜・千葉県警察本部長「治安の維持に注力しているが、現場は厳しいものがある。今後とも県・市民の負担に応えていきたい。」

次郎九嘉介・東京本部世話人の乾杯の音頭をきつかけに懇親会に移り、林幸・世話人の万歳三唱および閉会の辞で千葉支部総会は閉りが幕を閉じたが、励ます会の心暖まる支援は、隊員の心に深く刻み込まれた。

## 警備技術の習熟向上を

## 自然災害の発生に備えて

去年の長崎に続いて、今年も山陰地方が七月下旬、梅雨末期の集中豪雨に襲われ、死者・行方不明が百人を超える大惨事となった。とくに島根県内では死者・行方不明百二十二人を出した三十九年七月豪雨を上回る戦後最大の災害となった。

我が国は、地象的には環太平洋地帯に属し、また気象的には温帯季節風地帯に位置して、地震・台風・大雨等による自然災害が起り易く、毎年多くの人命や財産が失われている。

春の統一地方選に於いて保守現職の福岡県知事が、マスコミの大キャンペーン攻撃によりあえなく破れ去り、代って登場した革新知事がマスコミに御礼を云うかと思つたら、徹

持を込めて目録を贈呈、これを受けて奥書「管区および空港機動隊を代表して、佐藤省吾・新東京国際空港警備隊長は「物心両面の援助を受けて感謝あるのみである。隊員は重大な任務の身体でぶつかつていく」と謝辞を述べた。

九月一日は「防災」の日である。自然災害に対する救助活動もまた、機動隊の主な任務のひとつである。備えあれば憂いなしで、全国各地の機動隊とも日頃から救助訓練に怠りがないが、これは警視庁機動隊が七月中旬に行つた風水害警備合同訓練で、その一端を垣間見よう。

日頃の訓練成果を示す警視庁の風水害警備合同訓練が、東京・江戸川大橋上流右岸河川敷で披露された。

柴田善憲・副総監を先導官とし、総揮官が松浦清輝、第一機動隊長、参加部隊は各機動隊及び特科車隊千二百名、航空隊ヘリコプター三機、警備大五頭と一〇九隊等である。

第三機動隊と第八機動隊による越水防止の長平三段積上法(通常の土の積による上法、土留め鋼材と連結式水のか及びシート・パイプ棚等利用による改良上法)、第六機動隊の流水撤除緩和の牛工法、第五機動隊が洗堀防止の長フルコン工法

第四機動隊が堤防の崩壊、透水防止のシート張り工法、特科車隊が漏水及び噴出防止の月の輪、都市型上法、第一機動隊が撤流緩和の木流し工法、第九機動隊と警備大の夜間における埋設家屋からの救出、また、第七機動隊と航空隊がヘリコプター、舟艇による漂流者の救助をそれぞれ行つた。

第四機動隊が堤防の崩壊、透水防止のシート張り工法、特科車隊が漏水及び噴出防止の月の輪、都市型上法、第一機動隊が撤流緩和の木流し工法、第九機動隊と警備大の夜間における埋設家屋からの救出、また、第七機動隊と航空隊がヘリコプター、舟艇による漂流者の救助をそれぞれ行つた。

こうして機動隊員の訓練成果は、一旦事ある時にわれわれ都市市民の生命と財産を、自然災害から守ってくれることが全面的に期待されるものだ。



と云われる。新聞は正直な論評だけでなく、確かにオン・ド・ドックスな報道にもそれだけの紙面を割いてはいるのだが、読者に与える影響度については一体

と云われる。新聞は正直な論評だけでなく、確かにオン・ド・ドックスな報道にもそれだけの紙面を割いてはいるのだが、読者に与える影響度については一体

と云われる。新聞は正直な論評だけでなく、確かにオン・ド・ドックスな報道にもそれだけの紙面を割いてはいるのだが、読者に与える影響度については一体

と云われる。新聞は正直な論評だけでなく、確かにオン・ド・ドックスな報道にもそれだけの紙面を割いてはいるのだが、読者に与える影響度については一体

# 情 報 洪 水

本山事件、免田事件と各自を集める裁判の判決が相次ぎ、一般各紙は連日大きなスペースをこの報道に割いている。

判決文の全文や専門家の解説も紹介されているが、何とも気がかりなのは、一部でマスコミ判決と評してより左断定的な御意見が、ナ評議や社会面に書かれることである。

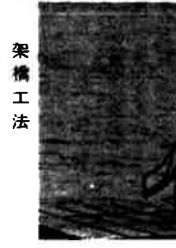
対此出来なくなっているのかも知らない。写真と短評解説で、ノゾキ見、露骨に売上げを伸ばしていること、もこういふ世相を反映していることだ

どのように考えているのだろうか？ 専門用語の羅列よりも、社会面の大見出しや気軽に目を通せる寸評の方が、いわゆる世論に与える影響ははるかに大きいと思われ。

底したマスコミ嫌いを宣言してしまつたのだから何とも滑稽な話ではある。これは大家世論に名を借りたマスコミの、政治家の使い捨て時代が始

っていることを最も象徴的に表しているのではなからうか？ 本日に駄目な場合の、政治屋の使い捨てというところはあつても良いのかも知れないが、大家がそれを先手後手からというので、マスコミが気に入らないからというので、一般世論を操作するとなると、何とも大変な時代の到来である。

情報の洪水の中で、いかに正しいものだけを飲みとっていかうかという事は未だ一般化してはあらず、法に対する信頼の薄れを心配するより、活字にあれば何でも事実のように見えるという活字神話が一、度崩壊することの方が先に必要をようである。



こうして機動隊員の訓練成果は、一旦事ある時にわれわれ都市市民の生命と財産を、自然災害から守ってくれることが全面的に期待されるものだ。





# 読者の広場



## はげましの朝食会

曾根貞雄

毎月中旬に「はげまし」の朝食会が、東京・赤坂のホテルオークラで開かれる。朝八時から始まるこの会には、七時半になると全国の各支部から三十名近くの世話人の方がお見えになり、ハムエッグとオートミールの朝食をとり、そのあと約一時間あまりにわたって講師の話を聞くことになっている。

講師には政治、経済、文化、教育等各界の第一線で活躍されている先生方をお招きして、ごく身近な話題を中心に講演される。講演後に講師との質疑応答が行われ、勉強会は最高潮に達する。

最後に大内理事長から、その月の行事の報告や会員の動向等「はげまし」の近況についてお話しがあり、次回の朝食会の日取りを決めて、十時頃に散会となる。

この朝食会は、昭和五十一年

## わが子を語る

平井徹哉

「わが子を語る」は、私にとって非常に難しいテーマである。生まれた時から現在まで、わが子の一挙手一投足に自分自身の過去を見るような気がして、何か自分自身を語らねばならぬといった不思議な感覚にとらわれるからである。

気が強いようで気が弱く、素直そうにみえて強情である。無頓着でいたいたもかからず何ごとに対しても放置するわけにはいかない。個体こそ違っても、まさに一体であるような気持ちがするのである。

私と息子とは、二六歳の歳の差がある。息子の生まれたのが昭和三十四年、日本の現代史で言えば都市化の時代といわれる最中である。「消費は美德」という言葉がもてはやされ、電化マイカー、レジャーのブーム現象があった。現在の世相の出発点となった年だったのかも知れない。

私の生まれた昭和七年といえば、満州事変の終りの年であり、その時代の相違というものは恐ろしい程大きなものがある。よくよく考えてみると、お互いに生まれ落ちてから二十五年間といふものは、一方は精神面からの内面思考の時代、他方は物質面からの内面思考の時代というように、表面的な形、環境面が異なるけれども、何か類似点があるような気がするのである。

しかも私の父は職業軍人、私はサラリーマン、生活の拠点は

官舎であり住宅である。その中で私の父は私に、「人とのふれあい」と「自分自身の決定による責任ある行動」の重要性を絶えず説き、同じことを私は息子に説いてきた。私自身その重要性を判ったかどうか判らぬが、過ぎてきたようか判らぬが、同じことを私は息子に説いてきた。私自身その重要性を判ったかどうか判らぬが、過ぎてきたようか判らぬが、同じことを私は息子に説いてきた。

「親に似たカメの子」に「子に似た親ガメ」ということで、お互い一人の人間としてせつかく生まれ来たこの人生を、人々と生き、また人々の為に誠心誠意生きようではないかと思うのである。

わが子が首都の治安を守る一人として立派に生きてもらいたいというのを念ずるのみではなく、「生きていく」のではなくて、「生きる」ということをお互いの信条としよう、なあ、息子よ、である。

(審判員 福井平井中隊長の妻)

## 北から南から

### 皇太子ご夫妻の警護万全

#### 沖縄県警察機動隊

沖縄県那覇市で開かれた第十九回献血運動推進全国大会出席のため、皇太子向妃両陛下が七月十二日と十三日の二日間、沖縄入りされた。

十七万八千の犠牲者を祭る糸満市の国立戦没者墓苑とひめゆり塔を参拝されて菊の花を献花、沖繩平和祈念堂の参観、また赤十字血液センターを視察される等、予定の行事を滞りなく終えられた。

今回の御訪問に当り、沖縄県警では七月八日から十三日まで六日間、厳重な警備体制をしいた。機動隊員を軸に沖縄県警から千八百人、県外応援隊員約千六百名、和歌山を除く近畿以西の十六府県から千八百人、計二千九百八人の警察官を動員し、過激派のゲリラ活動を完全に封じ込めた。

### 県総合防災訓練で成果を挙げる

#### 長崎県警察機動隊

長崎県主催による「総合防災訓練」がさきほど長門港臨海用訓練場において行われた。恒例のこの訓練には関係団体

約一千名が参加した。死者・行方不明者二百九十九名の尊い犠牲者を出した昨年の「七・二三長崎大水害」の教訓をとり入れ、想定をたため、県民の災害に対する関心はいやがうえにも盛り上がり、訓練を行行機動隊員の「一挙手一投足が大きく注目された。

我が機動隊は、一連の想定訓練の中で約四十分間にわたって(ア)アララック班による水難者の救助、(イ)救命索による漂流船の救助等の訓練を行った。

この日は、長崎地方に「強風波浪注意警報」が出され強風が吹き荒れる中で、本番さながらの訓練となったが、各班とも日頃の訓練の成果をいかんなく発揮した。またアララック班が円形捜索を実施して水難者を発見救助するとともに、救命索班が沖合い約百メートルの海上で漂流船のようになり揺れ動いている漂流船を救命索を命中させて漂流船を引き寄せ、乗員を無事救助し訓練を終了した。機動隊の一糸乱れぬ統制のとれた訓練は、見学者から盛んな拍手を浴び、県民の信頼を高めることができた。本訓練の成果を踏まえ、さらには厳しい訓練を積み重ねていきたい、と隊員は意気込んでい

### 訓練に裏打ちされた精強部隊

#### 広島県警察機動隊

広島県警機動隊は、本格的な風水害のシーズンに備え、県市及び中国地方建設局の共催による「太田川水防演習」に参加した。

機動隊の演習は、「集中豪雨により太田川流域の住民多数が孤立した」との想定に基づき、人命救助を中心とする諸活動を実施した。

具体的には、航空隊所属のヘリコプター二機と連携して(一)ヘリコプターによる偵察、住民に対する避難広報、(二)レンジャー隊員によるヘリコプターからの孤立地区へのヘリパリング降下、

### 歩行健脚訓練の実施で自信

#### 福井県警察機動隊

「中部日本海沖地震による大災害」、人々の頭からようやく忘れ去れようとしている昭和二十三年の福井大震災。すでに三十五年という年月が流れたものの、あの時の恐怖は未だに思い起こされる。

当隊では、これら地震等の災害に的確に対処するため、交通の遮断された被災地へ緊急に救助活動に出動するという想定で、このほど歩行健脚訓練を実施した。

この訓練は第一回目で、坂井郡吉原町波松海岸から福井市内の機動隊庁舎まで約三十三・五



普通段から警備実施や柔剣道などで鍛えている隊員も、体形的なハンディ(太ももの太さ)で苦勞している者も始まったが、分隊間の差は若開いて、分隊のまとまりは厚いといふ。意気込みで約二十五・五キロにあたる中央卸売市場の小休憩地点に着いた。

行程も終りに近づき、あと八キロともなると、どの隊員も五左衛門がでた。前半は地理的に距離感が合ひと分らないため、ペース配分が難しかったものの、ここからは自分達の運動範囲であるためペースがつかめ、足どりもすっかりしたものである。

午後三時半、機動隊庁舎に無事到着。一人も落伍することなく完歩することができ、今後とてこのような災害があっても大丈夫と一層の自信を深めた有意義な訓練であった。

「災害は忘れられた頃にはやってくる」と言われているが、機動隊では平素から厳しい訓練により体力をつけ、各種の災害を想定した迅速的確な訓練を怠ることなく実施して、突発事案に備えておくことが必要である。強く頼もしい機動隊を確立することが、県民の信頼に応える大仕事である。

今後ともこの種の訓練を実施し、災害に備えるよう努力してゆくとともに、

- 残書お見舞い
- 申し上げます
- 鈴木 實
- (株)三栄商会
- 奥村 武正
- 村山 文雄
- (株)上野百貨店
- 大洋製鋼(株)
- 栗田工業(株)
- 高周波熱錬(株)
- 石原 幸男
- 木村 利秋
- 橋山 和正
- 浅田 弥三郎
- 東海レベラー鋼業(株)
- 中京製線(株)
- 東海鋼材工業(株)
- 田島鋼材(株)
- 広島シャリーング工業(株)
- 石田工業(株)
- 東海鋼業(株)
- 金廣鋼材(株)
- 秋田ドラム工業(株)

# 今月の言葉

運転免許証の更新が行った。三年毎の手続きだが、免許証保有者の急増に伴って、行くたびに合理化されている。

視力検査も、昔の、紙に書いたコロンカクニココを竹の棒で指すのと違って、電動式である。免許証保有者のキャリアも、全国ネットのコンピュータにインフラットされているから、事故歴のチェックも、その場で直ちにこなされる。ひと頃前までは、更新免許証が出来るまで一週間かかったが、今では即日交付される。

さて、更新手続きのプログラムの中で、安全講習がある。その講習の中で、いつ頃からか、安全運転自己

# 鍛練の積み重ね

## 名実ともに治安の闘士



機動隊には治安維持という重責が課せられている。わが国は世界に誇る治安国家と評価されているが、その陰には機動隊を中核とする警察の万全な準備体制が支えとなっていることはい

有事に備えて励む隊員達



**発行所**  
 社団法人 機動隊員等を助ます会  
 東京都中央区八重洲2-4-14  
 〒104 ミツヤビル3階  
 発行人 鈴木 實  
 TEL 03(272)2050  
 購読料 年間1200円(送料共)  
 (但し会費の中には購読料を含む)

りまでもない。

機動隊員は警備活動の中心であるのみならず、災害発生時の救助活動にその威力を発揮している。そのためには有事に際して、日々の鍛練に怠りがない。

諸先輩の血と汗と涙による成果が、今日の輝かしい歴史と伝統を築き上げてきたわけだが、ここで改めて警視庁機動隊に登場して頂き、その三十五年の歩みを振り返らせてみたい。

### 警視庁機動隊の歩み

**一、警視庁予備隊**  
 昭和二十三年五月二十五日、警視庁に予備隊本部を置き、管内に四区隊(中央、南、西、東)を各駐させ、各隊とも八個中隊編成、四部制勤務で発足した。

**二、方面予備隊**  
 昭和二十五年九月十六日、方面本部(第一、第七)の設置に伴い、四区隊予備隊を拡充強化して各方面本部の下に、方面予備隊として改編された。しかし当時の警備対象は、数方面に亘るなど複雑多岐で画一的でなく、実情にそわない面から、実質的には警ら部長の直接指揮運用となった。

**三、警視庁予備隊**  
 昭和二十七年十月三十日、方面予備隊の指揮系統を改め、第一から第七予備隊と改称し、警備第一部長の直接指揮下で活動することになった。

昭和二十九年七月一日、警察法の改正に伴い旧国東京都機動隊五十名を吸収して、新たに警視庁第八予備隊が設置された。

昭和三十年一月十五日、客観情勢の変化等から定員改正が行われ、またそれまでの四個中隊編成が三個中隊(第六予備隊、七個中隊を六個中隊)に改編され、同時に四部制勤務が三部制勤務となった。さらに同年二月十一日に至り第八予備隊は、第一予備隊立川分遣隊となり実質七個隊となった。

**四、警視庁機動隊**  
 昭和三十一年二月十一日、警視庁の機構改正に関連して各隊の合理的配置がはかられ、二個隊を廃止して五個隊となり、編成も三個中隊であったものが四個中隊編成となった。

昭和三十三年五月二十五日の創設以来九年間にわたって親しまれた「予備隊」から、昭和三十

二年四月一日機構改正により「警視庁機動隊」と改称、警備部付置機関となった。

五十個隊体制

昭和四十四年一月十日、治安情勢の激化に対応するため機動隊の組織編成の改正が行われ、第六、第七、第八機動隊が新設され、続いて同年七月一日に特別科車隊、同年八月二十六日に第九機動隊(二個中隊編成)が新設された。

そして昭和四十五年一月二十一日、第九機動隊が四個中隊編成を完了し、ここに機動隊十個隊体制が整備された。

全国の都道府県警察機動隊員は、隊員としての自覚をもって諸先輩の残した大きな教訓に学び、さらに大きく飛躍することを目指して、きょうも精進を重ねている。

**一、創設と沿革**  
 昭和二十九年七月二十日に香川県警機動隊、一個小隊編成で発足。のちに本部警ら交通課本部警ら課付置を経て昭和四十四年四月一日、香川県警本部警備部機動隊として独立し現在に至っている。

**二、日常の勤務訓練状況**  
 昨年は四国四県の県機、管轄合同警備訓練を実施し、部隊間の連携を一層密にするにも、県独自では管轄・公僕との合同訓練を月一回実施した。さらに小泉ではあるが右翼の街頭活動が活発であり、右翼対策訓練を実施しながら行っている。

また、地理的に海に面する区域が広いこと及び大きさは日本一と言われる瀬田池をはじめ、灌漑用の溜池が二万個余り点在しているところから、アクアラインの出動も多く、機動隊の近々の海を利用して全隊員の訓練に取組んでいる。その他の出動は主として集団交通指導取締である。

**三、出動事例等**  
 昭和五十一年九月七日、県史上空前と言われる死者五十名、重傷者百二十六名という未曾有の被害を出した百七十四号の「隼」で有名な瀬戸内浮舟の「隼」の風、小豆島が臨時の内に廃墟と化した集中豪雨による

隊十六名が出て捜索を開始、被災現場から一・五キロ下流の中国の水際がみついているのを発見、無事救助した。

付近の住民等約百人が見守るなかでの救助活動によって、機動隊スキューバ隊の評価はさらに高まり、県民の警察に対する信頼も一段と高まった。

### 香川県警察機動隊 土石流災害であった。

出動途中、被災地までの道路は土砂崩れで遮断され、あるいは濁流の川と化し、部隊は思うように進めず苦勞の末やっと思いに到着したときは、陽は落ち付近は真暗闇になっていた。部隊が到着するや否や「家族が家の下敷になっているのです。すぐ来て下さい」との急訴を受け、一呼吸する間もなく救助活動を開始した。

これを皮切りに不眠不休、着のみのままの救助活動は二週間にも及んだ。特に被災直後、家を流し家族を失った被災者の状態にあって被災者として「機動隊が来たぞ」といふ言葉は「心の支えとなり、何よりも頼もしく感じたものなかつた」と被災者の一人である老人は述べてくれた。

### お知らせ

△北陸支部総会の開催  
 五十八年度北陸支部総会が十月二十五日(火)十七時より新潟グラントホテル(T.E.L.O.一五二一九一四三三)で開くことになりました。会員各位のご参加をお待ちしています。

△寄付金について  
 渡邊秀男氏の遺族より八月二十五日付で当会に百万円のご寄付がありました。故人は多数の会員入会を勧められ、当会の発展に大きく寄与されておりました。改めてご冥福をお祈りするとともに厚く御礼申し上げます。

△弔慰金の贈呈  
 三重県警機動隊員大藤忠義氏が去る八月殉難されました。当会の加納名百屋支部世話人代表が弔慰金に参列、弔慰金を贈呈しました。

診断というのを取り入れられて居る。これは、十問の質問があって、正解と思われるものにマルをつけ、模範解答をみて自己採点する仕組みになっている。成年者の過半数が無料で、あなたもこの正解は①④②③①②③④

# ルールのしつけ

① ② ③ ④

折する  
 折す  
 折す  
 折す  
 折す

この正解は①④②③①②③④

折す  
 折す  
 折す  
 折す  
 折す

折す  
 折す  
 折す  
 折す  
 折す

折す  
 折す  
 折す  
 折す  
 折す

折す  
 折す  
 折す  
 折す  
 折す

# 魅力ある機動隊にするために—警視庁—

「この世における最後の福音は、お前の仕事を知り、かつなせ、である」とイギリスの思想家カーライルは言っている。本当に自分自身の仕事を見出し、それに従事することこそ最高の幸福なのだということであるが、その為にはその仕事があり、また愉快地働ける環境がなくてはならない。

法秩序を守る先兵としての機動隊の役割は黄金より尊いが、隊員が徹底して任務を果たすには、心からその仕事をするに満足感が必要である。今回はとくに魅力ある機動隊づくりの為に努力をとりあげてみた。

**一 魅力ある機動隊の条件**  
機動隊は組織力の発揮を常に求められ、横と縦の線が重要視される。新隊員は新隊員らしく、組長は組長らしくすると共に、常に自分の置かれてある立場を考へるべきである。私は特務係員として、各種準備に於ける事前情報や法令研究、準備現場での探証活動、検査時の関係書類などがスムーズに行けるよう努めている。何事においても他力本願になり、機動隊を愛することが根本である。初心を忘れるな、という言葉を何度となく耳にする。これ程大切な事はないと私自身実感として感じている。この間に慣性に流れていく自分に気が付く事がたびたびある。前向きな姿勢をいつまでも崩すことなく自分自身の間に負けないこと。人生全ての基本と信じ、継続は力なり、という諺を心に誓い、今後の機動隊生活を闘いのあるものとして、人生を歩む覚悟である。

**二 形が心をつくる**  
**(一) 先般の異動で入隊した新隊員に質問してみると、多くの新隊員は「機動隊は男らしく、力強い場所である」と、**「機動隊の魅力を感じ自ら希望した」と答えているが、一部には、**①現代っ子らしく進むべき専門分野をはっきりと見定め、機動隊より別の方面に進みたかった**、**②機動隊は勤務時間が長く単調で、不規則な勤務である**、**③機動隊は三年で退隊となる**、**④年経ってはなげろ(逆もどき)であり、それより若く辛抱し内勤へ入りたかった**、などをあげ割切り切ったものも考えられている。  
一方、隊生活に慣れ、機動隊の味を知るようになると、**機動隊の魅力を感ずるようになる**、**①準備をやりとげた後の汗に生きがいを感ずる**、**②同年齢層の集まりである機動隊で青春を満喫したい**、**③努力目標である昇任試験**

**初心を忘れるな**  
**(一機) (特務係員) 伊藤紀男**  
警備のプロ集団である機動隊生活における日々は、毎日の精進と己の仕事に対する自覚と誇りだと思ふ。  
男として機動隊の門に一歩踏み入れた時から、治安警備の誓いだというのを忘れてはならず、雨が降ろうと風や雪の日であっても都民のために耐えねばならない。その姿こそ都民は安堵感を覚え、杖を高くして褒めるのであり協力を得る源だと確信する。  
次に、機動隊に入隊した殆どの隊員は昇任し、うれし涙を流して門を出て行く。その姿には、苦しく厳しい警備の合間を生活し、睡魔と闘い勉強した努力

**二 能力力をつくる**  
能力がいかんにかつていなくても、体力的な面でつけないのでは仕方がない。心身共に健康かつ強靱でなければ真の機動隊員として、又警備のプロとして通用しない。私は幸いにも、柔道への近道が機動隊であり、これを達成したい意識もはつきりとしたものである。伝統は隊員の心の支えである。伝統は隊員の心の支えであり、生きがいである。親は「カッパの二機」の愛称で親しまれ、これが伝統となっている。ホート、水泳、水難救助活動等をより強化し、これをもって団結力の推進役とする。  
5. 部外へのPR活動  
機動隊の真の理解を得るため、交通安全運動隊や署員家族慰安会等への音楽隊派遣、警察署が行う警備訓練等に対する指導員の派遣をはじめ、「機動隊だより」、「特務だより」等、機動隊のPR機関紙を各署に配布する。  
三、以上機動隊の魅力づくりについて私見を述べたが、いざれにしても、機動隊は若者集団であり、現代っ子特有のものと考え方を十分に取ったうえで、「形が心をつくる」といわれるように平素のきめ細かな機動隊づくりが大事である。



**男の仕事場**  
**(三機) (技術係員) 西垣正臣**  
近年、若い警察官の一部で機動隊離れや機動隊を嫌う傾向がある、という話を耳にする。  
若し人達が機動隊を敬遠する原因として、「重防警備が多い」、「各種講習に行きたくない」などが考えられる。他に、先輩後輩の間が厳しい、満期退隊すれば交番からやり直したというように、このような面ばかりとらえて打算的に敬遠しているのではないかと思ふ。確かに機動隊の新隊員訓練や先輩後輩の間は厳しい。しかし、昇任試験に合格した人達や、また満期退隊した人達で機動隊を悪く言う人は少ない。それどころか、機会があれば一度戻りたいと思つているはずだ。私自身機動隊を強く希望し、現在に至っている。機動隊の魅力はなにか。  
一言で言えば、「男の仕事場」である。狭い管轄内一人で行う仕事のと違い、男の集団で国の治安を守るといふ重要な仕事ができることである。それは、本能を押さえることができず、かどやかということができるかどうかがいふことである。社会生活において、人それぞれが言いたいことを言い、それを行いつけてきたら、社会秩序はなりたたない。社会的な制約を受けるのは当然である。人は、宗教やイデオロギーの違いがいかに多い、また、生きがいの価値観の違いが人の色分けをすることも多い。現代は情報過多社会である。  
幕末に生きた吉田松陰は、松下村塾において、塾生達によく「飛耳長目」という言葉を説いたといわれる。可能な限りの情報を集め、分析して、将来の判断資料にせよと教えたのである。「飛耳長目」といふ言葉は、治安を担う我々にとって最も重要なことであると思ふ。情報の取り方の是非により、部隊の死活を左右しかねないのではないか。このように情報の入り乱れた混沌とした社会において、機動隊員としての生きがい、使命感を全うすること、日頃の鍛錬を怠らず、良好な人間関係をつくり、勉学に励み、いざという時に役立つ強い姿であると思ふ。

**最大の努力を忘るな**  
**(五機) (中隊員) 藤 道隆**  
私がまだ麻布警察署で警察官であった頃、多くの機動隊員と常駐警備等と接することがあった。その時の機動隊員が、私は今でも忘れることができない。あのきびきびした動作、緊張感にあふれた顔。そして、彼のバチが輝いていたこと。  
私は、きつと何年か後に、機動隊員となり若し若しで活躍できることを夢見た。そして、私が憧れていた機動隊として、第五機動隊の門をくぐり、多くの訓練を重ね、まがりなりにも、基幹隊員となった。機動隊勤務は、署では経験できないものが数多くある。  
第一に、都内全域をほぼめぐり、あらゆる警備に遭遇することである。皇

**男の仕事場**  
**(三機) (技術係員) 西垣正臣**  
人間性に立脚した明るい職場づくり。足軽く出動できる環境こそ魅力ある職場といえる。士気向上による隊員の意欲の向上や、余暇を利用して、隊員が指向しているスポーツによるストレスの解消を図る。  
3. 人間性に立脚した明るい職場づくり。足軽く出動できる環境こそ魅力ある職場といえる。士気向上による隊員の意欲の向上や、余暇を利用して、隊員が指向しているスポーツによるストレスの解消を図る。  
4. 伝統主義に基づく育成組織を「やる気」にさせる、自慢できるもの即ち伝統が必要である。伝統は隊員の心の支えであり、生きがいである。親は「カッパの二機」の愛称で親しまれ、これが伝統となっている。ホート、水泳、水難救助活動等をより強化し、これをもって団結力の推進役とする。  
5. 部外へのPR活動  
機動隊の真の理解を得るため、交通安全運動隊や署員家族慰安会等への音楽隊派遣、警察署が行う警備訓練等に対する指導員の派遣をはじめ、「機動隊だより」、「特務だより」等、機動隊のPR機関紙を各署に配布する。  
三、以上機動隊の魅力づくりについて私見を述べたが、いざれにしても、機動隊は若者集団であり、現代っ子特有のものと考え方を十分に取ったうえで、「形が心をつくる」といわれるように平素のきめ細かな機動隊づくりが大事である。

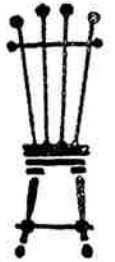
**男の仕事場**  
**(三機) (技術係員) 西垣正臣**  
人間性とは、金があればこと足りる。しかし、それだけで満足できない。心にかかっているべきではないか。それが生きがいであり、他生を担う責任である。人間は百八の煩惱を持つといわれる。人間の欲の多い生きものは、いなかろう。例外もあるだろうが、他の生きものは生命を維持するために、また生命を守るために、人生を生きる。また私利私欲で人生を生きる。またある時は、何の意味もなく命をとり。  
有史以来、仏教、キリスト教、イスラム教、ヒन्दゥ教等数多くの宗教が生み出された。また唯物論なるコミニズムもい。地球人四十億人の考え、人生はすべて異なるのである。地球が誕生して五十億年と言われ、その中で人類の歴史は瞬時である。  
しかし、その短い歴史の中にも、先駆者達が培った大きな遺産がある。我々はそれを引きついで行く義務がある。人類が誕生して以来、戦争のない日が一日もないというくらいは、聞いては好む。現在でもイラン、イラク戦争、アフガニスタン、南米等闘いは絶え間ない。  
人は、聖書を持つ手と銃を握る手があがるように、心の中に天国と地上で最も残酷な生物であると共に、底知れないやさしさも兼ね備えている。動物との違いは、本能を押さえることができるかどうかがいふことである。社会生活において、人それぞれが言いたいことを言い、それを行いつけてきたら、社会秩序はなりたたない。社会的な制約を受けるのは当然である。人は、宗教やイデオロギーの違いがいかに多い、また、生きがいの価値観の違いが人の色分けをすることも多い。現代は情報過多社会である。  
幕末に生きた吉田松陰は、松下村塾において、塾生達によく「飛耳長目」という言葉を説いたといわれる。可能な限りの情報を集め、分析して、将来の判断資料にせよと教えたのである。「飛耳長目」といふ言葉は、治安を担う我々にとって最も重要なことであると思ふ。情報の取り方の是非により、部隊の死活を左右しかねないのではないか。このように情報の入り乱れた混沌とした社会において、機動隊員としての生きがい、使命感を全うすること、日頃の鍛錬を怠らず、良好な人間関係をつくり、勉学に励み、いざという時に役立つ強い姿であると思ふ。

居、国会、迎賓館等の常駐警備は日本の政治・経済・文化の中心、首都東京ならではの任務であり、私自身、歴史を作っているという使命感と誇りをもてることである。  
第二に、若い力の集まりであり、がっちりとしたチームを組んで、突き進むことのできることで、他に勝るものはない。  
第三に、各種資格取得、教養訓練の場が充実しており、自己の心身を鍛える場として、機動隊以外にはないといえる。しかし、単に良い職場環境だけで受身の姿勢で受け止めていたのでは、今の進歩もなく時の経過とともに、単なる思い出としに残らないのではないかと、そこで、第一、昇任試験に合格する、第二、多くの友人を得る、三、各種資格を取得する、の三点を目標に努力をしている。  
機動隊の本質は不変であり、強い若者の集団であることに確信する。社会情勢の変化に対し、重防警備が守るの警備から攻めの警備へと大きく方向転換した。すなわち少数精鋭で対処することの方針は、今まで以上に隊員一人ひとりが、研究心と広い視野をもつことを要求され、まさに新たな魅力である。「魅力とは人から与えられるものではなく、自分で作り上げるものである」と思う。  
私自身多くの上司や同僚と接





# 読者の 広場



## 近所付き合い

A・O 生

空澄む仲秋である。秋といえはよく引合に出されるのが芭蕉の句「秋深き隣は何をする人ぞ」である。

さて、この「隣は何をする」といつのうたか、それがさつり分りかたくなりつつあるのが、近年來とみに強まっている傾向である。

人が転入、七万人が転出して、百万人都市だから、かなりの部分の人が入れ替わっているが、これ以上の大都市となると、その相談事もさらに大変な件数になっていることは想像に難くない。

昔は関東などでは、向う三軒両隣りに引越せば配って挨拶するのが習わしであった。それが、だんだんに少なくなってきたのは、プライバシーという妙な言葉が広まったと時期を同じくしているように思う。

「プライベート」が私生活を「隣人愛」といったものは、戦後もありましたが、この言葉の普及と共に計なませつかいとして非悪視されるようにされたようだ。

それが次第々々として、一人暮らしが死後何日もしてから腐臭で発見されたとか、隣の過激派学生が爆竹を作っても知らなかったとか、何でもかんでも

「カラスの勝手でシ」で片付けられる御時世になった。しかし私は「隣人愛」というものは、例えそれがせつかいであれ、善悪に基づくものであれば、いつの時代でも美德であり、特別な例外を除いて必要なのであると思う。

電話帳に名前をのせない人も

## 今の仕事を大切に

秋田県平鹿郡 加賀 敬治

前略 春男君、元気でやっていますか。今、田舎は家族共々忙しの毎日を送っています。

月日の経つのは早いもので、君が警視庁の警察官となってから、もう十年になろうとしています。君は今、機動隊に勤務しているそうですが、同じ警察官と、交番や田舎の駐在所とはだいぶ異なる仕事のように思えます。たまたまテレビでみる機動隊は、いつも物々々しい、その度に家族は君のことを心配しています。時には危険が伴うこともあるでしょう。それでも君が選んだ道なのですから、ともかく真剣に取り組んでください。

父は思います。どんな仕事をやるにせよ、一番大事なこと、それは君の今の仕事に真剣に取り組んでみることに、そして、今の生活を大事に、感謝の気持ちを忘れずに、何事も真剣に臨んでゆけば、君にとって必ずや悔

いのない人生を送ることになると思います。

特に警察官は、世の中の治安のため、法によって人を律するといふ、なくてはならない大変な仕事です。それだけに世間一般の人よりも、より真剣に考えて行動を律していくべきだと思います。

そして、それなりに色々と苦労も多からうと思いますが、それゆへ、警察官は世間の人々から信頼され尊敬されているのです。

君は、決してその信頼を裏切ることのないように、自分の行動をよく見詰めて、仕事に勉強にますます精進してください。

父は期待しています。

実は、父は君の頭の下がる程、下がれば下がる程、人の見上げる程の花

(書見所四機 栗原春男中隊長の美文)

## 三十八年間の感慨

滋岡 長平

中小企業では八月十五日前後に盆休みを取る。郷里での墓参を終え戦没者追悼式をテレビで見て居ると、三十八年間の様々な感慨が浮かんで来る。

足かけ四年を軍務につき乍ら第一線を体験出来なかつた自分



人であつた広島、長崎の報道は強烈であつた。

あの奇烈な沖繩戦が米軍を押し、本土決戦を避け、原爆使用の途を選択せしめ戦争を終結に導いたのであつた。

首里で病を癒す従兄の足跡を兼ね、旧敵漸く念願の沖繩の地を訪ねることが出来た。

麻文仁の兵、姫百合の塔など南部戦線に詣でること、贖罪を果し、風化しかかつて居る自分の戦後が漸く終つた様な気がした。

然し、若手の沖繩の人達に接して見聞したところは、戦後はまだ終つて居ない。先ず当時三人に一人は非業の死を遂げ、住居財産が灰燼に帰した記憶は容易に消し去り得べくもない。

主権回復後も島の中核部には巨大な軍事基地が置かれ、県民生活は得難くより来ではない様である。昨今の国際情勢下において、国民の意識は複雑なものがある様に感じました。

ひるがえって、彼の大戦の戦禍にかかわらず、我が国は史上かつてない復興と繁栄を享受して居る。勤労、適応力、協調性など優秀な国民の質に基つて、ことに異論はないが、戦後の幾かの開戦、経済民主化、労働組織教育制度など近代的な外来の制度導入に負う所も少なくない。

更に局地的紛争は別として、永年の世界平和と国際経済体制の有利な枠組の中で自由貿易の円滑な差行が我が国を利して居るからである。即ち我が国今日の繁栄は、自身の力よりはるかに多分に諸外国の力に依存し、且つ歴史の犠牲に支えられて来たのではなにかと思ふ。

従つてこの複雑な世界の中に於いて我が民族、我が国家を生活して行く前提は世界の平和の持続しかない。

然も卓越した核大国のパワーの均衡下に維持されて居る世界平和の中にあつて、我が国の軍事力を増強すると云つても、それは自ら限界がある。

曾て我が国が覇権を唱えようとしたアジアの近隣諸国は固より、第三世界を含めて少しも世界に平和と繁栄をもたらさずため、犠牲を惜しまず、援助協力して行くことが我が国の将来に最も必要なことではないかと思ふ。

そのためには戦前の単純な国防主義は固より、昨今は「ハマーンカーン」氏がおたぬに於て「ワン・ユー」が犠牲を捨てて世界の中の日本人として謙虚な態度で諸国民に接し、モノとカネだけでなく、他を助かすことに依り自らを動かす精神が必要であると思ふ。

そう云う努力に依つてのみ、この大戦に依る自他の犠牲者の鎮魂を果すことが出来ると思ふ。過去を忘却して目前の繁栄に心を奪われて居るとすれば、今が凋落の兆しが現れる時ではなからうか。終戦の日に当り、思いつくまま所感を書き記した次第である。

旅先などで見知らぬ山や川に出合ふ、土地の人にその名を聞いた途端、何となく懐かしさを感じ、山や川に親近感をもつてしまふことがある。

行きずりの土地においてさえ、こうなのだ。人々が自分の住む土地に愛情と誇りをもつて名前

限らない愛着

高嶋 四郎雄

をつけ、その謂れの中に歴史や由来を伝えようとしたのは当然である。

もちろんそこで語られる歴史は、史学上正しいとはかりはいえない。しかし、過去の事実を巧みに踏まえたものである。例えは私の郷土を一例で紹介

住む土地への 限らない愛着

尾張(名古屋)地方に住む人々が、温暖で風光明媚なこの地をいかに愛し、いかに誇りに思っているかを裏づけるものである。

今、私達が住む町や村の謂れをもう一度じっくりと思ひ起こす時、その歴史に初められた昔の人々の思いは、私達に失つてはならない多くのものを思い出させてくれるに違いない。

私の現在の居所は今川義元の重鎮、岡部元信の鳴海城の城の一画にある。



N・H・K大河ドラマでお馴染みの尾張地方には城址や神社古戦場などが多い。これはこの地方が京都に近く、東海の要地として交通の便も良く、総り豊かな尾張平野をひかえ、戦前にもっとも適した地形であつた。戦国時代の郷土の歴史の歩みは、日本の戦国時代の歴史の縮図とも思われるほど重要な地区であつた。

又、郷土資料によれば、名古屋は那古野台を基礎として発展した土地である。東に丘陵地帯、西および北に低地をひかえ、地形は極めて人の住むに好適地である。

然しながら那古野台の地形は坂道が多く、都市の形成をなすには先ずこの丘陵の平坦化が必要を要するであり、坂道の平坦化がなされたわけである。坂道の歴史的意義は、詳細を知ればこの地区の歴史を詳細に判明するといつても過言ではあるまい。

名古屋城が完成し、城下町名心としたもので、加藤清正の軍兵によって丘陵地は平坦化されたと伝えられている。これらの背景はすべて今日につながる。

- |       |        |      |        |      |      |             |         |          |      |     |      |        |         |        |          |      |           |      |         |         |         |         |
|-------|--------|------|--------|------|------|-------------|---------|----------|------|-----|------|--------|---------|--------|----------|------|-----------|------|---------|---------|---------|---------|
| 治安のフコ | 頑張れ機動隊 | 大内俊司 | 東鋼業(株) | 杉尾榮俊 | 谷本隆夫 | (株)スチールセンター | 大東港運(株) | 高周波熱錬(株) | 木村政次 | 黒田一 | 村上益一 | 国見山(株) | 丸定産業(株) | 明鋼材(株) | 伊勢湾海運(株) | 中村是一 | 三和鉄構建設(株) | 高橋重廣 | 飯田産業(株) | 中條鋼材(株) | 新瀉鋼機(株) | 三福商事(株) |
|-------|--------|------|--------|------|------|-------------|---------|----------|------|-----|------|--------|---------|--------|----------|------|-----------|------|---------|---------|---------|---------|



# 今月の言葉

長い世界の歴史を通して、これほどの短期間に驚異的な高度成長を遂げた国は、かつてその類例を見ない。…など世界中から賛賞されている日本。先日、どこかのマスコミが実施したアンケートによると、日本人の大多数が「自分の生活は中流以上」と大層思っていることが明らかになった。

誰もが豊かになったことはまぎれもない事実ではあるが、あまりにもわずかな年月のうちに急成長したために、悲しいかな一夜成金は、その物質的な豊かさに見合うだけの歴史の裏付けが乏しい。

つまり恵まれたのは物質だけで、心の貧しさまで急激に変わりようがない。物心両面にわたって貧富のアンバランスがたまたま目立つ昨今である。

心の貧しさとは、この場合、いわゆるの短期間に驚異的な高度成長を遂げた国は、かつてその類例を見ない。…など世界中から賛賞されている日本。先日、どこかのマスコミが実施したアンケートによると、日本人の大多数が「自分の生活は中流以上」と大層思っていることが明らかになった。

誰もが豊かになったことはまぎれもない事実ではあるが、あまりにもわずかな年月のうちに急成長したために、悲しいかな一夜成金は、その物質的な豊かさに見合うだけの歴史の裏付けが乏しい。

つまり恵まれたのは物質だけで、心の貧しさまで急激に変わりようがない。物心両面にわたって貧富のアンバランスがたまたま目立つ昨今である。

## 物質の豊かさとは心の貧しさ

科学的根拠もないのに、いかに、もともとして、七月二十三日から二十五日の間に、東京は関東大震災と不安に陥れるものでは、デパートの災害用品売場では、ミネラルウォーター、乾パン類、懐中電灯、薬品などを、バックにした結構高価な災害対策用品が飛ぶように売れる、なん

人間は弱いもので、心底からは信用してはいなくても、もしかしら、不安に陥れるものでは、デパートの災害用品売場では、ミネラルウォーター、乾パン類、懐中電灯、薬品などを、バックにした結構高価な災害対策用品が飛ぶように売れる、なん

大迷惑を受けてはならないか、をデマの発信者は真剣に考慮して、事実は、東京大地震の噂で、その期間中、家族をあげて地方に避難した人はいない。シートではなく、本光業者が、本の著者を生徒する、といきましている、ということもな

にあって、してやったり、とほくそ笑んでいるに違いないが、標的となつた富士山周辺の住民や、観光業者の心の中も、この辺りまで、われわれは消費社会の豊かさに奪われた、貧しき心が反省して見る必要がないだろうか。

徹底的にガマンを重ねることで、いまや国民的TV番組になった「おしん」が、人々の不幸に異様な関心を持つわりには、同情しない日本人の特質があるのかも知れない。一度、われわれは消費社会の豊かさに奪われた、貧しき心が反省して見る必要がないだろうか。

# 若い新隊員を迎えて 盤石の態勢作りを励む

秋と春の二回は異動の季節である。警視庁機動隊も九月の異動で新隊員を迎えた。

隊員はほとんどが、始めて経験する機動隊の生活に緊張した面持ちで、選ばれて入隊できた喜びと、警察署勤務によって培われた信念など、これからの期待と不安を交錯させて隊門をくぐる。

そこで待ち受ける新隊員訓練は、予想以上に厳しいものというものが大方の受止め方であり、その思いは各隊員の胸深く刻み込まれていく。

警視庁の新隊員訓練は去る九月二十日・二十七日に行われ、二十七日の春間て成果が披露されたが、これからの訓練を積み重ねていくことで、赤銅色の積まれた体、精神を顔つき、風爽とした機動隊員へと養成されていくことになる。

心身を鍛える場  
機動隊はいりまでもなく、警備が本来の仕事である。しかしそこはまた教養訓練や柔剣術等を通して、隊員の心身を鍛える教育機関的な役割も果たして



警備のプロとしての訓練

一、沿革  
終戦直後の昭和二十年八月二十四日「警察力整備拡充要綱」の政府閣議決定により同年八月二十六日、米軍の本拠進駐に備えて警備隊を設置した。

これが機動隊の前身で、県内福島、郡山、若松、前市の四市各々に配置され、進駐軍の警備及び接収された建物・物資の警備を任務としていたが、当時の詳しい資料は乏しい。

昭和二十三年七月一日混乱した社会情勢に対処するため「機

福島県警察機動隊  
動隊」が設置された。昭和二十四年日共の掲示板撤去に端を発した平事件、松川事件、翌年五年レッドパージ闘争等各種不法事件が発生、世相騒然となり治安情勢は憂慮すべき事態となつて、機動隊がさらに強化された。

以後警ら交通課機動隊、警ら課機動隊、警備部機動隊と発展しながら昭和四十八年四月一日「福島県警察機動隊」となり、現在に至っている。

二、日常の勤務及び訓練状況  
日勤制となりながら治安・災害・術科訓練に精励しているが、本県が他県と最も異なる点は右翼対策に対する訓練であろう。

本県には多くの右翼団体があり、諸行事には抗議行動を起し、その都度機動隊が出勤しこれに対処している。本県の三大警備といわれる「県青年団結集會警備、県教組大会警備、五色の集い警備」には機動隊、管区機動隊のほか県内各署の二機を合わせ、大警備を毎年実施している。

三、その他  
機動隊が、昭和二十一年建設の木造モルタルで古くなったため、現在十万余平米の敷地に航空隊、交通機動隊、機動検査隊、空隊等と共に機動隊舎の建設計画が進められており、既に交機隊、機動隊は移転準備に入っており、近い将来機動隊も広大な敷地と新庁舎において精一杯に勤務を見通してある。

また隊員を「精進」「忍耐」「剛健」と定め、これをモットーに精励している。おわりに「はげまし」には本県機動隊が紹介されることはもとより光栄で深く感謝する。



発行所  
社団法人 機動隊員等を励ます会  
東京都中央区八重洲2-4-14  
〒104 ミツヤビル3階  
発行人 鈴木 實  
TEL 03(272)2050  
購読料 年間1200円(送料共)  
(但し会費の中には購読料を含む)

あり、若い警察官の人格形成の場でもある。

したがって、気力・体力を練磨する機会や昇任試験に向けての勉強など、第一線の警察室に比べると職場環境は恵まれている。

本誌九月号でも特集したように、機動隊は数多くの魅力を持つた職場である。新隊員はそれ

それが自分の心に誓った目標を持っていくが、悔いのない機動隊生活を謳歌して行くであろう。

それが必ずや実を結び、いずれ迎える退隊時には「機動隊にきてほんとうによかった」という充実感に結びついていくことになるが、各機動隊ではきょうも盤石の態勢作りを励んでいる。

北から南から  
他府県の応援を得て日教組大会警備  
岡山県警察機動隊  
岡山県警察機動隊は、他府県警機動隊の応援を得て、八月三十日から九月二日の間は厳戒体制をしき、最大時は機動隊を軸に三、〇〇〇人(うち県外支援一、二〇〇人)を出勤させ、期間中四四件二六人(うち現行犯逮捕二〇件三二人)を検挙した。

なお今回は大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、滋賀、愛知、鳥取、島根、広島、山口の十一府県から応援派遣があった。



### 隊員の士気が益々向上

#### 三重県警察機動隊

三重県警察機動隊は昭和二十九年七月一日、新警察法の施行に伴い、警備部全通課に属する「特設機動隊」として誕生した。その後幾多の変遷を経て、昭和四十四年に所属を昇格し、昭和五十二年三月三十日、外動課に付置されていた方面警備隊(警備機動隊)と改称、警備部機動隊と改称合併し、「警備機動隊」として現在に至っている。

毎朝点呼時に、四キロのマラソン訓練を行い、先ず汗を流すことから一日の目録が始まる。各隊員は、個人毎のタイムが張り出されるため、いやがうえに競争心が湧き、また、毎日の体調も一目でわかる等、体力強化に効果をあげている。

各種の警備訓練は、県下の警備実施の中核部隊としての自覚とともに、基本訓練、応用実戦訓練を反復実施している。一方、アクアラング、爆発処理、レンジャー等の機別別訓練は、隊員の適性に於て各班に所屬させ、それぞれ班ごとに年間計画を策定して、それに基づき計画的な訓練を行っている。

中でもアクアラング班は、昭和五十六年一月十六日発生した長島温泉における現金集金強奪事件(三億円事件)に次ぐ多額現金被害(六千四百万円)では、水中捜索を担当し、証拠品多数を発見した。

困難を極めた事件解決の一翼を担ってからは、水中捜査官として、県下で一躍脚光を浴びることとなった。その後各種事件



情報等を活用した訓練を行い、自信をもって出動した。

長時間の部隊輸送と宿泊は船上であったが、全員疲れもなく旺盛な士気のもと全力をあげて沿道警備に従事した。

陸上で任務に従事しても、船の影響で体が自然に揺れているような錯覚に陥ったり、湿度九十九パーセントという高い不快指数の中で勤務や激しいスクーパーに見舞われ、無機嫌に急ぎビニールカバーを取りつけて通

信手段を確保したなど、隊員は今までにない尊い経験を得て無事に任務を終了することができた。

復讐の部隊輸送も船であったが、船上の人となり、沖繩県警から送られた感謝状をながめつつ、応援隊の任務を全うした各隊員の笑顔と各府庁を耳にしたとき、今後機動隊の充実を期し、管区機動隊に寄せられる期待に応えたい気持ちでいっぱいであった。

の捜索活動に従事したのをはじめ、今年に入ってから三豊郡港内野木場の海中に白い車らしきものが沈んでいるとの連絡により出動し、ヘドローの海中を捜索し車面を発見、車内から白骨化した男の死体を引上げるなど、発見以来百回を超える各種犯罪の証拠品の捜索、水没車両の発見等に目覚ましい活躍を示した。アクアラング活動は、一歩誤れば隊員の生命にかかわる危険な活動であり、高度の技術が要求されるため、六月末の両日、機動隊員全員が木田郡鹿野町の

海岸で訓練を実施した。素もぐり訓練、スクーパー潜水訓練等の基本訓練を実施し、応用訓練として、電線海中に投棄し自由捜索法、電線捜索法、横断捜索法などの方法により実践さながらの捜索活動を行った。

その後、溺者救助訓練、マウスツーマウス法による人工呼吸の訓練を実施し、技術の練磨と強固な団結力、不倒不屈の精神の養成がされたが、これからも全員一体となって、日々訓練に邁進していく。

体育館において開催された四国電力伊方原子力発電所三号機設置にかかわる第一次公開ヒヤリング警備は、県警史上未だ経験したことのない大奮闘実施となった。十一月十日から出動した。

事前警戒にあたるのと同時に、十一月十六日からは、本県二機地区機は勿論九州、中国、四国管区機動隊の応援を得て、警備実施を行い、ほぼ完璧に所期の目的を達することができた。

### 練度向上の訓練に怠りない 和歌山県警察機動隊

#### 一、沿 革

昭和三十一年八月に設置され、昭和四十五年現在地に新庁舎が落成して以来、今日に至っている。発足当時は一ヶ小隊であったが、昭和五十六年に管区機動隊一ヶ小隊を統合することとなり、現在は二ヶ小隊編成である。



二、隊の勤務

第一小隊は、柔剣道特生が二ヶ分隊、一般隊員が一ヶ分隊の構成であり、平常の勤務は警備訓練の他、警備隊の維持整備が主たる任務となっている。

第二小隊(管区機動隊)は、必要警備訓練日以外は、原則として和歌山市内三署で分駐勤務(警ら、交通取締り等)に従事している。

三、訓 練

部隊としての練度向上を図る訓練は、柔剣道特生期間終了後から重点的に実施している(このうすれば春の異動後は重点を新隊員訓練にむける)。夏期は、柔剣道特生二ヶ分隊を除いた四ヶ分隊を中心に練度の向上を図っている。二ヶ小隊在隊しているときは、小隊を中隊と仮定編

成し、中隊訓練も実施している。庁舎裏手は山岳となっており、近く(五十キロ)の山上にテレビ中継所がある。この中継所に通ずる道路を利用して、山岳の遊撃、ゲリラ対策訓練等も行っている。隊員は、ゲリラ要員となつて山間部に潜伏するとき、近(五ヶ谷)に(まひしが)住むが、あるため、びくびくして入山する有様である。

機能別訓練については、第一小隊を中心として爆発処理、レンジャー班、アクアラング班を指定している。

本年春から、部隊特科として各分隊と、通信、写真、広報要員を指定し、分隊別行動においてそれぞれ特科要員として活動ができるよう訓練に励んでいる。

一、創設の沿革

愛媛県警察機動隊は昭和二十七年九月十三日、国家地方警察愛媛県本部警備部警務課交通課所屬として発足した。その後機構改革により警備課となり、更に昭和四十四年四月五日、愛媛県警察管区機動隊が誕生、幾多の変遷の後、昭和四十五年三月一日に第一機動隊と管区機動隊を統合して、「愛媛県警察機動隊」として所属を昇格独立した。

更に昭和五十五年五月一日、管区機動隊が松山東警察署業務を解除され、名実共に独立所屬として運営され、現在に至っている。

二、勤務及び訓練状況

勤務は、県機も管機も日勤制で年間、月間及び週間の勤務計画に基づき、治安警備訓練を中心に各種訓練を実施している。しかし県機と管機は、任務が若干異なるため日常の勤務訓練状況も違っている。

県機は、治安警備訓練のほか災害警備訓練、爆発処理訓練、山岳救助訓練、水難救助訓練等機能別訓練をはじめ柔剣道、けん銃等の術科を計画的に反復して実施している。

管機は、治安警備訓練を最重要点としている。特に本県では伊方原子力発電所問題をかかえ、集団警備力の真の中核としての警備力向上を図るため訓練を積

### 船にゆられて沖繩へ派遣出動

#### 兵庫県警管区機動隊

兵庫県警管区機動隊は、七月中旬の八日間、沖繩県で行われた第十九回献血運動推進全国大会への「皇太子」向妃両殿下の行啓に伴う警備のため出動した。

沖繩県へは、過去三回の実績をもつ部隊ではあるが、今回の隊員はそのほとんどが初陣である。

### アクアラング部隊の活動状況

#### 香川県警察機動隊

昭和四十三年七月に数名で発足した機動隊のアクアラング班は、今年七月から十五年になり、現在は新隊員を除いて全員が潜水免許を取得し、日夜訓練に励んでいる。

過去の活動を振り返ると、昭和四十九年七月の台風八号(死者十九名)、昭和五十年一月の台風十七号(死者五十一名)で小豆島を襲った未曾有の大災害に、当機動隊アクアラング班は遺体

### 各種訓練を反復して実施

#### 愛媛県警察機動隊

日課は、隊員の早朝トレーニングから始まる。朝礼時には隊長訓育、指示、隊員による三分間講話があり、九時頃から週間計画に基づきその日の訓練が開始される。

三、出動事例

機動隊発足以来三十余年、数多くの事案に出動してきたが、その中で次の二つを紹介したい。

(松山山岳射撃事件)

昭和三十九年六月五日、松山市内での山岳射撃大会と地元暴徒の対立抗争事件が発生し、市内の四階建のビルに組員五名が跳落する事態ももたらされた。その際、第一機動隊が出動し、所轄署員とともに被疑者を逮捕した。

(伊方原発第一次公開ヒヤリング)

昭和五十七年十一月十八日、県下西宇和郡伊方町「町見」メルトでの捜索、二十メートルからの緊急脱出訓練等を実施して、自信のある出動に備えている。レンジャー班、潜水班等機能別にも、小世帯であるため一人三役の併用であるが、全隊員が各種訓練に積極的に取り組み、各種事案に即応できるよう技術の習熟に努めている。

四、エピソード

二年程前の県外出動中のことである。検問現場に到着したのが深夜で、街灯もなく附近の状

### 大分県警察機動隊

#### 新隊員訓練

況はまったく分らない。時間の経過とともに、便意を催す者が次々と見られるようになっていった。一人また一人と消えていった。「野黄の原則を知らんやつがいる」と煽って来た隊員が言っただけらしい。



# 私の体験記



## 警視庁機動救助隊 新隊員集合訓練に 参加して

埼玉県では、昨年八月レスキ

一部隊が三ヶ分編成され、

現在まで主にレスキュー資器材

の取扱訓練を実施して来た。

六月六日から十一日まで第三機

動隊で実施された警視庁機動救

助隊新隊員集合訓練に、私たち

七名が参加した。

私は、派遣が決定された際

「日航機羽田沖墜落事故」など

で大活躍した警視庁機動救助

隊の訓練に参加できる喜びが、

胸の中で激しく交錯したことを

思い出す。

派遣初日、訓練参加者の自己

紹介が各隊ごとに行われたが、

各隊員の元気の良さや目の輝き

が、機先を制せられる思いがし

た。又、警視庁警備部幹部の訓

育は、私の狭い視野を広くし

くれるものであり、同時に世界

のし門自身が、有事の保護の要員として、自隊の活動に貢献する。そのためには、自隊の活動に必要とする知識や技術を、訓練を通じて身に付ける。また、隊員としての責任感や、チームワークの大切さも、訓練を通じて学ぶ。今回の訓練は、まさにそのような貴重な機会であった。

十分な活動ができるか、大きな不安があった。また、被災者の気持ちを察する、一刻も早く遭難者を発見収容してやらねばという気持ち、途中の奥羽山脈のすばらしい景色も目に止まらず、車中では一睡もすることができなかった。翌四日午前二時三十分、青森県との県境である目的地に到着し、直ちにその日の午後から捜索が開始された。現場は、何事も無かったかのように穏やかで、登りきったコバルト色の海であった。ただ、海にそそり立つ岩肌には大きな亀裂が入り、がけ崩れの跡が地震と津波の威力を生々しく残していた。私達が活動する周囲には、夫を亡くした妻、子を捜して欲しいと無言の悲しみにくれる方々の姿があった。静まり返った中にも「ピン」と張りつめた雰囲気の中で、現場活動であった。

関係者の期待に応えるべき必死の捜索も、訓練のように上手にいかず、自己の未熟さに腹立ちと焦りを感じたものであった。しかし、レスキュー活動には、いかなる時も冷静、安全、確実が大事であるという考えを押し、捜索活動を続けた。捜索を開始して三日後の午前十時頃、約りに来ていて、被害に遭われた秋田県警の捜索官の遺体を発見し収容した。冷たい海底十数メートルでの、無言の同僚者との対面に不思議な巡り合せを感じた。変り果てた夫を見ただと、夫は「お父さんです。一番最後でよかったです。」「悲しみの心を抑えての言葉を聞いた時、胸のつまるのを覚え、捜索官の厳格な姿勢を改めて痛感した。

捜索に従事中、関係者や付近の住民の方々が、資材を運んでくれたり、寒いだろうからと火を焚いたり、体を温めてくれたりと、われわれの励みとなり、疲れを吹き飛ばしてくれた。これは、われわれ捜索官が、誠心誠意責任を果たそうと努力する姿を見ての真の協力と思ふ。未知の日本海で、警視庁水難救助隊の一員として活動できたことは、大きな誇りとなった。

また、訓練では体験できなかった自然の力の大きさと、それに立ち向う自己の技量の未熟さをすることもできた。この体験を生かして、いかなる悪条件でも水難救助隊員としての活動できるような訓練に励み、技量を高めようという決意を新たにされた。四日目の六月七日、午前九時過ぎ、私の班は沖合三百メートル地点で捜索活動に入った。水深八メートル、岩礁が多く、捜索は困難をきわめた。潜水して二十分は経つたろうか、岩の隙間に堂一柱位の薄雲状の穴があるのを発見した。穴の上を通過すると、丸太のようなもの二本があるのかすかに見えた。「何だろう」と上からじっと見たが、泥のようなものがかぶってよく見えない。手で泥と砂を払うようにしてタコと握ると、丸太ではなく硬直した遺体の足だった。「発見したぞ」と知らせると、捜索隊にどよめきの声があがった。しかし、「やった」という気持とは裏腹に、遺体が大勢で泣き叫び、抱き合っている姿に接すると、複雑な気持ちになった。

捜索活動を終えた日、この地に来て始めてゆつたりした気持ちで海岸沿いに歩いた。海や山がこんなきれいだっただけを始めて知った。名響ある捜索隊員として選ばれて派遣された喜びと、仕事の重責を全う出来た安堵感からであろうか。この人々の姿を見てみると「何としても見つけてやる」という気になり、お互い疲れきっている隊員同志、励まし合い必死に潜った姿が忘れられない。秋田での活動を終え、六月十四日帰庁に向う。我々連帯担当の任務はこれからだ。」「百里の道も九十九里をもつて中途とすべし」の諺を肝に命じ、途中の安全運転に努め第二機動隊に無事帰着した。深夜にもかかわらず、警備部参事官、災対策課長、各隊長をはじめ多くの方々の出迎えと、慰労の言葉や頂き、疲労した体の中に心からの満足感を味わうことができた。

横十間川 墨田区から江東区に流れる横十間川。午前六時の朝もやをつけて川面に掛け声が響く。息の合った四本のオールは、力強く律動的な水を切る音に目をさせられた水鳥が飛びあがる。ボートの訓練で大切なことは、オールで水を撥かき進むこと、走らせることであり、勝つためには、一人ひとりがいかに息を合わせ、漕ぐかを常に考えることである。そのことに最大の努力を傾ける。

足 墨東セロモートル地帯の水難を守る「カッパの二機」の別名を持つ第二機動隊を拠点に、警視庁ボートクラブが創設されたのは、昭和四十五年十月である。コーチは、早稲田大学ボート部0日で、同大学のコーチを歴任された下平司氏である。同コーチから厳しい指導を受けているが、学生より根性がある、よくがんばる、教えがいがある、との評を得、着実に実力をつけ成長してきた。

戦績 一、国民体育大会第五位(昨年度) 二、全日本選手権競漕大会第三位(昨年度) 三、全日本社会人乗艇選手権大会優勝(昭和五十五年) 四、ウエスターレガッタ優勝

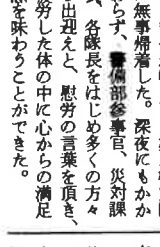
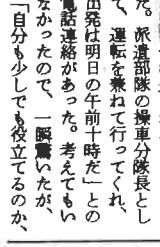
### 紹介

## 警視庁

# クラブ活動

ボートクラブ

(昨年度) 五、東日本競漕選手権優勝(本年度) 下町の声援 艇からみた川の両岸は、高いコンクリートで固められ、人々のつながりを断った。単なる水路でしかない。そのコンクリート護岸を越えて下町の人々との人情を結ぶのが、我がボートクラブである。



# 読者の広場



## 五十肩バンザイ

須藤清司

ある日突然、腕が上にあげられなくなった。後ろにも回らない。無理をするとよけいに痛くなる。

医師に診て貰うと、何でもなさそうに、「ただの五十肩です」と言われた。たしかに五十肩ではないのだというのだが、念のため、通称アカホンと呼ばれる分厚い「家庭の医学百科」の千二百何十ページを開いてみたら、つぎのように説明してあった。

「五十肩は、ホワイトカラーや主婦がかりやすい病気で四十才五十才くらいの初老期に多い……」

さて私は、当年とって六十二才になる。気持ちは四十才ぐらいのつもりだが、自分の記憶をたどっても、確かに生まれてから六十二年は経過しているのだ。容貌その他、冷感な現実はいかに致し難い。そこで初老の氣に入つたのは、この「初老期」という言葉である。

どうも意味が判然としない言葉ではあるが、何となく、老人といふにはまだ早い年頃というニュアンスのように思える。とすれば、初老期向きの病氣にかかった私も、万更捨てたもではない。

私たちの年代は、年をとる過程ではたいへん恵まれて来たと思つていい。五十近くになると、四十七才の抵抗という小説で、

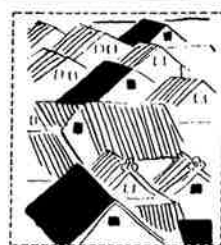
「コチャイも、私ぐらいのものかも知れないが、ともかく気分的には逆に元氣になったのだから不思議である。」

## 東京が故郷

佐藤寛

私達家族が住む町は、東京では下町と呼ばれる地域で、私も子供達もそこに生まれ育つた。家と家、路地と路地、肩を並べながらも堅実に生きていく町、そんな町が私達の故郷である。

かつては難関で、藤野原になった町もある。歳月とともに、また生まれ変わる、住む人々はさまざまだが、情は昔と変わらぬ。地方のように身近な所に近い自然はないが、それでも少しばかりの空地や空間には、丹精こめた四季折々の草花が咲いている。



## 新婚時代

三原さだ子

東京へ来て、あつという間に二ヶ月が過ぎようとしています。何もかも目新しく、慣れない事ばかりで失敗の連続の毎日ですが、笑い話になるようですが、九



しかし戸惑いの中に、段々と東京の良さが出て来まして、私にとって此処は第二の故郷になりました。前置きが長くなりましたが、この辺で私達の馴れ初めを紹介させていただきます。

主人と知り合ったのは去年の十月です。私はそれまで、脇目もふらずにたずねる一筋の女性だったのです。ところが、突然「いい人がいるから会おう」と周囲のヤイノヤイの声に押され、やむなくお見合いをするはめになりました。それが最初の出会いになったのです。一目会ったその日から、恋の

## お父さん

田口貴之(小五)

ぼくのお父さんは、いつも仕事ばかりで、ぼくが休みの時でも家にいることがあまりありません。でもお父さんが休みになると、ぼくと妹を相手に遊んでくれる時もあります。そういう時のお父さんは、ぼくと同じ子供のようによくふざけます。

ある時は、トドのようにいきまをかいて昼寝をしています。また、野球で巨人が負けると、気が悪く大声を出して騒ぎます。そういうお父さんを見ると、おかしくて、ぼくも大声を出してしまいます。けれど

花咲く事はなかつたのですが、主人の情熱に負けて今年の四月十五日に式を挙げました。しかし、結婚するまで主人は東京、私は佐賀と随分離れた所でしたからデートらしきものは殆んど無し、電話で声を聞き、手紙で心を通わせるといふ、プロトニックな清い交際でした。そのようなことから私達、結婚したという感じが今一つピンとこないのです。新婚時代というよりは、恋人時代に入ったところなのです。悪しからず、これから、この町と私の運命の二世を運んで来て貰うのを楽しみに待っています。益々幸せな明るい家庭を築いて行くつもりです。皆様これからもどうぞよろしくお願ひします。

私のお父さんは、いつもたばこを吸っています。だから部屋の中は煙だらけです。休みになると、ねっころがりながら吸って

てかと言つて、お酒を飲むと少しはましな感じがしてしまふからです。部屋の中は煙だらけだけれど、私はとてもうれいことがあります。それは、ときどきアイスクリームやシュークリームを買ってきてくれることです。だけれど、私が寝てしまつてから、お父さんが帰ってくる時があるから残念です。うれいことのもう一つは、休みの時に、時々土手に行つてボール投げやマラソンなどをして遊んでくれることです。でも、ふつり休みの時は、お父さんはだいたいテレビばかり見えています。お父さんの好きなテレビは時代劇と野球です。時代劇や野球がある時は、私は好きなテレビを見られないので、「早く終わらないかな」と思っています。野球が早く終わった時、私は「早くチャンネルを変えたいなあ」と思っています。でも、終わったころには、寝る時間とぼくと見れません。そんな時、私は「お父さんが泊まりだつたらいいなあ」と思つたりします。だけれど、やっぱりお父さんが泊まらない方が楽しいです。私は、お父さんとお母さんでは、お母さんが好きだけれど、お父さんの方がもっと好きです。

- 当助ます会の支部総会および懇親会が下記の日に開催されます。会員各位がお誘ひ合わせの上、奮つてのご参加をお待ちしております。
- お知らせ**
- ☆東北支部総会 十一月十四日(月)十七時三十分から十九時 仙台市本町一丁目二ウエティンクパレス平安(電話)三二六五五一(一)にて。
  - ☆大阪支部総会 十一月二日(金)十四時から十六時 大阪市東区丙本町橋詰町五十八大阪商工会議所ビル6F(一)国際ホール(電話)六一九四四一(五二五)にて。
- 護る日本の治安  
 機動隊意気高く  
 新東運輸(株)  
 周東商会(株)  
 嘉悦学園(学)  
 岡部(株)  
 光洋商事(株)  
 日誠総業(株)  
 東南貿易(株)  
 高周波熱錬(株)  
 高島浩一  
 姫田清美  
 西戸栄一  
 加納保成  
 松田鉄鋼(株)  
 野口直志  
 堀口海運(株)  
 豊鋼材工業(株)  
 大川鉄工所(株)  
 金森藤平商事(株)  
 柴田鉄店(株)  
 北海鋼機(株)

# 今月の重宝

日本有数の大富豪が、「できるものなら、全財産を投げ出して『青春』と交換したい」と言ったとか：「若いという事は最大の幸福である。昔は人生五十年といわれた。どこから生まれ、どこに行くのかわからぬまま、さりとて誰かの腕に飛び込む勇気もないうちに、五十歳になつてしまった。」

ところが平均寿命が延びてきて、余命二十年とか三十年とか言われ出した。気がついてみると、体力はこれから確実に落ちる一方である。

## 今日が一番若い

だが「青春」をあがり財力もなし、回春に卓効ある薬石の情報も持ち合わせない。その貴重さに気が付か

ず、無為に過ごした日々を悔んでも始まらない。山を下り始めてみると、今の瞬間が一番高い所にいるわけである。と

あると考えたら、楽しさが心の底から湧いてきて、幸せいっぱいになってきた。あずまた、私にとって一番若く

すると羨された人生のなかで、一番若い日は今日である。私にとって一番幸福な日は今日である。先日のテレビで、いつも若々しい美人作家野野子さんが、「若さとは人のお役に立とうとする心である」と言われていた。

幸いなことに、またあの階段で荷物のお手伝いをさせて貰える体力がある。

若さあふれる機動隊の皆さんが、もてる若さをフルに発揮して、社会のために尽くされている姿に、敬意と尊敬をこめて感謝すると共に、この幸せな日々がずっと続くよう更に努力したいと思う。

# 治安の闘士が真価発揮

## 世界のVIP来日・重要行事…



警視庁が合同警備訓練を実施

## 首都嚴重警備態勢

十月中旬から十一月下旬にかけて、一カ月以上の長期間にわたる首都嚴重警備態勢が敷かれた。

折しも国際情勢は同時多発的に大事件が起っている。最近数カ月間のアジアだけでみても、スリランカの人種暴動、フィリピンのアキノ氏暗殺とマルコス大統領退陣要求の高まり、ソ連の大規模航空機撃墜、ラングーンでの緬甸政府軍人への爆弾テロ…。

とくに、この性質を問わずテロ事件が増える傾向にある。今年に入ってから、レバノンを始め中米、ヨーロッパ、南アメリカ等各地でテロや暗殺が増える中で、テロの無差別化・凶悪化が指摘されるのだ。ペイルト国際監視軍米・仏軍本部への爆弾テロはまだ記憶に生々しい。

数年前にCIAは、第二次大戦後、世界各地に生まれたテロゲリラ組織は、世界約五十カ国に百四十組織あると報告している。

増大するテロの無差別化

折しも国際情勢は同時多発的に大事件が起っている。最近数カ月間のアジアだけでみても、スリランカの人種暴動、フィリピンのアキノ氏暗殺とマルコス大統領退陣要求の高まり、ソ連の大規模航空機撃墜、ラングーンでの緬甸政府軍人への爆弾テロ…。

とくに、この性質を問わずテロ事件が増える傾向にある。今年に入ってから、レバノンを始め中米、ヨーロッパ、南アメリカ等各地でテロや暗殺が増える中で、テロの無差別化・凶悪化が指摘されるのだ。ペイルト国際監視軍米・仏軍本部への爆弾テロはまだ記憶に生々しい。

数年前にCIAは、第二次大戦後、世界各地に生まれたテロゲリラ組織は、世界約五十カ国に百四十組織あると報告している。

「動作の隙」とは、「先んずれば人を制し」遅ればはるに制せられる」の古語にもあるように、先の気力と決心に欠けることである。この隙をなくするためには、機会を得た時は、間髪をいれず、勇断に果敢にそして敏速に行動すべきであるという。

先望からお聞きした話であるが、警備にも五つの隙があるという。その一は、ほっとした隙である。緊張の中でふと気を抜いたときに陥りがちな隙である。その二は、もたれ合いの隙である。向うがやってくれてるというという一人合点の隙である。その三は、まさかの隙である。予測の範囲外、つまり意外の隙であり、詰め甘さが指摘される。

その四は、気移りの隙である。対象や目標以外に目を奪われた時の隙である。その五はぼんやりした隙である。悪い意味での放心状態における隙である。目的意識の薄弱が責められる。

そのほか、「これならうまくいくだろう」といった安易な妥協や「これ位はいいだろう」といった思直さに欠けた融通性、或いは、余りの緊張で突如の判断や機敏な行動がとれなかった等により苦汁を飲まされた警備も少なくない。

従って過去幾多の警備の辛酸は、こうした隙から生じていることを深く肝に銘じておかなければならない。

日本の治安のレベルが国際的に再評価されるといって、まさに警視庁史に残る重要な警備である。折しも、この警備に従事できる機会にめぐりあえたわれわれは、極めて光栄に思うとともに、その責任の重大性を自覚するものである。

将来、後輩や子々孫々に誇りをもって語り継ぐことのできることを期すべく、緊張一帯、隊員の一人ひとりが自己の任務に全知全能を傾け、隙のないよう全の警備でこの重責を遂げよう。

首都厳戒であるが、この治安維持の中核となったのが機動隊であることはいうまでもない。

十月十二日の田中角栄元首相に対するロッキード事件判決に続いて、世界のVIP来日など一連の重要行事などが相次いだ。十月十八日・二十三日・ノルウェー国王オラフ五世来日、二十一日の国際反戦デー、二十一日は天皇陛下の昭和記念公園と視察、三十一日から十一月四日までコル西独首相、十月九日には米国・独首大統領、また十一月十三日の中国胡総書記来日等と警備・警護・警備出動は目白押しであった。

増大するテロの無差別化

折しも国際情勢は同時多発的に大事件が起っている。最近数カ月間のアジアだけでみても、スリランカの人種暴動、フィリピンのアキノ氏暗殺とマルコス大統領退陣要求の高まり、ソ連の大規模航空機撃墜、ラングーンでの緬甸政府軍人への爆弾テロ…。

とくに、この性質を問わずテロ事件が増える傾向にある。今年に入ってから、レバノンを始め中米、ヨーロッパ、南アメリカ等各地でテロや暗殺が増える中で、テロの無差別化・凶悪化が指摘されるのだ。ペイルト国際監視軍米・仏軍本部への爆弾テロはまだ記憶に生々しい。

数年前にCIAは、第二次大戦後、世界各地に生まれたテロゲリラ組織は、世界約五十カ国に百四十組織あると報告している。

「動作の隙」とは、「先んずれば人を制し」遅ればはるに制せられる」の古語にもあるように、先の気力と決心に欠けることである。この隙をなくするためには、機会を得た時は、間髪をいれず、勇断に果敢にそして敏速に行動すべきであるという。

先望からお聞きした話であるが、警備にも五つの隙があるという。その一は、ほっとした隙である。緊張の中でふと気を抜いたときに陥りがちな隙である。その二は、もたれ合いの隙である。向うがやってくれてるというという一人合点の隙である。その三は、まさかの隙である。予測の範囲外、つまり意外の隙であり、詰め甘さが指摘される。

その四は、気移りの隙である。対象や目標以外に目を奪われた時の隙である。その五はぼんやりした隙である。悪い意味での放心状態における隙である。目的意識の薄弱が責められる。

そのほか、「これならうまくいくだろう」といった安易な妥協や「これ位はいいだろう」といった思直さに欠けた融通性、或いは、余りの緊張で突如の判断や機敏な行動がとれなかった等により苦汁を飲まされた警備も少なくない。

従って過去幾多の警備の辛酸は、こうした隙から生じていることを深く肝に銘じておかなければならない。

日本の治安のレベルが国際的に再評価されるといって、まさに警視庁史に残る重要な警備である。折しも、この警備に従事できる機会にめぐりあえたわれわれは、極めて光栄に思うとともに、その責任の重大性を自覚するものである。

将来、後輩や子々孫々に誇りをもって語り継ぐことのできることを期すべく、緊張一帯、隊員の一人ひとりが自己の任務に全知全能を傾け、隙のないよう全の警備でこの重責を遂げよう。



**発行所**  
 社団法人 機動隊員等を助ます会  
 東京都中央区八重洲2-4-14  
 〒104 ミツヤビル3階  
 発行人 鈴木 實  
 TEL 03(272)2050  
 購読料 年間1200円(送料共)  
 (但し会費の中には購読料を含む)

## 隊員が支援を感謝

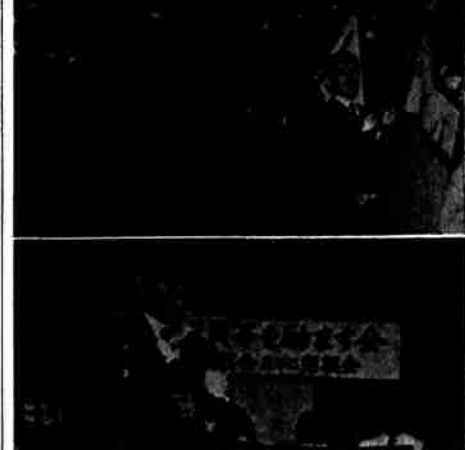
## 北陸支部総会盛大

当助ます会北陸支部の第七回支部総会が、十月二十五日十七時より新潟県グラントホテルで開かれた。助ます会から百二十二人、それに機動隊員等を招いて、合計三百余人の一大イベントである。橋本誠・支部世話人の開会宣言で始まり、藤田文雄・北陸支部世話人代表が「引続き頑張つて欲しい。当会も支援を続ける」と力強く励ました。

来賓として君健男・新潟県知事は「警察治安は機動隊を抜きにしては考えられない。機動隊は集団警備の中核であり、警察機構と国民のかけ橋になっている」と、長岡茂・新潟県警察本部長は「当地区が日本海の中心都市となってきたに伴って出動が増えているが、助ます会の支援に応えるべく精進していく」とそれぞれ挨拶した。

嘉悦康人・助ます会監事の乾杯の音頭をきき、ついで懇親会に移ったが、県知事、警察本部長、大内俊司・助ます会理事長等が警察音楽隊のバンドに乗って十八番の歌を披露、錦浪花をそえた。

新潟県警察機動隊長の謝辞、全員が勇壮に機動隊の歌を大合唱、松田武彦・名古屋支部世話人の万歳三唱で閉会となったが、熱気に包まれた宴であった。



① 隊員入場 ② 演壇喝采の大内理事長熱唱

# 隊員の働きに島の人たちが感激

## 三宅島噴火 復旧作業に従事

### 警備活動や降灰除去など

伊豆諸島三宅島の雄山大噴火による被害はなお記憶に新しい。天災は予期しない時に起こるが、三宅島の噴火は昭和三十七年以來二十一年ぶり。

幸いに人身事故がなかったがこれは島の人たちの日頃の心遣いによるものである。公営バスを直ちに避難バスに切替え、乗り遅れた人達を沖合から引き返して救助にあたった漁船の活動などを特筆されるが、山腹から流出した溶岩は阿古地区、薄木地区の部落を全滅させた。

農漁業の中心である阿古地区が壊滅したほか、島の重要な観光資源である村営牧場や新澤地(しんみょういけ)が溶岩の大きな流れに吞み込まれ、島の農地の四分の一近い土地が火山灰をかぶった。

災害予知の難しさを改めて思い知らされるが、大噴火の後遺症がまだ癒えぬところへ台風十号の暴風雨がさらに追打ちをかけたものであった。

延べ千五百人を派遣

噴火による多量の溶岩流と降灰。この復旧作業ははじめてもなるとは思われていたが、警視庁は去る十月四日から十八日までの十四日間、機動隊員六百六十八人延べ千五百人を派遣して、三宅島の治安維持と復旧活動を応援した。

避難誘導、行方不明者の捜索、交通規制、避難場所の警戒、防犯パトロール、降灰作業と泥流防止など隊員の懸命な働きに島民は率って感謝感激したもので

ある。これは災害復旧作業に派遣された隊員達の生の声を聞いてみよう。

教えられたこと

技術係(巡査部長) 九機・武田易美

見渡すかきりの火山灰に覆われた坪田地区。樹木は倒れ、車のフロントガラスが割れ、家屋は今にも火山灰の重みで倒壊する。電気、水道、ガスがストップし、頻発する地震にのびのびと住みながら、こんな惨状に私は啞然としてしまった。

そして、不気味に黒煙を吹き上げ、今にも私達に襲いかかろうとするかのような「雄山」を背景に、私達の活動が開始された。昼間は避難・危険区域等の警戒、夜間は交通規制地点の常駐警備と、連日当番勤務であったが、疲労した体に鞭を打ち、懸命の勤務を続行した。



技術係(巡査部長) 九機・武田易美

命の勤務を続行した。疲労もピークに達したある日、目をくまを、つくり、火山灰で真黒く汚れた駐在所勤務員の姿に、私はいたたまれず、少し休むように勧めるとその駐在所員は、「私の担当区は、自分が守ります。村の人が寝ていないので、私も寝ないで頑張っているのです」との返事に、自分の愚かさを感ぜずにはいられなかった。

そしてこの真向いの若い警察官の言葉に、真の警察活動の在り方と、地域住民と一体となつて活動できる素晴らしさを教えられた。

十月十一日、台風接近に伴って、私は相動員二名と、車で阿古地区へ向った。昨日から溶岩流の上にて仮設道路が開通しているが、いまだ危険があるため、警戒が必要とされたためである。台風接近に伴い風雨が強くなり、路上の水面が波をうち、溶岩流から多量の水蒸気が立ち、ほり、しだいに視界が悪くなる。溶岩流からわずか十メートルの地点にいる私達三人は、顔を合せることなく危険を回避する



島民代表が感謝の挨拶

たぬ車の移動を開始した。その後、アツという間に視界がゼロとなった。「至急、無線連絡だ。このままだと車が溶岩流に転落するぞ。」せっぱ詰まった状況下での無線交信に声も高まる。引き続き「崖崩れ発生...」脂肪がうなを走った。

溶岩流の水蒸気と暴風雨の中で、阿古地区に孤立してしまつたのである。ますます強くなる風雨に不安を抱きながらも、与えられた任務を遂行するため退避は許されなかった。

そんな折、目の前で車が急ブレーキを掛けて止まった。阿古の漁港にいた伊ヶ谷地域の住民が、家や家族のことが心配で戻りたい、と必死の思いで出発してきたとのことである。非常に危険で通すことができないと再三説明しても説得に応じないばかりか、いままに実力行使に出そうを気配である。相互の間に険悪感が流れた。

その時とさの思いつきで駐在所に駐在所へ無線連絡、駐在所の一言は絶大である。こうして天候回復待ちとなつたのである。

おののく島の人々の心情とが交錯する中、複雑な気持ちで派遣の日を迎えた。

竹芝橋でいざ船が出発という時に、子供連れの三十歳くらいの男性が私達に近づいてきた。「三宅は私の生まれ育った島です。老母が一人で島にいますので、仕事の間で今帰ることでできず不安でやきもきしているところです。お巡りさん、どうか三宅をたのみます」と神にのみすがるかのように何度も私達に頭を下げたのである。この言葉に私の心は奮い立ち、期待に応えるべく「全力でやろう」と決意を新たにした。

三宅島は、昨年十一月に天皇・皇后両陛下の御警衛のため派遣された当時の美しい面影はない。不気味に噴き出す白煙、巨大な溶岩が至るところで道路を塞ぎ、多くの家屋を呑み込んでいた。大自然の力の大きさをまざまざと見せつけられ、うって変わった島の姿に驚いてしまつた。

島の状況から、私達には一刻の猶予も許されず、着いたその日から作業を開始した。一輪車、スコップ等手帳、老人や一人暮らしの家を中心に屋根の灰降しから始めた。島の人々は機動隊員の姿を見る度に「よろしくお願ひします。ご苦労です」と声を掛けてくれると共に、中には手を合わせ拜むようにして何度も頭を下げる人もいた。

ある老人宅の作業中、七十歳くらいのお婆さんが「本当に有難いことです。灰に覆われた我が家の事を考えて心を痛めていたことです」と目一杯一杯涙を溜め、何度も頭を下げた。その姿を見て、流れる汗も疲労も忘れ、みんな一丸となって共に全力で頑張った。

私にとって今までこれほど人々に期待され感謝されたことはなかった。夕方にになると身体はくたくただが、島の人々を見るたびに、私を含め全隊員が「俺達がいれば誰かやれる」と自分なりに聞かせ作業を続け、ある日、島の役員三人が私達が休憩しているところに来て開口一番「俺は機動隊を見ては

れない」と言っているのである。何を言っているのかと耳を澄ましてみると「機動隊は昼食のあとほんの短かい時間、みんな死んだように寝ている。俺は可哀相で見たいられない」とのことである。

作業の時は「あの家をやって下さい、次はあれです」と、遠慮なく言ってくる人達だが、我々の事を心から心配してくれていることが痛感され、とても嬉しく思った。それと同時に、疲れが少しずつとれていくような気がした。

私はこの度の三宅島派遣を通じて、都民の警察に対する期待が、いかに大きなものであるかを実感するとともに、警察の使命が崇高なものであることを再認識した。

今後はこの体験を生かし、都民の信頼と期待を得るため更に一歩一歩努力していきたいと思つている。

部隊活動の陰で

限られた材料で精一杯作った料理を、隊員ははらうと言って全部食べてくれた。当初は、一人当たり一七〇グラムの米を炊いたが、これでは足りず、一八〇グラム、二〇〇グラムと増え、最高二〇〇グラムにも達した。一五〇名が一俵半を食べたのである。普通、隊員は一五〇から一六〇グラムであるから、いくらか炊いて中間に合わないという嬉しい悲鳴であった。てんやわんやであったが、嵐の中で活躍した部隊のことを思えば、私達は恵まれている。

こうして無事任務を遂げることができたのも、部隊の活躍と地域の人々の多大な協力、そして補給班九名の団結の結果ではないかと思ふ。これからは、隊員に喜ばれる料理作りを尽力したいと思う。

任務完遂の満足感

広報係(巡査長) 特車・田中亨

「三宅島雄山噴火、阿古地区一帯に溶岩流が流れ壊滅状態」



補給係(巡査部長) 九機・中川敏夫

全力を尽くして

第三中隊(巡査長) 九機・檜山 豊

派遣の命令を受け、多少の不安はあったが、機動隊員を代表し、島の人々の救援に派遣されるという名誉と使命感、噴火に



第三中隊(巡査長) 九機・檜山 豊

私は補給班の責任者として、三宅島へ派遣を命じられた。現地では華々しい活動は出来ないうが、裏方に徹し、一致団結、美味しいものを作り、隊員に喜んでもらおうと補給班でそれぞれ決意した。

限られた材料でいかに美味しく、かつ、疲労を回復させる料理を作るかを考え、一人前の量を多くし、スタミナが付き温かいご飯を提供するよう努めた。そして何よりも真心を込めた手作り料理を心掛けた。更に島の人々に緊急提供する場合も考慮し、多めに料理を作ることにした。

我々の職場は「泉屋」という食堂である。そこには非常に協力的で厨房を開放してくれた。始めての場所と慣れない道具を使うため、思ったより時間がか

かっただ。

料理を終え、各部署に配布し、終了がわがわがと、私達の食べる御飯が一粒も無い。よく考えてみると、御飯を配分するときに「みんな腹を空かしているから、もう少し入れてやろうか」と言いがかりにやられた。作業をやり、自分達の分も入れてしまったのである。その時はみんなで大爆笑し、補給班全員が車座になって食べたインストラクターメンのうまかったことは、今でも忘れられない。

毎日の作業内容は、朝五時起床で御飯を炊き、豚汁等を作つて配達し、食べ終わった豚汁を計って食器類を下げ洗い、全部の作業が終わるのが夜八時頃になる。

また、野菜を少しでも長持ちさせるため、傷かかけたところは切り落し、これ以上傷まないようにキャベツや大根を一本一本新聞で包み込む。そして、昼休み等で余裕がある時は、近所の家の火山灰を取り除く作業もや

限られた材料で精一杯作った料理を、隊員ははらうと言って全部食べてくれた。当初は、一人当たり一七〇グラムの米を炊いたが、これでは足りず、一八〇グラム、二〇〇グラムと増え、最高二〇〇グラムにも達した。一五〇名が一俵半を食べたのである。普通、隊員は一五〇から一六〇グラムであるから、いくらか炊いて中間に合わないという嬉しい悲鳴であった。てんやわんやであったが、嵐の中で活躍した部隊のことを思えば、私達は恵まれている。

こうして無事任務を遂げることができたのも、部隊の活躍と地域の人々の多大な協力、そして補給班九名の団結の結果ではないかと思ふ。これからは、隊員に喜ばれる料理作りを尽力したいと思う。

任務完遂の満足感

広報係(巡査長) 特車・田中亨

「三宅島雄山噴火、阿古地区一帯に溶岩流が流れ壊滅状態」



報道を知ったのは、十月三日外出先のテレビニュース速報であつた。

その時、ふと脳裏をかすめたのが、本年の二月四日から十一日までの間、三宅島警備隊が任務を命ぜられた、我が特科車部隊から三名と災害対策隊から一名の計四名が三宅島に飛び、島内実査を重ね、三宅島噴火作業に「災害警備計画」の資料作りをした時のことである。

三宅島のシンボルでもある雄山の中腹が噴火し、事実を知り、外出先から一目散で帰参し、今後の三宅島の情勢を注目していたところ、我が特科車部隊から五十名の派遣が決まった。

急な要請と、秋には目白押しの大警備が迫っている為、混成部隊の一個中隊編成が出来上がった。各中隊、各係から選ばれた部隊で、私もその一員に選ばれた。

同じ仕事を進めていく上で、特科車部隊の隊訓の一つにもある「融和団結」が最も大事なかた。一人として怪我人を隊員の中から出さないよう出発の直前まで、隊長をはじめ隊員による資材の準備や、補給の心配など実に細かいところまで配慮をして頂いた。

そこに私は、これからの重大任務に携わる機会を与えられたことに誇りを感じ、十月六日午後十時十分、警備部長をはじめ隊長、隊員の見送る中、我々を乗せ九丁とれ丸丸は竹芝桟橋を離れ、一路三宅島を目指して出航した。

特科車部隊精鋭五十名は、九機副隊長指揮下に入り、主要任務として、最も火山灰が降り積もり被害が大きかった坪田地区の降灰除去作業が課せられた。島民の人達は、我々が応援に来たことを待ち焦がれていたかのごとく、機動隊に寄せる期待が、村の雰囲気からひしひしと

感じられた。

作業は独居老人宅が中心である。老母から「あなた方は神様のように見える」と涙ながらに感謝された。私達は疲れを忘れて任務の重要性を身をもって感じ、作業に一段と熱がこもり、「やってあげる」の精神で、部隊全員が一丸となって従事した。

そんな中、急ピッチで進んでいた除去作業も、十月十一日は台風十三号が直撃し、暴風雨で火山灰の泥流が心配されたため、土のり積込、排水路の確保作業と別命があつたが、機動隊の持味である機動力をふるに発揮し、二次災害を未然に防止することができた。十月十二日、六日間の作業を終了し、警視庁史に残る災害警備を事故なく終了した。

離島の際、見送りに来た島民の人々が、私達一人一人に頭を下げ、船が離れても棧橋で、いつまでも手を振っている姿を見て、疲労した体の中にも任務を完了させた喜びを味わうとともに、三宅島が一日早く被害から立ち直り、幸福な生活を送ることを祈るにはいらなかった。

### 疲れも見せずに

中隊員(巡查) 特車・工藤 輝夫

三宅島の噴火を知ったのは十月三日の夕方であつた。阿古地区が全滅に近いという。思えば昨年十一月、天皇・皇后陛下の御警衛のため派遣された、島の美しさや人情味あふれる島民の接遇に感激し、後ろ髪をひかれる思いで帰ってきた懐かしい島なのである。

帰行の際、さん橋で見えなくなるまで手を振って見送ってくれたあの人達は、どうしているのだろうか。私にはこの災害が、他人事とは思えないばかりか、

今にでもとんでいきたい気持ちであつた。十月六日、我が特科車部隊に待ちに待った出動命令がなされた。「遂にきたか」一刻も早く三宅島へ行かなければならないが、船の出航は午後一〇時一〇分、我が隊員が高か。九時五〇分、我々の積み込みが完了し、作業資材の積込みが完了し、それらあ丸丸は一路三宅島へ向けて出航した。

満の声が耳に飛び込んでくる。それは作業を手伝って貰えない対象外家屋からのものであつた。これからの生活への不安、そして作業難行へのいらだちであつたのであろう。何となく対象外家屋からの要望があつた。我々隊員も、全家を今すぐにもやっつてやりたい気持ちであるが、たつた一〇〇名の隊員で、それはもうわけにいかないか。

一日の仕事が終り、泥まみれの姿となって宿舎の公民館に戻ってくる隊員は、誰一人として疲れもみせず文句も言わない。しかも笑顔やジョークまで絶やさなかった。隊員一人一人が何とか厳しい作業を盛り上げようとしていたのである。これも皆、今回の仕事に対する重要性を理解し、今我々に島民が何を望んでいるのか、何をやらなければならないのか、何をという強い職責の自覚と確固たる信念を持っていたからに違いない。

出発前隊長からの訓示があり、強さ印象に残っている言葉がある。それは「人を愛することは

美しい。人の身を案じられることはもっとも美しい。万難を排して島民の期待に応えよ」という内容であつた。この短い言葉の中に、我々三宅島派遣隊員の任務全てが表現されている。今回派遣された部隊は、各中隊から選抜された隊員からなる混成部隊である。中には一度も話をしたことがない者もいた。しかし隊員一人一人が心を一つにして事にあたつたからこそ、

怪我人もなく無事今回の任務を全うできたものと私は強く確信している。また我が特科車部隊の隊訓である「融和団結、創意練成、自主積極」の三点を更に再確認した三宅島災害派遣であつた。私はこの体験を基に、今後いかなる条件の中でも機動隊員として活動できるよう訓練に励み、技量を高めて都民の信頼に応えていきたい。

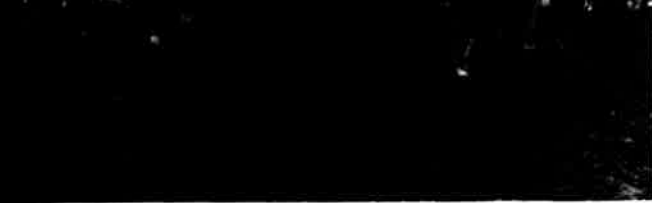
新潟県警は十月二十七日、機動隊員約九百人が参加した合同警備訓練を行った。当島支部を代表して藤田文雄・北陸支部世話人代表、県知事、公安委員長等が来賓として出席した。県警本部長を視察官として服英点検、治安警備の基本訓練の後、火災びん・投石等で暴徒化するデモ集団を規制・検挙するという想定訓練が行われたが、機動隊員のねばりと根性を遺憾なく発揮した実戦さながらの迫力には、出席者一同手に汗を握つた。

治に居て乱を忘れずの厳しい訓練成果は、有事の際に県民の安全と平穏な生活を守ってくれるものである。

山口県知事から感謝状 山口県警察機動隊

知事からではなく県民の代表として知事名で差しあげるものと、わざわざの言葉を用いた。隊員一同、苦しかった活動が、こうして評価を受けたことに感激、今後さらに訓練を積み重ね、迅速的確な救出救助活動ができるよう、技術の練磨を図ることを誓ひ合つた。

山口県警察機動隊 知事からではなく県民の代表として知事名で差しあげるものと、わざわざの言葉を用いた。隊員一同、苦しかった活動が、こうして評価を受けたことに感激、今後さらに訓練を積み重ね、迅速的確な救出救助活動ができるよう、技術の練磨を図ることを誓ひ合つた。



㊤ 阿古地区落岩に立つ



㊦ 左 民家火山灰を除去



㊧ 右 屋根への降灰を除く

## 北から南から

### 実戦さながらの合同警備訓練 新潟県警察機動隊



新潟県警は十月二十七日、機動隊員約九百人が参加した合同警備訓練を行った。当島支部を代表して藤田文雄・北陸支部世話人代表、県知事、公安委員長等が来賓として出席した。県警本部長を視察官として服英点検、治安警備の基本訓練の後、火災びん・投石等で暴徒化するデモ集団を規制・検挙するという想定訓練が行われたが、機動隊員のねばりと根性を遺憾なく発揮した実戦さながらの迫力には、出席者一同手に汗を握つた。

治に居て乱を忘れずの厳しい訓練成果は、有事の際に県民の安全と平穏な生活を守ってくれるものである。

### 山口県知事から感謝状

山口県警察機動隊 知事からではなく県民の代表として知事名で差しあげるものと、わざわざの言葉を用いた。隊員一同、苦しかった活動が、こうして評価を受けたことに感激、今後さらに訓練を積み重ね、迅速的確な救出救助活動ができるよう、技術の練磨を図ることを誓ひ合つた。

### 沖縄県警察機動隊

沖縄県警機動隊は、十月九日、日レンジャー部隊を出動させ、魚釣りをして孤立していた被災者八人を救助した。被災者等は、休養を利用して一泊の魚釣りを計画し、貸船で沖縄県島尻郡座間味村所在屋嘉比島へ渡り、離島の岩場で魚釣りをしていたが、台風十三号の影響で波が荒くなり、迎える船が接岸できない状態となつて孤立した。

# 読者の広場



## 生きた教育

内田 順夫

七月号の本誌に機動隊員の父親の、我が子を語る一文が掲載されていたのを、ご記憶の方も多しと思う。

「わんぱくでもない、たくましく育ってほしい」とどこかのママシヤルにであったようだが、まさにそれを地で行ったような東北の美しい豊かさを自然に抱かされて、のびのびと且つ厳しく育った息子さんの生い立ちが目に見えるよう、何とも素晴らしい。

「根性とは耐えることである」と考えていたからこそ、あの敗戦のみじめな生活の中でも、どんな苦しさにも立ち向ったときも耐えることと精神と礼節を守ることとを忘れることがなかったもりだ。

そして、常に新しいときめきを求めて楽しさに転じてきた。だから荒川班長には今も感謝している。

先年、総理府のまとめた青少年白書を讀んだが、その中で、いまの子供たちは明るい面があるが耐性に欠け、依存性が強、自己中心的な傾向がみられると指摘していた。

私は、一面敵もいない若者が、立派な機動隊員となれたことに大きな期待と言ひ知れぬ喜びを感じた次第であった。

毎年開催される励ます会の総会を、私はいつも楽しみにしているのだが、それは堂々と胸を張って輝いた眼で、たくましく入場する機動隊員に会えるということがある。

国家のために、また市民の生活を守るために、厳しい訓練や勤務に耐え我慢し、そして命を賭けて何にも負けない不撓不屈の精神で頑張っている彼らの姿は素晴らしい、あの秩序正しい行動にも表れている、誰もが感動を感じるものだ。

幼い頃、私もよく友達と楽しい遊びを見つけて出たのは、工夫しながら自然にまみれてその遊びに夢中だった。そして少年時代、陸軍少年飛行員を志願し、厳しい教育を受けた。

班長から「何ごともしっかりとやり抜くのだよ。そして又

来を担うもの達に、我々が心して託さねばならないものは、残された自然の美しさ、ほんとの柿

柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺

秋の味は、と聞かれたならば、私は柿と答える。松茸も秋の味覚の王者であるが、店先でそのにおい、形のよさに見とれるだけで、庶民の口に入りそうにない。

柿は、少しはすずめ高級品であつても買えるので有難い。冒頭の句も、正岡子規が、法隆寺の茶店で休憩している時作つた句であるが、秋の点景としてふさわしい句ではなからうか。

広辞苑をみると、「柿は、揚子江流域に野生し、中国中北部・朝鮮中南部・日本本土に古くから栽培される。日本には、中国渡来説と、日本自主説とがある」と記されている。

数年前、友人に徑十三センチほどの富有柿を買つたことがある。それは形良し、色良し、味も良しの三拍子で、美味し、味という表現がびつたり柿であつた。

家の庭に富有柿があり、毎年実をつけるが、今年は夏が長かつたせいで、例年ほど大きくならないうちに色づき、摘果してはいるが味も良くない。もつともろくに肥料をやらず、手入れもしないで当然の帰結と云える。

## 柿

南川 義宣



昔から「桃栗三年、柿八年、梅はすいすい十三年」と言われているが、そのとおりだと思ふ。

家の柿も、新築の翌春、義父が買ってきた栗と一緒にはぐれたものである。栗は三年で実をつけ、柿は八年目に収穫することになった。義父の死後、栗の花は、男の匂いがするからと切り倒してしまつた。柿はその難にありともなく、今なお健在で、毎年可成りの量を供給してくれている。

柿も実を多くつける年々、そのうでない年があり、沢山とれた年には、近くの親しい人達に差しあげたこともある。

毎年、柿の花が咲く頃になると、今年の秋はどれくらい実をつけるかと推定してみたりする。小さな実が日々追いついて大きくなるのが案外ひびとしくなってくる。いつも手入れをしなれば、旨い柿は食へられないと思ひつづ秋を迎えてしまふ。

北京の秋は、世界で最も素晴らしい秋といふことを聞いていた。天安門広場が抜けるように青い大空を仰ぎながら、中国の柿を存分に食べてみたいものである。

「人相」といふのは、健全な精神は健全な身体に宿る」といわれているように、身体と精神は、実は一つのものであり、それが表にあら

れるが、四十才にもなれば、全人格が自然と顔貌(かおかたち)の中に定着し、そして職業や、更に心のありようまでが、人相として表に出てくるものらしい。これは単に、外見の問題ではなく、全人格からにみ出してくるものであつて、偉大な人物と言われれば、おかしな難いものがあるが必ずみられるものである。人相が非常に重要視されてきた中国では、福相中の福相を「福人吉士」と言ひ、その条件として、曲眉・豊頬・大耳・曠体(しなやかな体)、清声の五つを挙げている。また、後ろ姿歩き方などのいわゆる行相も重要な条件であり、大地をしつかりと踏んで、正々堂々と闊歩することを最高としている。

人相は天与のものではなく、自分の毎日の心掛けで自ら「相」を直すことができるのである。しかし曲眉・豊頬・大耳今更どうにもならないという反問があるかもしれない。けれど

も眉・頬・耳そのものに変化がなくとも、それらが総合された顔は、全体に変化がおき、人相が変わるものである。

まして、行相は本人の心掛けで即座に改められる。背筋を伸ばし、顔を両肩の上に垂直に置いて堂々と歩く姿勢は、見ていて気持ちよいものであり、また健康上からも大事なことである。まっすぐな一本の背骨が、私たちの健康と生命に重要な役割りを果たしていることは、今更説明するまでもない。

皆さんにも、姿勢を直すこと、朝のひげそり時に鏡に写る自分の顔との対決を是非おこなうめしたい。さられば、楽しい顔・希望に満ちた顔・悲しい顔・苦悩に満ちた顔などいろいろの顔との対決があることに気付かれると思う。

こうして心を改革することが、やがてよき人相となつたり、それが人生開運の扉をひらくこととなるであろう。

## 母が息子を語る

松葉 百合子

私は、息子正司のことを「まあちゃん」と呼んでいます。私共夫婦も、昭和の二桁生れで、戦後の民主主義、自由主義の下で育つたせいで、息子の関係も友達のような気持ちで付き合い合っているからです。

息子が生まれた時が、私共夫婦の人生の第一歩と考え、息子の成長とともに歩んでいくつもりで親でございませう。私共の台所には、福沢諭吉の「人の止人をつづら」の短冊が掛けであり、家族全員が好き言葉集です。

「まあちゃん」の生れたところは、三重県津市、国文学者の「本居宣長の出生地」でもあります。産物としては、松阪肉があまりにも有名で、主として産物が盛んな田舎町でございます。

まあちゃん、小さい頃から身体が弱かつたので、つい甘く育てたような気がいたしました。しかし、小学校四年生頃から剣道を習い始めたことにより、一生懸命自分の道を歩み始めたように思っています。

高校三年生の時、長男であり、高専生としていた関係で、卒業後は身近にいて将来を考慮してくればと思つていました。ところが突然、警察官になると言ひ出し、しかも遠く離れた東京の警視庁へ行くと言ひ出した時は、一体どうなることかと大変心配いたしました。ただ、本

人は小さい時から、伯父兄が警察官であつた環境から、いろいろ話を聞いて憧れ決心していたようでございます。

本人の意志も堅く、仕方なく東京へやつたものの、二丁三か月は、夜電話のベルが鳴れば帰りたい、店のシャッターの閉音がすればポストンバックを持って立つているのではと、心配で眠れない日々もありました。

しかし、その後自分で選んだ道だから一言も愚痴を言つたこととはありませぬ。ただ、本人が今迄に一番つらかつたのは、昨年の五月頃、足を痛めて三か月ぐらいつづいた時ではないかと思ひます。

「お母さん一度来てほしい」と言つてきましたので、家族で熱川の病院まで見舞いに行き動きました。その頃、いろいろと悩み苦しんだことが良し土台になり、一段と成長したように思ひます。

たまに帰省した時に、近所のお年寄りの話し相手や、子供達の遊び相手をして喜ばれたり、弟に自分の仕事の話を聞かされたりしている姿をみると、この道を選んできたことがうれしく、また誇りに思っています。

「まあちゃん」、これからも自分に恥じない悔いのない人生を送るために、健康で信頼される警察官になつて下さい。期待しています。

最後にになりましたが、いづらぬ親ではございませぬが、どうか上司、先輩の皆様方の御指導御鞭撻をお願い申し上げます。(警視庁・六機 松葉正司隊員の母)

お知らせ

★大阪支部総会  
十二月二日(金)十四時から十六時に、大阪市東区内本町橋詰町大阪商工会議所ビル6Fで開催されます。奮つてのご参加をお願い申し上げます。

★寄付金  
十月二十七日付で匿名氏より五十万円の寄付金を頂きました。当会の運営に有効に活用させていただきます。有難うございました。

## 人相について

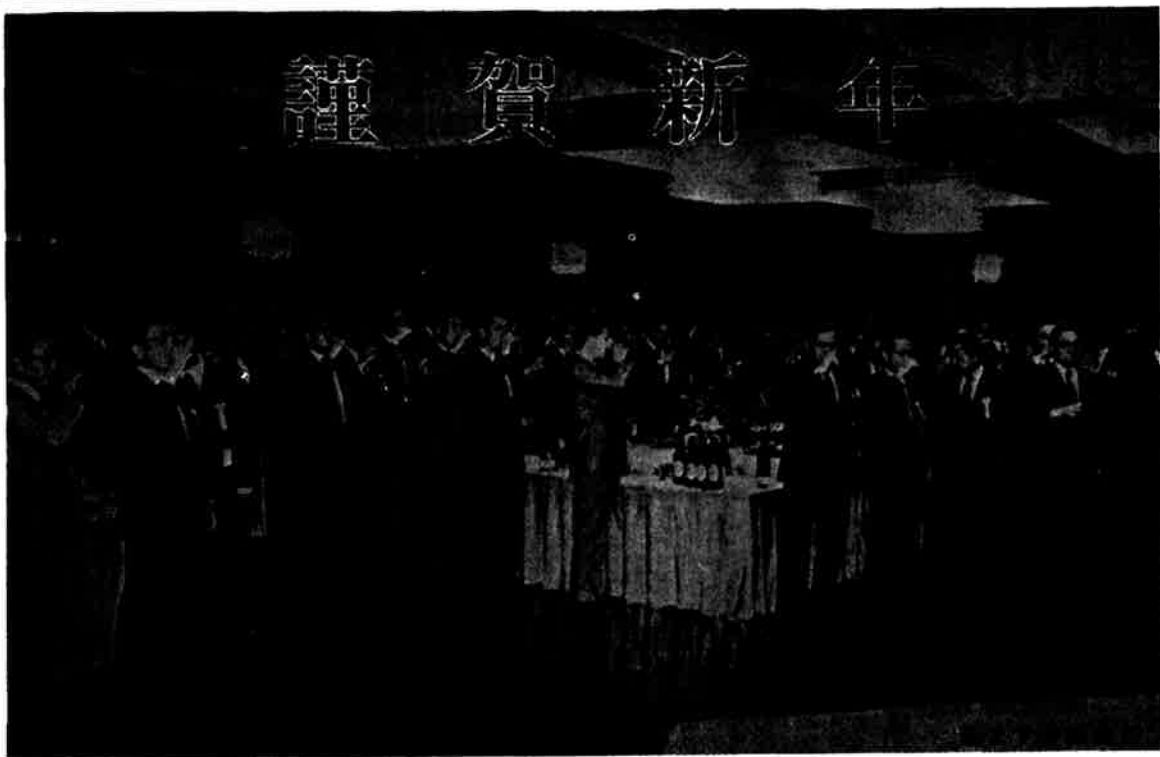
廣 慶太郎

昔から「健全な精神は健全な身体に宿る」といわれているように、身体と精神は、実は一つのものであり、それが表にあら



- 出動颯爽と 気迫の機動隊
- 小川運輸(株)
- 津田鋼材(株)
- 芝本龍平
- 山鉄商(株)
- 関東銃鐵(株)
- 大野興業(株)
- 高周波熱鍊(株)
- 廣慶太郎
- 西野公庸
- 竹之上誠剛
- 橋本尚吾
- 宮崎精鋼(株)
- 広畑海運(株)
- 豊田通商(株)
- 岡谷鋼機(株)
- 丸橋正彦
- 内外運輸(株)
- 自見産業(株)
- 早達運送(株)
- 北越メタル(株)
- 佐藤製線所





# はげまし

**発行所**  
 社団法人 機動隊員等を励ます会  
 東京都中央区八重洲2-4-14  
 〒104 ミツヤビル3階  
 発行人 鈴木 實  
 TEL 03(272)2050  
 購読料 年間1200円(送料共)  
 (但し会費の中には購読料を含む)

皆さん、明けましておめでとうございませう。この機動隊員等を励ます会も、今年でちょうど十周年を迎えます。早いといえは早い十周年ですが、また、長い道のりであったとも思えます。十年ひと昔といふことをよく言いますが、とくにアンボや変化の早い現代では、何事であれ十年続けるのは大変な努力を要することです。私は改めて、ここまで手を携えて来て頂いた会員の皆様へ、心からの感謝と敬意を表する次第です。

新年あけましておめでとうございませう。会員の皆様には御健勝のうち、御越年のこととお慶び申し上げます。昨年は、国内外ともに混乱の様相が一段と色濃く、外交、防衛、政治など各分野で大きな課題をかかえ、それがいさろんな形で治安面に様々な影響を与えたとありました。とりわけ昨年下半年には、国際間の摩擦や対立紛争が続き、テロ気運の高まる中で、国立昭和記念公園開園式典に伴う警備準備、さらには米大統領一行の来日警備など警視庁の総力を結集して取組んだ主要な警備が連続しました。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昭和五十九年の年頭に当たり、機動隊員等に対し、平素から深いご理解とご激励を賜わっております。「機動隊員等を励ます会」の皆様方に対し、深甚なる敬意と謝意を表するものであります。昨年は、複雑な政治情勢、混乱を続ける経済情勢の下で、治安の面におきましても、一連の「成田闘争」「レーガン米大統領来日警備準備」等多くの厳しい局面がありましたが、皆様方の暖かいご理解とご支援を得まして、所期の目的を達成することができました。本年も治安の底流をなす内外

れからだと言えませう。昔から「人は十歳、木は一丈」と申します。人間も十歳になれば将来どんな人になるかわからず、その予想がつかない。木も三メートルほどの高さになれば、今後の成長の程度が予測できなくなるといふこと。この点からすれば、私はこの「励ます会」は本道に行く末の楽しみな十歳を迎えることが出来る

地となった秋田県下(水難救助隊二十九名を派遣、続いて三宅島噴火に機動隊員十九名を緊急出動させるなど、災害警備の面でも多忙な年でありました。この間、皆様からの物心両面からの心強い励ましにより、お陰様で所期の目的を達することができました。ここに深甚な敬意と感謝の意を表する次第であります。新年を迎え、治安情勢を展望

の諸情勢は、不安定かつ流動的な様相を呈しており、厳しい情勢が続くものと思われます。特に極左暴力集団は、「二期着上阻止」を最大の課題とした「成田闘争」に取り組みとともに「反戦・反基地闘争」等において本格的な「ゲリラ」への志向を強めていくものと思われます。

## 基礎固めの十年間

理事長 大内 俊 司

来たとお思います。当初三百八十五人からスタートした会員は今や一万二千人を超え、この人達によって熱心な支援活動が行われています。また、励まされる側の隊員等の皆さんも、世界に類のない素晴らしい治安の評価を得て、励まし甲斐のある存在となっております。さて、今年(子)ね、鼠年です。鼠にちなんでひと言申しますと、格言で「家を破る鼠は家から出る」と言います。一国の栄えを破るものは外敵ではなく、むしろ内部の乱れである、といった意味でありました。われわれは戦後四十一年近く、戦争のなやみ平和な時代を享受してきました。そして、閉鎖経済体制に、奇蹟的な発展を遂げました。

## 「治にいて乱を忘れず」

警視総監 下稲葉 耕 吉

闘争を正面に、命がけの無制限・無差別ゲリラありぬ」と呼号してあり、その手口も悪質巧み妙化する兆しがかがわれます。一方、右翼団体は、内外の諸情勢に危機感を一段と強めており、変動する諸問題に敏感に反応しながら、反・反共のみならず、最近には特に政府・政党に向けた抗議・監視・糾弾行動が活発化しております。また彼等

## 全面的支援に感謝

警察庁長官 三 井 脩

また、日本赤軍は、ベカール高原に点在し、PDRPの庇護の下、これと連携して動いているとみられますので、この動向に早断を許さない必要があります。一方の右翼は、内外の諸情勢に一段と危機感を強めており、最近の状況は、けん銃や火炎びんの使用等悪質化の傾向を示し、

単なる街頭宣伝活動ではなく多種多様な妨害活動を活性化させておりますので、今後過激な活動を展開するところを懸念されます。このような厳しい情勢下において、全国の機動隊員等は、警察における集団警備力の中核的組織として、今後とも、たゆみなく研鑽を積み、いかなる事態にも即応できる体制の確立に努め、有事に際しては、不法行為や災害等の脅威から社会生活の平穏と国民生活の安全を守るため、身を賭してその責務を全うし、もって国民の期待に応えてまいる決意であります。

会員の皆様方におかれましては、今後とも国民と機動隊員等を結ぶ「かけ橋」として、また、機動隊員等の精神的支柱として一層のご激励と叱正を賜わりますようお願い申し上げます。最後に、貴会の益々の発展と会員の皆様方のご多幸とご健康をお祈りして、年頭のご挨拶といたします。

# 集団警備の完遂に向けて わが隊を支える裏方さん

豪華絢爛な芝居やショーは、主役・脇役、そして大道具・小道具・照明や黒子といった表に出ないスタッフが一体となって、その構成が成功する。機動隊は動の時代から、いまや静の時代へと変わってきた。守りの警備で地味な役割が増えて、まさに治安の裏方たる存在となっているが、出動する隊員達よりさらに目立たないのが装備・車両の整備、庶務、寮母という裏方のそのまた裏方である。緑の下の方達の協力があってこそ、集団警備という責務が達成されることはいうまでもない。

## 北海道警察機動隊



名厨房長 加賀雄三 (技術員)

我が隊はかつて独立の厨房施設を有せず、警察学校からの給食で隊員の食生活を賄ってきた。昭和四十八年十月、機動隊に厨房施設が完成すると同時に、調理人生活二十一年のベテラン厨房長、加賀雄三、四十八歳を迎えたところであるが、調理人生活時代の腕前を十二分に発揮し、さらには、隊員個々の好みもと入れ、エネルギーの源泉である食事一切の世話をしていた。申すまでもなく、平時における機動隊は訓練に明け暮れており、また突発重大事件事故あるいは、従来の警備実施等については、「腹が減っては戦はできぬ」の諺どおり、なんといっても食事が一番であり、その台所を預る厨房長の存在は、まことに大なるものがある。我が隊員は、この裏方さんの目に見えぬ苦勞に、いつでも感謝の念を忘れぬところである。

## 青森県警察機動隊



安全輸送の整備 古田 敏 (巡查)

我が隊の裏方さんは古田敏巡查、二十三歳である。昭和五十六年三月、青森県警察機動隊隊管区機動隊員となり、以来約二年間の管機隊員としての活躍が認められ、昨年の四月から車両係として勤務している。車両係という、地味が目立たない仕事であるが、出動中の車両のトラブルは絶対許されず、

その任務は大変重要である。無口で不言実行型の彼は、出動前の車両点検はもちろんのこと、故障についても納得のいくまで黙々と整備に取り組んでいる。その結果、我が隊では、公用車の無事故走行キロ数が、十九万キロメートル以上に及び、さらに記録の伸長を目指している。

緊急出動、部隊の安全輸送の確保といった要請に応えられる車両係として、これからも活躍を期待されている。

## 岩手県警察機動隊



十年選手 室山明一 (巡查長)

県立宮古高校を卒業後、人々の安全と平穏な生活を守るためにいくらかでも自分の力を役立てたいと考え、昭和四十七年若手県巡査を拝命した。昭和四十九年念願の機動隊勤務となり、以来機動隊生活十年のベテランである。名前は室山明一、隊の中では「ムロさん、ムロさん」と呼ばれ親しまれている。「ムロさん」は決して大声で怒鳴ることはせず、機動隊内であっても物静かな目立たない存在である。しかし山岳技術や潜水技術は抜群で、特にレンジャー技術は他の追随を許さず、この卓越した技術を各種訓練において各隊員に、物静かさの中にでも厳しさと人間的な温かみを交えながら指導している姿は頼もしい限りである。

## 宮城県警察機動隊

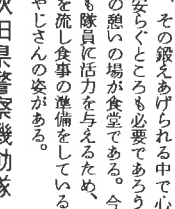
おやしさん 丹野長磨 (事務吏員)



我が隊には「おやしさん」と当年五十八歳になる釜屋の丹野さんがいる。「ちゃんと言ったか」と小柄な体を支え、なすが、隊員の食事の世話、雑務等一切やってくれている。八厘酒で責任感が強く、ちびと酒が入ると若い頃の話をしてくる。南支、満州と転戦し、シベリアに抑留された話、いろいろな仕事に携わった話、など。当隊に勤務するようになってから十数年になるが、単調な仕事の繰り返しにもかかわらず、常に新しい気持ちで取り組み、工夫を凝らしながら精進している。

そんなおやしさんを見ていると、頭のさがる感じがする。新隊員の教養期間などは特に厳しい訓練が強いられるが、隊では訓練の緊張感から食欲がなくなったりする隊員がでると、機動隊は体力がなくて動かないぞ、みんなそうして一人前の隊員になつたぞ、と励ましてくれる。機動隊員は、精神体力も体力も強靱でなければならぬ。しかし、その鍛えあげられる中で心の強いのが食堂である。今日も隊員に活力を与えるため、汗を流し食事の準備をしているおやしさんの姿がある。

## 秋田県警察機動隊



資器材の神様 田口 昇 (巡查部長)

我が隊は人数こそ小規模だが、装備資器材は非常に多い。この資器材を管理しているのが、装備担当の田口昇巡查部長である。田口巡查部長は、剣道の特殊要員であるほか、「海・中・大日本海中部地帯」の際、五中捜索の主力となり、アークアラングの責任者でもある。こうして多忙な身にとりながら装備担当として、すべての資器材が、いつでも使用できるように常に点検整備し、あるいは減耗品についても適宜補充するなどの仕事に専念している。我々隊員が安心して活動するには、資器材の保管場所と数量を熟知していること、資器材の用途と使用要領に精通していること、故障の際の連絡先と連絡を密にしていることなど、自他共に認める資器材の第一人者である。隊員から「田口がなくなつたら」「田口がこわれたら」「田口がほしい」といった要望に對しても、要望をかなえている。

が、装備担当の田口昇巡查部長である。田口巡查部長は、剣道の特殊要員であるほか、「海・中・大日本海中部地帯」の際、五中捜索の主力となり、アークアラングの責任者でもある。こうして多忙な身にとりながら装備担当として、すべての資器材が、いつでも使用できるように常に点検整備し、あるいは減耗品についても適宜補充するなどの仕事に専念している。我々隊員が安心して活動するには、資器材の保管場所と数量を熟知していること、資器材の用途と使用要領に精通していること、故障の際の連絡先と連絡を密にしていることなど、自他共に認める資器材の第一人者である。隊員から「田口がなくなつたら」「田口がこわれたら」「田口がほしい」といった要望に對しても、要望をかなえている。

このように献身的な裏方によって、機動隊の有事即応体制が確保されているのである。

## 山形県警察機動隊



事務力抜群 佐藤 修 (巡查部長)

我が隊の裏方さんとして、佐藤巡查部長を紹介しよう。佐藤巡查部長は、県機の伝令として、また剣道の特殊者として活躍しているが、常に控え目で地道に任務を全うしている。

全隊員の食事を一手に引き受ける、毎週金曜日になると、来週一週間分の食数を計算し、警署学校に持って行く。食数を間違えず、食事が残らぬ、食べられなくなる隊員も出てくるわけ、毎週真剣に行事予定とにらめっこしながら計画を立てる。月末になると全隊員の食数を計算しなければならぬが、これを何事もないように処理するなど事務能力は抜群で、全隊員から慕われている。伝令である

関係から、隊の仕事の他、毎月活動状況の統計も正確かつ迅速に仕上げるなど目立たない裏方に徹している。もっとも佐藤巡查部長は、今年から日の目を見るようになり、管区や全国大会の個人戦に出場し奮闘している。現在剣道五段、特選の中堅選手として得意な小手にますます磨きをかけている。

## 福島県警察機動隊



八面六臂の活躍 佐川勝人 (巡查部長)

我が隊は、隊長・中隊長・同伝令・庶務係を除く全員が剣道・けん銃・逮捕術・駅伝・音楽隊員といったように、何れかに所属するというバラエティに富んだ構成となっている。この隊の裏方として活躍する庶務係も当然特殊要員である。それが佐川勝人巡查部長である。事務量が多く、更に柔道の重量級選手として活躍、裏方というよりは裏に表に大活躍である。

## 警視庁第一機動隊



車両に精通 尾崎秀雄 (巡查)

尾崎巡查は、三十歳の独身。明朗快活な好青年である。運転技能はもとより車両整備技術に精通している。操車係員として、機動隊の最も大切な足を守って五年半のベテラン班長である。他隊員より常に一時間早く出動して仕立作業をはじめ、地味だが大切な整備作業に従事している。汚れのはげしい裏方の仕事



警視庁第二機動隊

ではあるが、車好きの彼にはや  
り甲斐のある職務である。  
緑の下ならぬ車の下にもぐり  
込んで、真夏の炎暑の下、油と  
汗にまみれ、或いは寒寒の中  
のドリフト、オイル交換等  
並々ならぬ苦労があるが、よく  
職責を自覚し細かい所まで行き  
届いた整備を行っている。車を  
愛するこころは人後に落ちない。  
また後輩に対する技術指導、助  
言、或いは整備器具の修理に工  
夫をこらす等、日々精進努力を  
している。

### 警視庁第三機動隊



木村要  
(巡査長)

**整備のこころ**  
昨今の警備実施は数多くの警  
備車両を使用することが多くな  
ってきた。しかも、その車両は  
多岐にわたっている。そして、  
それら運行のスムーズが、警備  
活動の成功を左右すると言っ  
ても過言ではない。  
我が隊において、その警備車  
両を陰で支えているのが、ここ  
で紹介する整備班長の木村要巡  
査長、三十三歳である。その名  
前のごとく、車両整備のこころ  
となっており、日々安全と確実な運  
行を確保している。

班長は拜命前の数年間は民間  
の自動車整備に従事していた。  
この経験を活かし、数多くの業  
績を残している。特に班長の仕  
上り九車両塗装は、一級の職人  
もかくや、と思わせるものがあ  
る。  
中でも科学技術庁長官賞を受  
賞した現場指導官のスピーカ  
ーの電動化は、特筆すべきもの  
としてあげることが出来る。我  
々の班長に対する期待は大きい。

### 警視庁第四機動隊

操車のヘテラン  
沢田二三雄  
(巡査長)

### 警視庁第五機動隊

光と影に代表されるように、  
ものこには表と裏がある。  
「表裏一体」という言葉がある  
ように、その両者の調和がとれ  
て、ものが始めてうまくいく。  
機動隊における機動隊のこ  
ころに、通常の警備隊がま  
さに、操車係は裏方の存在に  
ある。しかし、右翼対策警備等  
に見られるように、最近では車  
が主役となる警備が多くなった。  
その裏方の裏方といえる車  
の整備を担当しているのが、  
わが沢田二三雄巡査長である。  
六十台からある車両の整備を一  
手に引き受け、毎日適正な維持  
管理に努めている。車両の点検  
修理、塗装、部品交換等に始ま  
り、運転操作や書類整理の指導  
まで仕事の内容は多種多様であ  
る。



高倉芳親  
(巡査部長)

**責任感が強く、頼まれたら  
やりとれない性格が、その仕事  
に引き表れ、後輩を上手に指  
導し整備が徹底されている。彼  
は好きでやった操車係だけに、  
ベテランに超がつく隊員になっ  
た今でも、毎日毎日が勉強だ」と  
言っており、教本片手に汗や油にま  
みれて飛び回っている。  
自分が修理した車両が故障も  
なく、警備現場で活躍し、無事帰  
隊した時、「自分も整備に貢献で  
きた」と、この上ない喜びを感  
じているのである。**

### 警視庁第六機動隊

### 警視庁第七機動隊

現場に直行、状況を聞くや、す  
ばやく車体の下に降り込み、顔  
に油と汗をにじませながら、原  
因がクラッチの滑りであるの  
を確認し、手際よくクラッチ調  
整して、無事運転訓練を続行さ  
せた。  
彼の車にかける愛情は、あた  
かも慈父のようであり、両子  
た努力が昨年の本部車両点検  
で努力花開き、最優秀賞を受賞  
することができた。今日も汗と  
油にまみれて、一所懸命整備を  
続けている。

喜びは、運転担当から「エン  
ジンの調子がよくなった」「古  
い車だけど、よく整備されてい  
ますね」という言葉に表れる。  
事である。  
我々は、エンジン高らかに出  
動する車両の影には、このよう  
な裏方さんがいる事を忘れては  
ならない。

### 警視庁第八機動隊

七機動隊の一整備の虫とい  
言われている木村巡査長を紹介  
する。当隊は現在、六十数台の  
警備車両を保有しているが、木  
村巡査長はこの車両が、毎日安  
全に運行できるように車両の整  
備に当たっている。  
五十一年から操車係員として  
各種警備に従事し、五十四年九  
月から整備担当として勤務。現  
在四名の整備係員の先頭に立っ  
ている。  
整備に関しては、木村巡査長  
の右に出る者はいない。五十五  
年十一月、車両整備中に不慮の  
事故で右眼失明の危機にさらさ  
れたが、不屈の精神力と体力  
で乗り切り、現在毎月一回の検  
診を受けながら、通常勤務を  
立派にこなしている。  
また、この相当なハンディを  
背負いながら、昨年巡査部長昇  
任試験に見事上位で合格した頭  
涙りやである。  
当隊は、今年で公用車無事故  
十二年を迎えようとしているが  
これも木村巡査長の日頃の車両  
整備及び指導によるところ大  
であると感じている。

### 警視庁第九機動隊

隅々の点検 清水泰夫  
(巡査)  
歌舞伎のきらびやかな世界で、  
舞台を盛り上げ、主役を引き立  
たせるために、黒子の大きな  
苦労がある。厳しい警備に明け  
暮れるわが九機にも、警備の万  
全を祈念しつつ裏方に徹してい  
る人がいる。  
この裏方さんは、数学の教員  
免許やエッタス級取扱主任者の

### 警視庁特科車両隊

資格を有する着隊八年のベテラ  
ン清水泰夫巡査である。  
釘一本からエレベーターの点  
検修理など、隊舎・施設の維持  
管理のため、隅々まで気を配り、  
また、スマートフォンやカメラに  
育てるため、常に服装・装備品  
に目を光らせる心配りを忘れな  
い、極めて心強い裏方さんであ  
る。  
自らの苦労は胸に秘め、いつ  
も笑顔をやさや、さわやかに  
ひたすら裏方に徹し、今日も舞  
台裏で主役(隊員)の活躍と無  
事な折をつけている。

### 茨城県警察機動隊

整備の補充 関 一欣  
(巡査)  
市ヶ谷谷の隊庭に我が隊を誇  
りて並ぶ放水警備車。我が隊はそ  
の名のとおり百両余の特殊車  
両を保有し、機械化部隊として  
の一面を持って各種警備活動に  
活躍している。  
小原巡査長は、これら警備車  
両が適正にかつ万全に実施でき  
るよう、日夜車両の保守管理に  
あたっている整備係の班長であ  
る。  
車両は通常に作動して当たり前  
であるが、その当り前のことを  
常に維持して、いざは大変であ  
る。プロとして整備技術を高め  
る。その車両の特徴や癖を完全  
に把握し、そして一台一台に愛車精  
神をそそぎ、恒常的に整備して  
こそ車は正常に動いてくれるの  
である。  
汗と油にまみれた小原班長の  
ツナギには、特車隊員として、  
整備のプロとしての誇りがしみ  
こんでいる。警備活動の帯回車  
両、その一台一台を見送る班長  
の目は、やさしく自信に満ちて  
いる。

### 栃木県警察機動隊

天性の器用さ 大島治夫  
(巡査長)  
わが機動隊は少数精鋭部隊で  
あるが、その裏方さんの筆頭は、  
整備係、大島治夫巡査長、三十  
一歳である。  
入隊当時から器用さかわれ、  
整備係に任命され、整備器具材  
の管理や修理、研究開発を担当  
している。  
長年の経験に加えて持ち前の  
器用さを活かし、金銭的な難問  
等を抱えて大変な苦勞をしながら  
も、安全を第一と考へ、制作し  
た代表的なものに、特殊部隊用  
「シールドキャリア」がある。

### 群馬県警察機動隊

全般を熟知 矢島久万  
(巡査長)  
群馬県警察機動隊の裏方さん  
といえる、レンジャー隊員であ  
り、かつ庶務係を担当している  
矢島巡査長が代表される。本県  
機動隊は小所帯で、専門の庶務  
係は女子職員一名のみというこ  
ろで、全隊員の中から矢島巡査  
長を指名して活躍して貰ってい  
る。  
矢島巡査長は、昭和四十八年  
機動隊に入り、果敢の剣道特選  
選手として活躍した後、五十一  
年からはレンジャー隊員となり、  
更に五十六年からは庶務係に担  
当してきた。さすがに隊歴は歴  
年のベテラン、各種書類整理を  
はじめ、給水・配電・冷暖房に  
いたる施設関係、治安・災害・  
雑務整備に必要な各種整備器具  
材の保管・管理状況等々全般に  
わたって熟知しており、何を聞い  
ても直ちに答が返ってくる。  
また出勤現場では広報も努める  
など、裏方はもちろんのこと、  
隊運営上欠かせない存在である。

### 埼玉県警察機動隊

台所の鬼草首 高森正信  
(巡査)

現場に直行、状況を聞くや、す  
ばやく車体の下に降り込み、顔  
に油と汗をにじませながら、原  
因がクラッチの滑りであるの  
を確認し、手際よくクラッチ調  
整して、無事運転訓練を続行さ  
せた。  
彼の車にかける愛情は、あた  
かも慈父のようであり、両子  
た努力が昨年の本部車両点検  
で努力花開き、最優秀賞を受賞  
することができた。今日も汗と  
油にまみれて、一所懸命整備を  
続けている。

現場に直行、状況を聞くや、す  
ばやく車体の下に降り込み、顔  
に油と汗をにじませながら、原  
因がクラッチの滑りであるの  
を確認し、手際よくクラッチ調  
整して、無事運転訓練を続行さ  
せた。  
彼の車にかける愛情は、あた  
かも慈父のようであり、両子  
た努力が昨年の本部車両点検  
で努力花開き、最優秀賞を受賞  
することができた。今日も汗と  
油にまみれて、一所懸命整備を  
続けている。

現場に直行、状況を聞くや、す  
ばやく車体の下に降り込み、顔  
に油と汗をにじませながら、原  
因がクラッチの滑りであるの  
を確認し、手際よくクラッチ調  
整して、無事運転訓練を続行さ  
せた。  
彼の車にかける愛情は、あた  
かも慈父のようであり、両子  
た努力が昨年の本部車両点検  
で努力花開き、最優秀賞を受賞  
することができた。今日も汗と  
油にまみれて、一所懸命整備を  
続けている。

現場に直行、状況を聞くや、す  
ばやく車体の下に降り込み、顔  
に油と汗をにじませながら、原  
因がクラッチの滑りであるの  
を確認し、手際よくクラッチ調  
整して、無事運転訓練を続行さ  
せた。  
彼の車にかける愛情は、あた  
かも慈父のようであり、両子  
た努力が昨年の本部車両点検  
で努力花開き、最優秀賞を受賞  
することができた。今日も汗と  
油にまみれて、一所懸命整備を  
続けている。

現場に直行、状況を聞くや、す  
ばやく車体の下に降り込み、顔  
に油と汗をにじませながら、原  
因がクラッチの滑りであるの  
を確認し、手際よくクラッチ調  
整して、無事運転訓練を続行さ  
せた。  
彼の車にかける愛情は、あた  
かも慈父のようであり、両子  
た努力が昨年の本部車両点検  
で努力花開き、最優秀賞を受賞  
することができた。今日も汗と  
油にまみれて、一所懸命整備を  
続けている。

現場に直行、状況を聞くや、す  
ばやく車体の下に降り込み、顔  
に油と汗をにじませながら、原  
因がクラッチの滑りであるの  
を確認し、手際よくクラッチ調  
整して、無事運転訓練を続行さ  
せた。  
彼の車にかける愛情は、あた  
かも慈父のようであり、両子  
た努力が昨年の本部車両点検  
で努力花開き、最優秀賞を受賞  
することができた。今日も汗と  
油にまみれて、一所懸命整備を  
続けている。

現場に直行、状況を聞くや、す  
ばやく車体の下に降り込み、顔  
に油と汗をにじませながら、原  
因がクラッチの滑りであるの  
を確認し、手際よくクラッチ調  
整して、無事運転訓練を続行さ  
せた。  
彼の車にかける愛情は、あた  
かも慈父のようであり、両子  
た努力が昨年の本部車両点検  
で努力花開き、最優秀賞を受賞  
することができた。今日も汗と  
油にまみれて、一所懸命整備を  
続けている。

現場に直行、状況を聞くや、す  
ばやく車体の下に降り込み、顔  
に油と汗をにじませながら、原  
因がクラッチの滑りであるの  
を確認し、手際よくクラッチ調  
整して、無事運転訓練を続行さ  
せた。  
彼の車にかける愛情は、あた  
かも慈父のようであり、両子  
た努力が昨年の本部車両点検  
で努力花開き、最優秀賞を受賞  
することができた。今日も汗と  
油にまみれて、一所懸命整備を  
続けている。





わが岐阜県機動隊のつとめ  
の長は、通称「コック  
長」と呼ばれている松元機動隊長  
二十六歳独身である。

彼は、各種警備訓練等にお  
ける食事をこつくりの名手。和  
風、中華風何でもござれと常  
にその飯を振るっている。

十八番とも言えるのは、「機  
動隊風焼肉のタレ」こつくりで  
動物の味付けした焼肉(別名ト  
ンチン)は、業者も舌を巻くほ  
どの美味で、隊員の士気を大  
に奮い立たせてくれる。

わが岐阜機動隊の陰の立役  
者として大いに頭張っているが  
全国の皆さん、岐阜県機動隊  
のタレこつくりの秘伝を伝授しま  
すので御希望の方は御一報のほど  
を。

### 愛知県警察機動隊



昭和三十年七月機動隊に勤務  
以来十八年有るの間、機動隊  
の車両、舟艇等の整備器具材の  
維持管理に情熱をこらす。今で  
は「警備器具材の心臓」として  
本部長に「若し若し隊員から  
慕われてる超ベテランである。  
当五十四歳。

彼は自動車整備士、大型特殊  
ガス溶接、フォークリフト作業  
等十種一級の免許を取得し、車両  
の故障修理はもとより、各種整  
備器具材の欠陥をたどりこつこ  
り直してしまふ。

現在は、整備係主任として、  
部隊活動が効果的にできるよう  
多様な整備器具材を相手に、埃  
と油にまみれ、整備開始に、ま  
た隊員の技術指導に意欲を燃や  
している。

### 三重県警察機動隊



隊員の福利厚生  
小岸三三  
(事務長)

「何が辛い」といっても、一掃  
に出動できない程、辛いことは  
ない」といつも口癖のように言  
っている竹中庶務主任さんも、  
今年四十五歳。

学生の頃はラグビーをやった  
スポーツマン。警察官昇格後は  
長い間、白バイ隊員として活躍  
し、体力には自信をもっている。  
が、若い隊員の体力には勝てず  
いまはもっぱら、庶務担当とし  
て隊員の面倒を見ている。

日頃は、整備品の補充や整備  
に精を出してあり、いざ、出動  
の時には警備器具材をきちんと整  
えている。また、若い隊員には、  
豊かな経験を生かして、生活指  
導を行っており、良き相談相手  
として親しまれている。

出動のたびに、「この世を花  
にするために」のレコードをか  
けて送り、隊員の士気を高め  
てくれる。我が隊の裏方さんで  
ある。

### 京都府警察機動隊



裏方に徹底 隅元幸農利  
(巡查)

昨年十月、一般小隊から車両  
係へ配属がえとなったが隅元  
幸農利巡查である。これまでの  
デモ警備、アクアラング、レン  
ジャー出動等、現場の第一線へ  
出たばかりで色んな経験に比  
べれば、地味で色気のない本当  
の裏方警備だ。一般小隊員とし  
て体を張って頑張ってきた彼は  
とても馴染めそうにない。

しかし、一年が経つた今、彼  
は変わらぬ大きな使命感をも  
っている。現場へ出る部隊の輸送は  
車両の点検や管理、器具材の整  
備は、一体誰がする。その存在  
がいかにも大きいものであった  
か、この一年間で体得した。

車両係は、たしかに表へ出る  
ことのない裏方さんである。だ  
が一つの仕事をやり遂げるには  
全員の一気同調と協力が必要で  
ある。そう信じて体を張って頭

### 大阪府警察 第一機動隊



生駒さん 生駒克己  
(巡查部長)

直轄のこの係にして、お  
し照るや、難波の海と名づけ  
けられし。

と歌われた古来から、大阪の発  
展を黙って見ている「生駒山」  
がある。大阪府警察機動隊が  
第一、第二機動隊と発展分離し  
てから約十五年になるが、この  
発足当初から当隊の発展を願  
ひ、黙々と若き隊員の育成を生か  
している「生駒さん」が  
いる。

大阪の「生駒山」は「静」で  
あり、当隊の「生駒さん」は  
「動」であるが、決して表には  
出ず、常に隊員が警備活動の任  
務を完了し果たすことができる  
よう各種整備器具材の点検・修  
理と操作の指導を仕事にしてい  
る。

「生駒さん」は長年の経験か  
らレンジャー、アクアラングな  
ど間違えは人命にかかわるよう  
な訓練における器具材の安全管  
理と取扱の指導については特  
にうるさく、時には若い隊員を烈  
火のごとく叱りつけ過ちをくり  
返さないよう厳しく指導する。  
返す姿をよ見かかると、普段は  
敬えををいかにする者に対し優  
しく接し、厚い人情家であること  
をしる。

「免許とか資格はいつたいど  
くのと取得しているのですか」と  
問えば、「アセレン溶接  
危険物取扱、小型船舶、火薬類  
取扱、潜水士、大型自動車免許  
に車両係では、移動式クレーン、  
玉串……ええーと思っせな  
いワ……」と多くを語らない。

「生駒さん」が、往年の大阪府  
警のけん銃の「名射手」として  
活躍したことを、現在の若き隊  
員は知らない。

### 大阪府警察 第二機動隊



土川正一  
(警部補)

必要性を知る

整備係は、人の見えない資  
材庫で、出動服や手袋をまっ  
黒にして、整備品の整備を行っ  
たことのある人いる。「大  
変な仕事だな、どんな職務にも  
組織の裏方があるんだな」と  
隊員の必要性を知ることから出  
発する。

当隊の整備係はこの仕事を全  
うすることに誇りを持ち、裏方  
に徹しきっている。裏方の裏方  
たる真備は、当たり前のことを  
当たり前にしてしまつてしま  
う。当然のことを、やって当  
然、忘れれば大きな責任を追求さ  
れてしまふ。きまのである。

アクアポンプ、及び空気呼吸器  
の圧縮空気充填、レイジャーロ  
ープの点検や交換等は、一つ意  
れば隊員の命にかかわるもので  
あり、そういう意味では、隊員  
の命を預かる重要な任務に就  
いている。

部隊が出動し、大きな任務に  
つづけはつと、整備係は自分  
達が出動している方が、よっぽ  
ど気が楽だと思ひ、我が身以上  
に部隊の仕事が気がなる。

「命を預かる整備係員として、仕  
事に誇りを持ち、大阪府警察機  
動隊の屋台を支える裏方として  
の任務を地道に信念を持って徹  
して行く。」

### 兵庫県警察機動隊



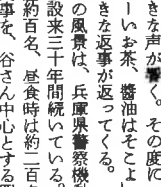
おふくろさん 谷 和子  
(探偵)

楽しい事も多い  
中川敬三  
(事務長)

私は奈良県警察機動隊にたつた  
一人の事務員である。私達会  
計職員は、会計事務を「花形」  
であるとして認識している。  
「裏方」、「線の下力持ち」  
とか言っておまぬ言葉の頂上  
が、現実会計事務を理解され  
ておられる方は少数だと思ひ、  
おまぬ言葉よりも、ご理解を  
頂きたい。

表面どおりの感想を書くこと  
すれば、苦労などを紹介しなけ  
ればならないが、苦労話は、ど  
んな仕事でもありと思うので、

### 奈良県警察機動隊

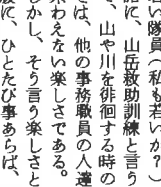


奈原俊郎  
(巡查)

黒い顔、太い腕、太い腹、キ  
ャロウとした鋭い目は、初対面  
の新隊員が驚かされるの無理  
はないが、若手の隊員を指導し  
車両の運行前点検や整備品の整  
備・保管などに精を出さずは  
見ていて頼もしいかぎりである。  
「さやちゃん」の愛称で隊員  
から親しまれている我が隊の裏  
方さん(庶務係) 奈原俊郎隊員  
三十歳は、入隊してから既に六  
年、今では幹部や隊員の癖や特  
徴にはじまり、整備器具材の保  
管場所等、隊内の隅から隅まで  
知り尽くしている。

大きな腹をかかえて、右往左  
往する姿は、時々こつこつに見  
えることもあるが、隊員が安心

### 和歌山県警察機動隊



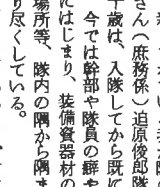
二宮明広  
(巡查部長)

鳥取県警察機動隊は世界が小  
さいが、各種警備出動に際して  
は多大の成果をあげている。  
とくに鳥取県は、山陰海岸国  
立公園を有し、県内外からの海  
水浴客や釣り場も多いことか  
ら、毎年シーズンになると水難  
事故が発生する。

これにつれて、表方とも裏方  
ともいえる我がアクアラング隊  
の出動要請となつてくるわけだ  
が、水難事故現場は、とくに高  
波あるいは視界の悪い条件下で  
あり、捜索は困難をきたす。こ  
れが、家族が涙をながらるに  
見つけるといふ姿を覚えていると、  
「俺達が発見してやる、よしや  
ろうぜ」との意気込みが、隊員  
達に響いてくる。

今後とも「勇・誠・和」の隊  
訓のもと隊長を中心に全員丸  
となり、裏方となつて県民の平  
穏な生活を守り、期待に応えて  
いくため全員が精進している。

### 鳥根県警察機動隊



青戸憲二  
(警察事務)

青戸憲二 三十二歳と、青  
ちゃんのニックネームで隊員

の給与関係から福利厚生まで、隊生活全般にわたって「隊の下力もち」として活躍中。  
若い隊員からは兄貴のように慕われ、家族では2人の子供の良き父親であるが、勝負事に関しては鬼のように厳しい。将棋・マージャン等でのこの人に立かされた隊員も多いと聞く。  
園芸・釣りと趣味も多彩で、アルコールが入ると得意の「土佐の響気節」で隊員を笑わせてくれる。訓練・出勤等留守がちな隊員において欠く事の出来ない最良の会計さんである。  
「石橋純子」二十五歳にて、曹長主事の女房役として活躍中の我が隊の紅一点。  
残念ながら一児の母親で、男所帯の隊員において、女性ならではの細やかな心遣いで隊員の心を和ませてくれる。給料日には得意「紳士マイル」で、ちょっと顔を赤らめ、恥ずかしそうに給料袋を渡してくれる。これがまた何とも言えないという隊員もテラホラ。  
我が隊の裏方さん、今後ともよろしく。



岡山県警察機動隊

おばちゃん達 (技術員)

午前七時頃、食堂には出勤を控えた隊員や早朝トレーニングを終えた隊員が、次々と集まってくる。朝の食堂が一日のうちで最も活気のある時だ。  
「おはよう、おばちゃん」「しっかり食べなさいよ」とすかさず明るく声を返ってくる。我が隊の寮生を世話する炊事職員は四名、全員女性である。最近益々出勤が多くなり、弁当持参の出勤時には、午前四時五時頃から弁当作りを汗を流している。出勤した隊員の時間を延びたいと「隊員さんにお出されるだけ温い食事をしていたらどうに」と交番で居残りするなど工夫をしながら帰隊を待つ

いつも笑顔で心のこもった食事を作ってくれ、独身者にとっでは、まさに「おふくろ」の存在である。新隊員も元成、少しは楽になると思うが、「これからは元気で頑張ってください」と隊員の声援しきりである。  
我が隊には、庶務関係専門の職員がいないため、福利厚生関係の仕事も全部警察官でこなしている。こうした組織の中で小野遊査部長の事務能力がかわれ、今では当隊の裏方大臣として隊員の信望も厚い。  
また、レンジャー要員及び運転要員として新東京国際空港開港準備等の警備活動にも従事している。  
さらに、同部長特有のユーモアある「いたずら」は「意地悪部長」のニックネームで、事務室内に明るさを吹き込み、活気ある隊生活に一役かっている。  
副隊長長伝合のかたわら、隊員がより楽しく仕事に訓練に精進出来るよう、昼となく夜となく諸々の世話をしてくれる機動隊の万屋さんである。  
隊内でタバコ・ジュース・コーヒーの販売、図書の新着、また隊員からコピーの調子が悪い水漏りから、ゴミ袋がないと言ってきたを頼まれても、快く引受け見事に修理・解決してくれるのである。  
一方、部外者と交渉して、銀行や報道機関等とソフトボール試合を企画したり、当隊にとってはこの人が居なければ、オイルの切れたエンジンである。岡崎部長は大の広島東洋カープファンである。今、一番の夢は、長男を鍛え上げて甲子園へ送り込むことである。自宅に揃った甲子園の星を育てる為、裏方として励んでいる。



山口県警察機動隊

多芸多才 小野遊助 (遊査部長) 我々が隊の庶務(会計)主任



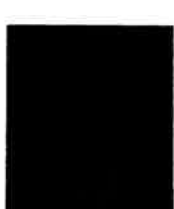
広島県警察機動隊

万屋さん 岡崎英眺 (遊査部長)

我が隊の裏方さんと言えはこれの人、庶務係岡崎遊査部長三十五歳である。  
副隊長長伝合のかたわら、隊員がより楽しく仕事に訓練に精進出来るよう、昼となく夜となく諸々の世話をしてくれる機動隊の万屋さんである。  
隊内でタバコ・ジュース・コーヒーの販売、図書の新着、また隊員からコピーの調子が悪い水漏りから、ゴミ袋がないと言ってきたを頼まれても、快く引受け見事に修理・解決してくれるのである。  
一方、部外者と交渉して、銀行や報道機関等とソフトボール試合を企画したり、当隊にとってはこの人が居なければ、オイルの切れたエンジンである。岡崎部長は大の広島東洋カープファンである。今、一番の夢は、長男を鍛え上げて甲子園へ送り込むことである。自宅に揃った甲子園の星を育てる為、裏方として励んでいる。

小野遊査部長(二十八歳)は、吉田松陰先生ゆかりの地、萩市に生まれ、当隊へは剣道特別訓練員として入隊、以後は五段の腕前、山口市剣道スポーツ教室の良き指導者として活躍中である。  
我が隊には、庶務関係専門の職員がいないため、福利厚生関係の仕事も全部警察官でこなしている。こうした組織の中で小野遊査部長の事務能力がかわれ、今では当隊の裏方大臣として隊員の信望も厚い。  
また、レンジャー要員及び運転要員として新東京国際空港開港準備等の警備活動にも従事している。  
さらに、同部長特有のユーモアある「いたずら」は「意地悪部長」のニックネームで、事務室内に明るさを吹き込み、活気ある隊生活に一役かっている。  
副隊長長伝合のかたわら、隊員がより楽しく仕事に訓練に精進出来るよう、昼となく夜となく諸々の世話をしてくれる機動隊の万屋さんである。  
隊内でタバコ・ジュース・コーヒーの販売、図書の新着、また隊員からコピーの調子が悪い水漏りから、ゴミ袋がないと言ってきたを頼まれても、快く引受け見事に修理・解決してくれるのである。  
一方、部外者と交渉して、銀行や報道機関等とソフトボール試合を企画したり、当隊にとってはこの人が居なければ、オイルの切れたエンジンである。岡崎部長は大の広島東洋カープファンである。今、一番の夢は、長男を鍛え上げて甲子園へ送り込むことである。自宅に揃った甲子園の星を育てる為、裏方として励んでいる。

徳島県警察機動隊



下岡野勇 (警備補)

警備課実施係長下岡野勇警備補は、我々隊員にとっては裏方さんというよりも「叔父貴」的存在である。  
四十八年現任に就任以来十年余の経験は、治安災害実施等に關しては、県警の生き辞引となつている。しかし、この事が、むしろ栄転を妨げているような気がして、ちょっぴり残念でもあるが……。  
機動隊の出勤に伴うデスクの面はすべてお任せであり、適確な処理で、多いに助かる。又、実施準備面での知識は、ベテラン隊員でさえも及ばないものがあり、適切な助言は部隊活動を裏から支えている。  
このように頼りになる実施係長は、温厚篤実で、公私にわたって面倒見がよく、我々機動隊員と心の通い合う裏方さんである。

香川県警察機動隊



高木謙治 (遊査部長)

五十七年命の御長男勇明君が、優秀な機動隊員として入隊してくることを期待し、合わせて係長の今後の活躍を祈りたい。  
そのお母さんに話を聞いてみた。「うちの養生さんは、みんなカレライスが大好きです。その前も僅か三十分でなくなり、食べていない人が数人いたので、急いで別のおかずを作ったので、残念そうに養生さんの顔を見ると、一体どうしたわけやら」と考えてしまいました。  
また、カレライスには、隠し味でにんにくを入れていますが、養生さんのデパートに差しつかえない程度です。安心して下さい。  
そして、安くお買いなさい。職立を考へ、よく悩むことがあります。これからは養生さんの食欲に負けなように二人で頑張っていました。というお話です。  
これからは体に気をつけて、食欲旺盛な養生の食事をよろしくお願ひします。

高知県警察機動隊



刈谷奇 (遊査部長)

悪戦苦闘の連続 刈谷奇  
我が隊の裏方さんで、結局は自己紹介の恰好となり、いささか恐縮している。  
我が隊は隊長以下のほとんどが特練生で、特技無しは小生だけである。隊員の練習中は、ひっそりとした隊事務室で、隊の生き字引と尊敬されている女性職員の手とり足とりの指導のもと、コピー機、軽旋物資の注文、休日の割振、もろもろの書類の取発整理に悪戦苦闘の連続である。  
思わぬ出勤の俵や休日明けの時など、なんとも書類の山で手慣れぬ我が大脳ははさまりにやわやわの混乱が、一つ一つ女性職員に聞くと、お恥かしでも理解できず、手も足もな

福岡県警察 第一機動隊



白石スエ子 (技術吏員)

毎日、報告期限切れとなり、本部からお目玉で全身冷汗、いやはやも手。  
どうにも手際を隊務係に頼むが、隊員に迷惑をかけながら、半年が過ぎた。一日も早く一人立ちの出来る裏方さんを目指して頑張っているが、今後とも御指導下さるようお願いする。

福岡県警察 第二機動隊



徳久和俊 (調理士)

隊勤務十三年の大ベテラン、温厚で誠実。隊員へのエネルギー補給役として、献立表と食費を脱みながらの苦しいやりくり、得意は毎週土曜に出るやわや味の「チャンポン」等々、家庭では一女の理想的父親。(隊員談) コック長、この恵まれない隊員に早くステーキを……)

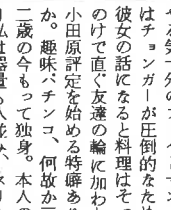
佐賀県警察機動隊



長敬のこ三人

我が隊の裏方さん三名にスポットを当て、長敬の念をこめて御紹介する。  
隊では唯一の女性で、武骨すぎる隊員の中であって掃き溜めに鶴、妙齡、容姿端麗にして気の強い面と母なる優しさ兼ね備えた事務担当の長である。誰呼ぶとなく女隊長との異名を持つが、その所以は定かでない。面倒見抜群の姐御肌。  
私は豊臣秀吉を尊敬する。人に仕える時代が長く、苦労して天下を取った。それはなぜか、それはよく動かし、学び、人から受けとられたら早く動き、自分の頭を最大限に使い、失敗を恐れず進んだと聞く。  
私も肌で感じ、学び取ったものを大切に、自分の人生に力を入れ任務を遂行したい。秀吉のように天下人とはいかなくとも、機動隊の任務は機動力を活かし、有事に即応して県民の平和と幸福を守ることである。それを支えるのは裏方である。仕事を決して華やかさがなく、地味で苦勞の絶えない日々だが、

長崎県警察機動隊



江口修一 (調理士)

五十二年からの隊勤務、佐賀短大で栄養士の免許を持つ。やる気十分のフットマン。隊はチョンガが圧倒的なため、彼女の話になると料理はそっちのけで直ぐ友達に輪に加わり、小田原評定を始める時際ありとか、趣味パチンコ、何故か三十二歳の今もって独身。本人の弁、私は器量も人並み、スリムなスタイル、各種機能も点検整備済みの新車同様とか、全国警友の皆さん、この独身貴族に素直な花嫁をお願いします。得意料理はアーメン……失礼、ラーメンとか。

やりがいのある仕事だと思つて... 奮闘を遂げて燃焼した時、裏方の喜びは隊員も天下を取った気持ちになる...

熊本県警察機動隊



ノッポの主任 武辺昭昭 (巡查部長)

警察歴二十年、隊歴十五年の超ベテラン幹部隊員、三十九歳身長百八十二センチ、スリムな体がより一層この人をノッポにみせる。

この長髪を駆って日夜、隊員の指導・保有装備器材の維持管理・研究開発に情熱を傾けています。

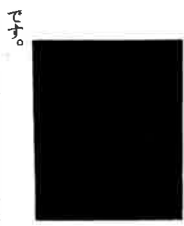
また隊庭の手入れは、彼の独壇場であり、仕事の合間をなくして植樹・草取りに余念がなく緑と四季折々の花を楽しませてくれる。隊員からは「ノッポの主任さん」と慕われている。

これまで機動隊十五年の経験と持ち前の研究熱心と器用さを生かして、(水・海)上での救助活動の拠点となる橋頭堡の研究開発、船上からできる救命薬を発売射撃することが出来る銃座の開発救命薬射撃訓練部の改良等に取り組み、本部長賞を受賞するなど輝かしい業績を残しておりより一層高度化・大型化する装備器材のニーズに対応するための、いつまでも元気に活躍してはほしいと折念している。

大分県警察機動隊

若い隊員とともに 木戸十六子 (事務長)

私が警察社会に入りより、機動隊の隊員食堂に入ったのが二十年前の昭和三十八年のこと



それ以来、五年間の秘書課等の仕事がありました。警察生活の大半を、機動隊の若い隊員さんのお世話をさせて頂いてたいと思っています。

機動隊は隊長さん以下全隊員が一体となって動く、規律正しい職場で、私達女性も気が引き締まる毎日です。

忙しい時には、午前二時に家を出たり、午後九時に帰宅したりの苦しいことありますが、隊員さんの元気を挨拶や、掛け声にその疲れも一度に飛んでしまっています。

更には、私達がお世話した隊員の方が、次々と昇任して一線まで活躍されたり、幹部隊員となって再入隊される姿を見るのが一番の喜びです。

宮崎県警察機動隊



工具一本も 成松重則 (巡查部長)

成松装備主任、三十五歳は、昭和四十二年入隊以来、剣道選手として活躍しているが、その手として活躍しているが、そのかたわら、装備係をつとめ、機動隊装備の整備拡充及び研究に努力しています。

現在各種車両をはじめ特殊装備等、他県に比較し、整備されていると自負して、整備のことなら、大型車両から工具一本に至るまで、性能、収納個所を熟知している。昭和五十七年装備主任になってからは、若手隊員の指導育成にも配慮している。

我が隊が安全輸送を確立できるのも、主任の整備があつてのことと全面的に信頼されている。

鹿兒島県警察機動隊



夜の隊長さん 鶴丸末信 (主事)

隊員が、公私共にお世話になっているのが鶴丸末信会計係長(五十歳)。

この係長さん、普段はもの静かだ。字者の感じのする聖人君子型の人... だが、酒宴で焼酎が入るや、昼間とは別人のように雄弁快活、若い隊員に話をし入れる約束あり。

猛者ぞろの隊員はちろんのこと、剛毅な隊長さん、名訓示?名指揮?には全くの最敬加えて、平素隊員の良き相談相手や、親身な面談の良さが、隊員をして、いつからともなく「夜の隊長」と呼ばせている。

お父さんは機動隊勤務

すずき しゅうへい (小一)

工具一本も 成松重則 (巡查部長)

成松装備主任、三十五歳は、昭和四十二年入隊以来、剣道選手として活躍しているが、その手として活躍しているが、そのかたわら、装備係をつとめ、機動隊装備の整備拡充及び研究に努力しています。

現在各種車両をはじめ特殊装備等、他県に比較し、整備されていると自負して、整備のことなら、大型車両から工具一本に至るまで、性能、収納個所を熟知している。昭和五十七年装備主任になってからは、若手隊員の指導育成にも配慮している。

せたり、何かとお世話になるがよろしく。

沖縄県警察機動隊



作業衣で黙々 山城正和 (巡查)

我が隊は、治安整備を始めていて各種出動、また一個小単位による交番制勤務で重防警戒に当たっている。これらを支えているのが、隊本部にある各係であり、この中でも目立たない存在の整備係がある。

整備係には係長以下四名が配置され、装備器材・施設・備品の整備保管と開発の任務を持っている。その管理の適正が、隊員の安全や警備実施の成否を左右することと云言われている。

このため係員は、出勤服ではなく作業衣で日夜、倉庫の中や隊庭で汗をまみれている。決して華やかでない作業服姿で、黙々と仕事に励んでいる整備係に改めて感謝している。

にしはら まどか (小二)

わたしのお父さんは、けいさつかんです。わたしのおとうさんは、わたしとおとうさんとあそんでくれます。かくれんぼとか、おもちゃのくるまであそんでくれます。

あそんでいるときは、とってわたしのしです。でも、おとうさんは、少しかやすみがないのでかわいそうだとおもいます。また、おやみのは、えご川にいったりします。そして、バトミントンとか、ボール投げ

塩谷

智行 (小三)

お父さんは、けいしよりのきどうたいという所ではたらいっています。早くもお父さんのよううじて、ずつと前につれて行つてもらつたことがあります。

中には、バトカーやいろんなしるいの車がありました。早くは、お父さんのほらわいていする所をしらなかつたので、びっくりしました。

杉山

佳代 (小三)

わたしのお父さんは、けいさつかんです。ひげがなくて、むなげがあつて、クマミたいです。時々「ガオー」と言つて怪まします。

前は、けいじをやつていました。が、今は、き動隊の中隊長というのややつています。毎日、朝早く出かけて行きます。お父さんが出かける時は、頭をなでてもらいます。お父さんが前に出ていった時は、休みの日でもさびしい思いをしました。

けれども、き動隊へ行ってからは、休みの日によび出されることになりました。お父さん、とてもうれしそうです。お父さんは、き動隊へいって水虫ができたそうです。わたしは「うつぞ、うつぞ」と言つて泣きました。けれどもお父さんは泣きませんでした。お父さんはやさしいです。晴れている時は、プールへつれて

わたしのお父さんは、けいさつかんです。ひげがなくて、むなげがあつて、クマミたいです。時々「ガオー」と言つて怪まします。前は、けいじをやつていました。が、今は、き動隊の中隊長というのややつています。毎日、朝早く出かけて行きます。お父さんが出かける時は、頭をなでてもらいます。お父さんが前に出ていった時は、休みの日でもさびしい思いをしました。けれども、き動隊へ行ってからは、休みの日によび出されることになりました。お父さん、とてもうれしそうです。お父さんは、き動隊へいって水虫ができたそうです。わたしは「うつぞ、うつぞ」と言つて泣きました。けれどもお父さんは泣きませんでした。お父さんはやさしいです。晴れている時は、プールへつれて

わたしのお父さんは、けいさつかんです。ひげがなくて、むなげがあつて、クマミたいです。時々「ガオー」と言つて怪まします。前は、けいじをやつていました。が、今は、き動隊の中隊長というのややつています。毎日、朝早く出かけて行きます。お父さんが出かける時は、頭をなでてもらいます。お父さんが前に出ていった時は、休みの日でもさびしい思いをしました。けれども、き動隊へ行ってからは、休みの日によび出されることになりました。お父さん、とてもうれしそうです。お父さんは、き動隊へいって水虫ができたそうです。わたしは「うつぞ、うつぞ」と言つて泣きました。けれどもお父さんは泣きませんでした。お父さんはやさしいです。晴れている時は、プールへつれて

新年の御慶を申上げます

- 大内俊司 光洋商事(株)
鈴木 實 (株)上野百貨店
谷本隆夫 廣慶太郎
杉尾榮俊 石原幸男
芝本龍平 木村利秋
奥村武正 橋山和正
村山文雄 浅田弥三郎
東鋼業(株) 東海レーラー鋼業(株)
(株)三榮商会 丸定産業(株)
大洋製鋼(株) 中京製線(株)
栗田工業(株) 東海鋼材工業(株)
高周波熱錬(株) 自見産業(株)
新東運輸(株) 不動鋼板工業(株)
(株)周東商会 豊鋼材工業(株)
大東港運(株) 東海鋼業(株)
東南貿易(株) 広島シャリーング工業(株)
日誠総業(株) 藤田金属(株)
岡部(株) 近藤与助工業(株)
小川運輸(株) 三星金属工業(株)
津田鋼材(株) (株)佐藤製線所
(学)嘉悦学園 北海鋼機(株)

# 東北支部総会

東北支部第八回支部総会が十一月十四日、仙台市で機動隊員等百六十名、当会会員二百六十名の参加を得て開かれた。開会の挨拶で同支部、佐藤康一世話人代表は「当会の趣旨は生命を賭して国家社会の安全と法秩序の維持に努力している機動隊員等を励ますことであり、これからも使命達成のため精選されている隊員達の良き理解者になっていく」と励ました。

これを受けて近藤一郎・東北管区警察局長は「励ます会の支援に深く感謝している。治安万全に傾注しているが、訓練に励み有事の際にお役に立ちたい」と力強く語った。池田和頭・宮城警察本部部長は「国民の安全確保で万全を期していく」と決意のほどを述べた。

鈴木實・副理事長の乾杯で懇親会へ移り、新田次生・支部世話人の万歳三唱で幕を閉じたが、心の交流は大きく高まった。



社・機動隊員等を励ます会  
第8回東北支部総会並びに懇親パーティー

# 大阪支部総会

去る十一月二日、大阪市で第十回大阪支部総会が賑やかに開催された。機動隊員等約百五十名を招き会員を含めて合計三百五十名で、会場は熱気に包まれた。励ます会側の代表として高島浩一・大阪支部世話人は「国民の大多数は機動隊を支援している。これからも強靱な身体と崇高な使命感で努力して頂きたい」と挨拶。

橋本祐三・近畿管区警察局長は「励ます会の支えとなっていて、有事の際には集団警備力の真髄を発揮できるようにする」と語り、谷口守正・大阪府警察本部長も「府民の期待と信頼に応えるべく決意を述べた。鈴木實・副理事長の乾杯の音頭で懇親パーティーはいろいろなアトラクションを加えて盛り上がり、曾根貞雄・世話人の万歳三唱で閉会したが、こうした懸け橋は隊員の明日の活力につながっていく。



機動隊員等を励ます会第10回大阪支部総会

## 読者の広場



### 生涯スクラッチ

M・K 生

気のおけない仲間と、ゴルフをするのが楽しいことはないが、私は生涯スクラッチと誓いをした友人がいる。

ゴルフ場経営と健康食品の販売をしているG氏、不動産業に携わるT氏、健康レジャー産業の会社に勤務するN氏がそのメンバーである。

それぞれ北海道や東京、関西で大活躍の忙しい身でありながら、その合間をぬってワンシーズンに一度は手合わせをするにこなっている。

日程が決まると子供の遠足と同じで、心のときめくことも少ないまま忘れがちであった「待ちどおしい」という気持が湧き上がってくる。

N氏一人はヒョロっとしているが、あとの三人は後姿からは誰が誰かわからない程体型が似ている、とよく言われる。しかし皆腹の中では、俺が一番スマードだと思ってるようだ。

お腹が出て、柔軟体時は腰もよわってない連中が、ゴルフになるとよくもあんなに柔らかなスイングになるものだと感心させられることがしばしばある。

腕前の方は、四人ともスクラッチ宣言をしている訳だが、不思議にN氏がいつもカモになったり、今度こそ何回かさされたことだらけ。

もっとも広大なグリーンへの仇討ちとは、四角い小さなグリーンにつきあわされては本懐を上げており、被害の大小から言えは、彼にとっては小さいグリーンの方がずっと効率がいいようだ。

腕前にそうそう大差がつかないのに、少しでも差をつけようと新兵器には誰も目が無く、お互いにこのウツドはどうだ、このアイアンはどうだと講釈に余念がない。

金で技術を買うわりにはその分体力が落ちるので、少しも上達せず、相変わらず横並びのままである。生涯スクラッチ宣言をした以上、こうあることが全員平和のためにいいのかも知れない。

とにかく、これ程気の合う仲間を得たことに感謝している。

### 働きバチというが

室町一博

せわしように蜜を求めて飛び

回るミツバチ、日本サラリーマンの代名詞ともなった働きバチだが、はたして一日に何時間働くのだろうか。正解は五時間である。

これは、このほどの昆虫学会で発表された研究結果に基づくものだが、その研究者は、十三匹のメスの働きバチを延べ千三百四十六時間わたって観察したという。ハチたちにすれば、さぞかし人間はひまだなあと思ってたことだろう。

さて、この五時間というハチの労働時間が、大方の反響は思ったほど動かないものだが、という評価であるらしい。

しかし、人間はどうだろう。週休二日制時代に祝日と年末年始の休み、それに有給休暇を入れると、一年のうち三分の一以上は休みである。一日八時間働いたとしても、年平均に直すと一日五時間間、働きバチと大差がないということになる。

人間、働けるうちが花だというが、働きバチも果実体の温度関係から、温かき中心部に若いハチが群がって動き、年老いたハチは外に追いやりられて働かずじっとしている。つまり「窓際族」である。

また、仕事を少しやっては休み、休んでいる間にその仕事を他のハチに奪われてしまい、ブラブラしながら次の仕事に少し手をつける、耳の痛い人間も居そうか、無気力バチがハチの中にも居るのだという。

ところで仕事の内容だが、人間労働に変わらぬのは、昔は肉休労働の代表とされた農業も、今では、肥料や温室栽培に関する知識とか、機械操作の熟練とかいってノウハウが、仕事の中心になって来ている。

しかし、ハチには、コンピュータもなければ石油エネルギーもない。旧態依然たるころが、人間の労働の質は、そのように近年とみにテンポを早くして移り変わって来ているわけだが、問題は労働内容の軽重に対する苦楽の程度を考えなければならぬのではないか。

例えば単純化によって、遊戯精神がイライラするのであれば幸せではないし、進歩とはいえない。OAやロボット化が進むにつれ人間の精神面への配慮が、とくに経営者や管理職に必要となってくるだろう。

## 我が子への期待

諸富 春雄

私は、男二人女二人の四人の子供がおりましたが、長女はすでに他界しましたので、現在は三人といえるところ。次男の豊は、岩井家の養子となった関係でわが子といえるかどうか、三十四年間警察界で仕事をさせていたが、今は、豊が私と同じ道を選んで警察官になってくれたことを心から喜んでおります。

私が豊に望みたいことは、現在の仕事に対して情熱をもってやりとげるといふ気概を持ってほしいということ。たとえ終生一巡査であってもよい。満足いく仕事、納得いく仕事

## 若き警察官の皆さんへ

大柴 不二男

青雲の志を抱いて、社会の治安に昼夜の別なく活躍される若き警察官の皆さん、御苦労さまです。

警察官の仕事は、常に生命の危険が伴う激務であり、例え休日であっても非常事態に備えて常時待機の状態を必要とし、それが意外と一般社会に認められない、いわば縁の下力持ち的存在ではないでしょうか。

真面目に勤務して当たり前のことが時によって社会から汲み取らぬことになったり、不祥事でも起こさぬものならマスコミからは容赦なく非難され報道される。したがって、私生活もおのずから襟を正さなければならぬ窮乏な職業、そんなところが全く同じなのが私達刑務官です。

刑務官の勤務は、日勤と夜勤とに別れていて、私が刑務官を拝命した当時は、日勤の出勤時刻は、早出が午前五時五十分、中出が六時五十分、遅出が八時二十分でした。遅出は勤は臨泊する時くらいで、通常出勤は六時五十分でした。退行はいつでも午後五時三十分です。したがって武道や警備訓練は、五時三十分以降に行います。冬期などは、真暗なうちに出勤し、暗くなってから帰るのです。

夜勤は二部制でしたから翌夜交代。午前八時二十分から翌朝の八時二十分まで、昼間は日勤夜勤共に二時間勤務の三十分休憩。勤務中の喫煙や飲食は出来ません。午後九時以降は、一時間勤務の一時間の飯休です。したがって、寝つきの悪い人は眠りつく頃まで起きるわけですが、是非番居残り勤務があります。

私の場合、通勤距離が片道十八キロ、所要時間二時間、交通の便が悪いのでしたから一時間三十分は徒歩でした。休みは日勤者が月に二日、夜勤者が泊りの日か、休日によって、午後四時まで休みです。これも交代ですから月に一回しかありません。

こんな時代ですから、休暇を貰いに行ったら大変です。散々文句を言われたあととやると貰える状態でした。例えばこんなエピソードがあります。家族が病気がからと休暇を貰いに行ったら、「お前が休んで病気が治るのか」と、言われて休暇が貰えなかったという笑えない事実がありました。こんな時代でも、三十数年間勤務することは普通でした。

昨年春の新聞紙上でしたが、職員で退職後の寿命が一番短い職業は刑務官だということが報道されました。それだけ心身共に重労働ということでしょうか。私の施設に元警察官が刑務官に二十人おられますが、十年近く経った現在も、警察官だった頃が良かったと、今でも感懐を言っています。

皆さん、上を見ても下を見ても隙はあります。自分の仕事に生き甲斐を持って、先遣員日本の平和と繁栄のために、犯罪のない都市作り、益々活躍せんことを期待してやみません。

(警視庁・七機 大柴明雄 係員の父)

**寄付金のお知らせ**

故川淵長一氏の一周忌法要に当たり、御念慮の川淵長氏より十一月二十四日付で当会宛に百万円のご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。



今月の目録

本年も警備に万全 治にいて乱を忘れず

はげまし

発行所 社団法人 機動隊員等を励ます会 東京都中央区八重洲2-4-14 千104 ミツヤビル3階 発行人 鈴木 實 TEL 03(272)2050 購読料 年間1200円(送料共) (但し会費の中には購読料を含む)

全国各地の神社・寺院における一月の雄踏警備も終わった。年末年始の休日を返上した機動隊員の緑の下の地味な警備が、庶民のささやかな幸せを守ってきたが、今年も治安面では多くの不安要素を抱えている。この中で、隊員達は連日たゆみない訓練を重ね、いかなる事態にも即応できる体制を確立している。治安のプロとして精進されることを国民は期待しているが、ここは全国精鋭のうち、いくつかをピックアップして紹介した。

富山県警察機動隊は昭和三十一年十一月一日、警ら交通課の付置機動隊として発足した。四十二年三月、現位置に機動隊を新築し、翌年の四十四年三月には機動隊の七十年代を乗り切るため、完全一個大隊編成となり、五十二年三月に、各課の独立所屬となり、警備部隊の中核として現在に至っている。

京都市警察機動隊 二、創設・沿革 京都市警察機動隊は昭和二十七年九月一日、京都市伏見区深草塚本町の旧六師団兵隊庫跡に創設され、四十二年新庁舎が建てられ現在に至っている。

石川警察機動隊 石川警察機動隊は昭和二十九年七月一日、新警務法施行に基き発足した。その後、昭和四十四年四月、石川警察管区機動隊が編成され、石川警察第二機動隊として発足した。

各種大会に出場する等、術科技能の向上に努めている。特に当隊の系譜は、全国大会でも常に上位入賞を果たしている。最後に「富山県警察機動隊の歌」を紹介したい。

石川警察機動隊 一、沿革 石川警察機動隊は昭和二十九年七月一日、新警務法施行に基き発足した。その後、昭和四十四年四月、石川警察管区機動隊が編成され、石川警察第二機動隊として発足した。

福岡警察第一機動隊 一、沿革 富山県は昭和二十七年八月「国家地方警察福岡本部機動隊」として、警務学校内(隊長は学校長、隊員は入校中の警備専科生)に発足、一時は交通機動班、自動車書庫班、音楽隊、機動捜査班等が併置されていたが、幾多の組織変更と改称を経ていずれも独立し、五十一年九月に現名称に改称、隊員の平均年齢二十五・五歳とわっている。

沈黙は金ならず

わが国では「沈黙は金なり」と称して、下手にしゃべって失敗するよりも、沈黙を守っているほうが賢明である、とする風潮があるが、今はまさにコミュニケーションの時代。沈黙は美德どころか、場合によっては悪徳である。皆さんも、日常よく経験されていることと思うが、病院の待合室や銀行の窓口で、名前を呼ばれても返事をしない。混んでいる電車の中で、人の頭越しに荷物を網棚にのせるのに断わりもしない。また、それが人の身体に触っても謝らない。席を譲ってやってもお礼の一言もない……例を挙げればきりがない。まるで失語症にかかっているようである。

夏の日陰の機動隊 しばる引手に投げひめて きりし黒帯伊達しやない 檜舞台のあの音 秋の陽きびし機動隊 隊伍堂々行くこいしやないか 雪上風よんごんこい 誓い固めていそしみおむ 我等その名を機動隊 昔より富山県警察機動隊員であることを誇りとして、隊訓である「融和・団結・質実・剛健」「且つ自律の精神」をモットーに、県民に信頼される真に強じんな機動隊の確立を目指して精進努力を重ねている。



# 新東京国際空港 警備隊勤務を終えて

昭和53年に開港した成田空港は、わが国の空の玄関である。開港に至るまでに反対同盟や極左による激しい建設反対闘争が繰り返され、尊い犠牲や多数の負傷者を出した。成田はまさにゲリラとの戦場といわれているが、広大な土地でいつ発生するか予想できない突発事案に対処

して、機動隊員はきょうも忍の警備に当たっている。千葉県警察機動隊と各都道府県からの出向隊員で編成される警備部隊は、厳寒酷暑の下で空港警備に万全を期しているが、一日も早い空港の厳戒解除を願わずにはいられない。警視庁出向隊員の苦労話をご紹介します。

## 操車班長の苦労話

一機 藤巻昭司

昭和五十七年九月六日、新東京国際空港警備隊出向者の一員として、期待と不安を抱いて成田の台地に足を踏み入れた。新隊員訓練を終了し、九月十日から名実ともに空港警備隊員として、任務についた。

私は、第一空港機動隊の操車班長を命ぜられ、班員の指揮と車両の運用を任された。一年を省みると、まず脳裏に浮かぶのは、厳しい勤務のことである。着隊早々の八・一五警備から、警備直前の八・八パイプライン警備まで、六回の現地闘争警備があった。その都度、酷暑非酷暑の隔日勤務が何日も続き、闘争日の前後は、隊長以下全員がゲリラに備えて、隊舎を泊り込むと

を結ぶ。遠くシエッタ機の消えゆく青空に故郷の山河や父母の顔が浮かび、厳しい勤務を忘れさせられた。

難隊が近づくと、千葉県隊員が警視庁出向者のために「さよなら家祭」を催してくれた。みんな飲んで歌って一年間の苦勞話を花を咲かせ、夜の更けるのを忘れる。いよいよ祭りの終りに近づくと、お互い肩を組んで大声で合唱する。別れを惜しんで、パブリックはいつまでも青いランボの誘導路にこだまっていた。

## 空警隊勤務を終えて

二機 高宮今朝幸

警視監は、一昨年の九月一日、監視隊をばじめ各級幹部の激励を受けて千葉県警察へ出向し、一年間の空警隊勤務に従事した。出向前の空警隊に対する予備知識は、編成・環境が東京と異なり勤務や編成も警視庁と比較して大幅に異なり、更に警備情勢が厳しいことから、現地闘争の時に相当な緊張が続き、その最前線部隊が空警隊であると理解していた。

着隊日、空港検問所で完全装備に身を固め大柄な手に人差し指に目を光らす空警隊員、その姿に緊張感をひしひしと感じ、責任の重大さを痛感した。

一年間の短い期間であったが、日本の空の表玄関である新東京国際空港の守りに全力を尽くし、絶対的な権力集団に力を与えられなければならないという使命感と正義感を目撃し、勤務に耐え勤務した日々であった。

中では僅在等に於ける全国規模の集会、いざ行かれるかわからない卑劣なゲリラ行動に、土砂降りの中、非番の疲れも忘れて見えざる敵と対峙し、一



時折姿を見せるイタチやキジの野生動物、副総監をはじめ幹部の方々の温かい激励、勉学に励んだ寮生活等々思い深い思い出ばかりだ。

中では忘れられないのは真夏の現地闘争警備である。連日三十度を超す猛暑の中、完全装備にマフラーを着装した身体は汗が滝のように汗が流れ、二部制勤務で疲れているはずなのに、二部の隊員も力強い目はキラキラと輝き、日焼けした顔が今でも心に残っている。

現在の空港警備隊は混成部隊だが、勤務を通じて教えられることも多かった。

二つの教訓  
一機 石田光男  
二機 藤巻昭司

第一機動隊において警備隊員をばじめ当り幹部、機動隊員は様々とした、新しい勤務に対する期待と見知らぬ土地への不安で、どの顔も緊張したもどか守り抜いたという安堵感で自然に笑みかほられた。

長いよう過ぎてしまえば短かったこの一年間、成田空港は多くの思い出を我々に残してくれた。着隊早々の新隊員訓練、徒歩による雨中の空港一周実査、現地闘争に伴う二部制勤務、団結小屋と対峙する監視塔の下に

「辛くもあり、楽しくもあつた空警隊」私自身の、成田での一年間の思い出といえば、なんと言っても、緑の美しいことである。聞くところによると、成田空港は世界でも有数の緑の多い空港だそうである。又、旅行者に言わせると、空から森の見えると、一面緑の中、空の森の中に見えるように見える。このように自然の環境に恵まれた所で勤務できたことは、後にも先にも、これが初めてである。

勤務中は、我々の目を楽しませ、逆に見習い、日々の警備訓練では、逆に警視庁出向者の最大の敵となつたのであるから皮肉なものである。

都市警備、特にアスファルト上の実施、訓練はお手のものが入ってとなると大騒ぎである。枯れ草に足をとられたり、小高い丘からころげ落ちた者、草むらで蛇を見たという者、全考して迂回して行く者等々、今考ると、おかしなことであるが、雨の日は特にこの蛇に泣かされた。草むらから出てくるのは、監視塔にまで登ってくる奴もいるから手がつけられない。この蛇の出現で、待機員の応援を求めた隊員がほとんどで、いかに隊員がうきの手で守るんだという感慨を持つ必要があることを痛感させられた。

蛇との闘い  
四機 関 正夫  
中隊員

一年間の成田出向を振り返ると、まず印象に残っていることは、「成田」というところは暑の多いところ、夏は暑く、冬は寒いところ」という、出向経験者の言葉である。事実、私も成田の夏と冬を実際に体験し、戸惑いを感したことは何度かあった。懐かしい思い出となっているから不思議なものである。

「行くもあり、楽しくもあつた空警隊」私自身の、成田での一年間の思い出といえば、なんと言っても、緑の美しいことである。聞くところによると、成田空港は世界でも有数の緑の多い空港だそうである。又、旅行者に言わせると、空から森の見えると、一面緑の中、空の森の中に見えるように見える。このように自然の環境に恵まれた所で勤務できたことは、後にも先にも、これが初めてである。

勤務中は、我々の目を楽しませ、逆に見習い、日々の警備訓練では、逆に警視庁出向者の最大の敵となつたのであるから皮肉なものである。

都市警備、特にアスファルト上の実施、訓練はお手のものが入ってとなると大騒ぎである。枯れ草に足をとられたり、小高い丘からころげ落ちた者、草むらで蛇を見たという者、全考して迂回して行く者等々、今考ると、おかしなことであるが、雨の日は特にこの蛇に泣かされた。草むらから出てくるのは、監視塔にまで登ってくる奴もいるから手がつけられない。この蛇の出現で、待機員の応援を求めた隊員がほとんどで、いかに隊員がうきの手で守るんだという感慨を持つ必要があることを痛感させられた。

「行くもあり、楽しくもあつた空警隊」私自身の、成田での一年間の思い出といえば、なんと言っても、緑の美しいことである。聞くところによると、成田空港は世界でも有数の緑の多い空港だそうである。又、旅行者に言わせると、空から森の見えると、一面緑の中、空の森の中に見えるように見える。このように自然の環境に恵まれた所で勤務できたことは、後にも先にも、これが初めてである。

勤務中は、我々の目を楽しませ、逆に見習い、日々の警備訓練では、逆に警視庁出向者の最大の敵となつたのであるから皮肉なものである。

都市警備、特にアスファルト上の実施、訓練はお手のものが入ってとなると大騒ぎである。枯れ草に足をとられたり、小高い丘からころげ落ちた者、草むらで蛇を見たという者、全考して迂回して行く者等々、今考ると、おかしなことであるが、雨の日は特にこの蛇に泣かされた。草むらから出てくるのは、監視塔にまで登ってくる奴もいるから手がつけられない。この蛇の出現で、待機員の応援を求めた隊員がほとんどで、いかに隊員がうきの手で守るんだという感慨を持つ必要があることを痛感させられた。

蛇との闘い  
四機 関 正夫  
中隊員

一年間の成田出向を振り返ると、まず印象に残っていることは、「成田」というところは暑の多いところ、夏は暑く、冬は寒いところ」という、出向経験者の言葉である。事実、私も成田の夏と冬を実際に体験し、戸惑いを感したことは何度かあった。懐かしい思い出となっているから不思議なものである。

勤務中は、我々の目を楽しませ、逆に見習い、日々の警備訓練では、逆に警視庁出向者の最大の敵となつたのであるから皮肉なものである。

都市警備、特にアスファルト上の実施、訓練はお手のものが入ってとなると大騒ぎである。枯れ草に足をとられたり、小高い丘からころげ落ちた者、草むらで蛇を見たという者、全考して迂回して行く者等々、今考ると、おかしなことであるが、雨の日は特にこの蛇に泣かされた。草むらから出てくるのは、監視塔にまで登ってくる奴もいるから手がつけられない。この蛇の出現で、待機員の応援を求めた隊員がほとんどで、いかに隊員がうきの手で守るんだという感慨を持つ必要があることを痛感させられた。

決」を実行し、「はい、喜んで行かせていただきます」と返事した。成田警備の重要性については、十分認識していても、頼れる上司、先輩がおらず、仲の良い同僚と別れたの出向は、一抹の不安と寂しさを感じざるを得なかった。

こんな気持ちで汲みこむように、壮行会では警備隊員は幹部の方々の激励をいただいた。後にも先にもこれ一回きりだろうと成田に向かう輸送車の中で感激し、手をなめたのもあった。そしてこの一年間、副総監、井上参事官、道具参事官を始めとする激励訪問を受けた。その配慮が気弱になりそうな心を再び鼓舞し、警視庁の一員としての自覚を保持し続けることができたのだ。

そして帰庁。総監から「御苦労」のお言葉と賞状をいただき各機動隊へ帰隊した。成隊より戻ると、見知らぬ顔に出会う「した」と大きな声で迎えてくれた。一年前と同じように、すぐに仲間内へ飛び込むことができた。仲間内へ飛び込むことができた。同志愛をつくづく感じさせられた出向と帰庁であった。

「忍」の勤務  
六機 小川竜一

成田の空港警備隊に、第五次出向者として出向したのは五十七年九月であった。

今、警視庁帰って一年間をふりかえってみると、空港警備隊での勤務は、監視塔勤務がほとんどであり、単調になりがちになってしまふ。そのうえ、成田は東京に比べて内地気候独特の夏は暑く、冬は寒いという気候で、特に冬などは、零下七八度になることがざらで、監視塔の鉄板に、綱上靴が凍りつくということがある。いつとなく、このかたからないゲリラに対して、「いつてもいい」という気構えはならないので、空港警備隊の勤務は「忍」の勤務と言える。

しかし、私自身この忍の勤務によって、大きく成長できたように



りや気がする。その一つは、空軍部長試験合格という事ばらしい結果を出す事ができた。空軍警備隊の出向する前は私はいくらと言っていたほど勉強しなかった。そんな私が、なぜ勉強したかという、「八には負けたくない」というライバル意識に燃えさせたからだと思う。

昨年になって私の周りの者が、猛烈と勉強をはじめた。私も負けじと、三・二七警備隊の連続十一回、非番が続いたのを猛りかかして、一日八時間ずつ、猛りと勉強した。しかし、過去が過去だけに、何回も挫折しそうになったが、そんな時には「こんなことで負けては、先輩が守ってきた空港は、死守することはできないぞ」と肝に銘じて、最後までやりぬくことができた。

今までの私の途中で完全に挫折してしまっているのに、我々が随分忍耐強くなったのだと思う。辛い時に努力した事が目標を達成することにつながったのだ。成田で培った「耐え忍ぶ」という貴重な体験に誇りを持ってこれからの執行任務をやり抜こうと決心している。

(中隊長)

忘れることができない。第二は、現地闘争である。赴任した直後の、九・一五警備隊に始まり、一〇・一一、三・二六、そして八・八警備隊と数多くの重要警備を経験した。現地闘争が設定されると、警戒体制は段階的に強化され、十日ぐらい前から二交代勤務となり、北総台地の暑さ寒さは大変厳しく、酷暑、酷暑の中の警備は辛く、苦しいのだが、警備を終えたあとの満足感と喜びはまた格別のものであった。これは、警備に直接従事したものでないが、味わえないものであり、大変貴重な経験だった。

今回、外から警備隊を眺める機会を与えられ、特に数々の警備に直接従って来た警備隊の力強さ、頼もしさを目のあたりにし、その活動ぶりには出向隊員として自慢であり誇りでもあった。今後とも、警備隊の一員として、誠心誠意努力してゆく決意である。

(特務係主任)

八機 及川 功  
敷地面積 五十六ヘクタール  
一日平均約二百便が運行し、旅客数一日約一万人が乗降する日本の表玄関、それが新東京国際空港である。

空警隊の勤務は三交代制ですべて小隊ごと活動し、寮生活も同じ棟に住むという年中公私ともに共同生活を送る。そのため、休みの日は自然と連れ立って外出するようになり、良い仲間づくりができた。

空警隊は、私達を暖かく迎えてくれたものの、種々等しい状況下にある。このような厳しい警備環境の中で、一年間勤務して感じたことを書いてみたい。

第一は、隊員の指導である。私の小隊は大半が新隊員であった。そこで、警戒要領等を早速に覚えさせるため、非番日を中心に実務能力テストと実査を実施した。隊員は素直に受け入れ、努力してくれたので指導にも張り合いがあった。また、やりやると、マンネリにもなりにくく、燃え盛るものともせず、毅然とした態度で勤務する隊員の姿は、

げただけでなく、すんだものの、険しい一年を振り返り奥歯をかみしめる思いであった。

こちらが隊を見ればすぐに驚嘆される。その血の如く一匹見逃さない目を皿のようにして監視塔に立ったのである。そして、必ずゲリラ発生前に逮捕しよう、皆が心を一つに警戒に当たった。

成田の冬は厳しいと聞いていたが、さすがに東京とは比べものにならない。梯子が凍りついて、監視塔から降りる時に足を踏みはずしそうになったり、監視塔から見おろす駐車車両の屋根が雪を被ったように真白になる。しかし、周囲に多くの極左の拠点があるため、ゲリラの危険性は極めて高く、寒さを吹き飛ばす旺盛な勤務意欲と張りつめた緊張感を余儀なくされたのである。

この一年間、警備隊機動隊員としての誇りと自覚を常に持ち、他隊員との模範となり、良きリーダーとして出向者が力を合わせてやってくれた。出向中に得た貴重な体験を、入校予定の管区学校初級幹部科での勉学や昇任後の第一線の勤務に生かしていきたいと思っている。

(現形並置)

念願が叶う  
九機 鈴木義孝  
副隊長から「成田出向」の内示を受けたときは、驚きと同時に「やるぞ」という固い決心が心の底から湧いてきたのを今でもはっきり覚えていた。「成田へ一年間行くことになった」と言う私の言葉に、電話の向こうで大変心配そうに母の音が返ってきたが、「頑張るぞ」といって励ましてくれた。

私が空警隊を希望したのは、拝命して以来四年、生業をやらすが、警備という組織を外部から見るのいい機会であるのと、他県の警察官と一緒に勤務し、寝食を共にし貴重な知識経験を積極的に吸収することも、過去に巡査部長昇任試験に一回失敗しているの、ここで自分を鍛え直し、何がなんでも試験に合格したいと思っただけである。

空警隊の勤務は、監視塔・検問所等での監視や検問等が主だが、いつゲリラ事件が発生するか分らない状況下で常時緊張し、肉体的・精神的にかなりの前段警備は、完全装備での二十四時間警戒態勢が何日も続く。

それも、全員が不眠の決意で警備に従事し、何事もなく最終のシフト機が爆音を残し、夜空を突き破り離陸していき姿を見ると、「空港を守り抜いたぞ」という責任を果たした満足感にかわる。

隊員寮はまだ新しく、寮は二人部屋で、私は土警備の若い隊員と一緒に、初めて部長を経験することもできた。初めは、自分なりに接していたが、お互い自分から守るという共通点と若さで、すぐに打ち解けて話し合えるようになった。

充実した一年間だった。東京とは比べものにならない凍り付く寒さでの監視勤務、猛暑での検問活動、疲労困憊しい警備活動、同僚の実家で田圃の手入れをしごき、千葉の隊員と手通して話したとき、巡査部長昇任試験に合格したことなど、成田出向を終えて強く感じたことは、警備も千差万別であった。他府県の警察官もみんなそれぞれに苦労し頑張っているという点だ。私は、成田空港の美しい黎明を思い出し、この貴重な素晴らしの経験を生かし、誇りと自信を持って、これからの警察生活を有意義に送っていききたい。

また各記念日闘争の前後には、当番、非番の二交代制勤務が二週間、多い時には、一ヶ月も続かなくなる。この期間は、何時発生するか分らないゲリラ等突発事象に備えてヘルメットだけをとり綱上靴をはいたまま眠る。こうした緊張の連続する警戒警備は確かに楽とはいえないものの、警備を元遂したあとの充実感は大変大きい。

また警備隊幹部の激務巡視が我々隊員の心をなごらせない。それは、明々白々の希望が湧いたのもこの時であった。

空警隊がある北総台地は、雷の多いところである。広大な空港周辺のいたるところに雷雲が発し、落雷もしばしばである。金属性のものを身につける我々と、この時程恐ろしいものはない。

ある夕立があった日、私は十四階建ての警備隊機動隊の監視塔で勤務していたが、頭の上でゴロゴロやれ、いつの間に落ちるか内心が気がはななかった。そんな時「十層の監視塔へ落雷」という無線連絡を受け、いよいよ心臓の鼓動は最高潮に達したものの、逃げる訳にはいかない。私は冷静さを保ち、隊員の無事を確認した後、「こんな雷に負けるものか」と空をにらみ返したものだ。

記念日闘争前後の隔日勤務にしろ、落雷にしろ、初めて経験することばかりであったが、私にとり成田出向は、自分を磨くことができた絶好の機会であった。

そして何よりも、互いに励ましてきた幾多の試験のりこえがあった、真に固い志の仲間がたくさんできたことを本当に嬉しく思っている。これからは、

空警警備隊での経験を生かして仲間と共に、今後の警戒警備に全力を傾注していきたい。

(広報係巡査部長)

使命感に燃えた隊員  
千葉新東京国際  
空港警備隊  
第二空港機動隊長  
前田 寿

第五空港視察出向隊員の皆さん、この一年間本当に御苦労様でした。

今、皆さんの胸に去来するものは、厳しい勤務の中、一年間の任務を無事果たした満足感と誇りではないかと思えます。

警備隊の各機動隊から呼び抜かれた皆さんは、昨年九月から成田空港の安全確保を任務とする空警警備隊員として、昨年八月まで空港の防人として警備に当たっていただきましたが、この間住み慣れた東京を離れて、生活環境、勤務環境の全く異なる成田で何かと不安や苦勞が多かったことを取り戻す機会も、空港反対同盟の分裂や本格パイプライン工事の完成など大きな出来事があり、一つの節目となるような年でした。

そして「空港突入、占拠、解体」を標榜する極左暴力集団も二期工事に対する危機感と反対運動の主導権、勢力誇示をねらった残忍劣劣なゲリラを敢行するなど、ますますゲリラ志向を強めてきた厳しい情勢の中で勤務でありました。

また、全国動員規模の反対闘争も多く、皆さんが着隊早々の「九・一五警備」を手始めに「一〇・一一」「一一・二八」「一二・二七」「一三・二二」「一四・一八」と六回の大規模警備があり、緊張した勤務が続きました。なかでも長期にわたった「三・二七警備」や連日四十度を超す酷暑の中での「八・八警備」は、大変厳しい勤務でしたが、任務の重要性を認識された皆さんはじつと耐え、隊訓でありました「積徳果敢」を誓い、不屈の士「積徳果敢」を誓い、不屈の士に当ってこられました。その根拠ある勤務態度は、さすがは首都の治安を担ってきた鍛錬された機動隊員と感服させられました。

皆さんが築いてくれた立派な足跡は、空警警備隊がある限り受け継がれていくものと確信しております。また、皆さん方が厳しい勤務の中で培った知識と経験は、これからの警察官生活において必ずやプラスになるものと確信しております。

私達も、警備隊各機動隊から選抜された人格・識見も優れた皆さんと一緒勤務し友情を温め、お互いに切磋琢磨できたことと思います。

皆さんのますますのご活躍とご多幸を祈っております。この一年間、本当にご苦労様でした。

アメリカンフットボール部  
を行なっている。

アメリカンフットボールは、一見華やかなスポーツに映るが、その真髄は、メンバー一人ひとりの機能的な精神によって成り立っている。ボールを進めるためカンファットボール連盟(昭和五十一年三月改称)において活動状況

毎春秋、秋と試合日程が組まれているが、春はトナメント戦、秋はリーグ戦が行なわれる。

昭和五十五年秋季リーグ戦:  
三勝一敗一分:準優勝  
昭和五十六年秋季リーグ戦:  
三勝二敗一分:第三位  
昭和五十七年秋季リーグ戦:  
四勝二敗一分:第四位

顧問  
当フットボール部は、他の実業団チームと違い、経歴に關しては、メンバーのほとんどが素人集団である。このハンディを克服するため、非番や週休を利用して、練習に取り組んできた。また、実戦に取組むことに重点をおき、強豪明治大学チームの胸を借り、あるいは合同練習

私達も、警備隊各機動隊から選抜された人格・識見も優れた皆さんと一緒勤務し友情を温め、お互いに切磋琢磨できたことと思います。

皆さんのますますのご活躍とご多幸を祈っております。この一年間、本当にご苦労様でした。

安を担ってきた鍛錬された機動隊員と感服させられました。

皆さんが築いてくれた立派な足跡は、空警警備隊がある限り受け継がれていくものと確信しております。また、皆さん方が厳しい勤務の中で培った知識と経験は、これからの警察官生活において必ずやプラスになるものと確信しております。

私達も、警備隊各機動隊から選抜された人格・識見も優れた皆さんと一緒勤務し友情を温め、お互いに切磋琢磨できたことと思います。

皆さんのますますのご活躍とご多幸を祈っております。この一年間、本当にご苦労様でした。

私達も、警備隊各機動隊から選抜された人格・識見も優れた皆さんと一緒勤務し友情を温め、お互いに切磋琢磨できたことと思います。

皆さんのますますのご活躍とご多幸を祈っております。この一年間、本当にご苦労様でした。



昭和五十五年秋季リーグ戦:  
三勝一敗一分:準優勝  
昭和五十六年秋季リーグ戦:  
三勝二敗一分:第三位  
昭和五十七年秋季リーグ戦:  
四勝二敗一分:第四位

私達も、警備隊各機動隊から選抜された人格・識見も優れた皆さんと一緒勤務し友情を温め、お互いに切磋琢磨できたことと思います。

皆さんのますますのご活躍とご多幸を祈っております。この一年間、本当にご苦労様でした。

私達も、警備隊各機動隊から選抜された人格・識見も優れた皆さんと一緒勤務し友情を温め、お互いに切磋琢磨できたことと思います。

皆さんのますますのご活躍とご多幸を祈っております。この一年間、本当にご苦労様でした。



昭和五十五年秋季リーグ戦:  
三勝一敗一分:準優勝  
昭和五十六年秋季リーグ戦:  
三勝二敗一分:第三位  
昭和五十七年秋季リーグ戦:  
四勝二敗一分:第四位

# 読者の 広場



## 撮影

木村 政次

動き、エノコシツクアニマルと云われても、人類が必要とする物を負負、安価、然も豊富に供給する事は、人類の発展と幸福に寄与するといふ信念の下に、人智の限りを尽して設備を改良し、より高効率を求めて日夜努力してきた結果が、構造不況だ云々される何となく寂然としなれないものを感ずる。

然し一方、想を新たにせず考え直すと、こうした止めのないマスプロは、露険関係とは異なつた次元の何か、自然の原則というが、神の摂理によつてより高い処で規制されており、それを犯すその罪の為、人類は苦しめばならぬ仕組みになっている様に感じられた。

これは何も鉱工業生産のみならず、農水産、その他についても同様で、最近特に発展の目ざましい電子、原子、生体科学等を見ていくなかに、何かに憑かれた様に神の領域に立入りた感じがしているが、天に向つて吐いた唾が自分に還る様に、やがては人類破壊の坂道をまっしぐらに駆逐するようになっている。

このまま、無制限なマスプロを続けると、工業の場合、資源の枯渇から何れ、農業の場合も知らぬが、農薬の場合難しい問題がある。

植物は、太陽と土地と水と空気があれば無限の生産が可能な様に思えるが、これは錯覚であ

る。例えば今迄の花壇は、春から秋迄色々季節の花で一杯だったが、冬の訪れと共に枯れ、一休みする。この間、土地は疲労を回復し地力を蓄えて来春に備える。

今は農業技術の発達で、冬でも色々な花を咲かせる事が出来る。しかし花を咲かせる事は、幾ら施肥しても農薬で処理しても生産性が低下する事は周知の事実である。これは土地の再生力を超えた過剰耕作の結果による生態系の破壊でもある。

こうした自然の生態系を越えたいマスプロが、人口の爆発的増加を来たり、或はその逆かも知れぬが、何れにしても今こそ人類はその最高の英智をもつて、その因果関係を断ち切りぬ限り、又、神の摂理に基づき、バランスのとれた生態系を確立せぬ限り、歯止めをきかぬ破壊の坂道を暴走する事になる。

何故こうなつたのだらうか。この地球上に人類が生れてから何億年か分らぬが、その間の殆どは神の摂理のまますべての生物は、秩序ある生態系を維持してきたに違いない。十八世紀の産業革命以降、長い地球の歴史から見ればほんの一瞬、悪魔に憑かれた様に科学が発達し、そこには深い洞察もなしにやみくもに暴走し、遂には神の領域を侵すもよそよそしい結果である。

一九五〇年代をアメリカの敵少ない穀物輸出国であったエチ

オピアが、七三年以降一年毎の大旱魃に見舞われ惨憺たる状態である。理由は簡単で、六〇年代七十多あった森林が二十年代は十六多迄に減少した結果、土地の保水力がなくなつた為である。

風と洪水による表土の流出、風塵や大気汚染、炭酸ガスの増加による異常気象発生の結果、世界最大の穀倉地帯といわれる米園、シンシッピー流域(殊にア

イオワ州)では深刻な問題となつてゐる。

一体、限界を越え自然生態系を破壊した歯止めのないマスプロは何時迄許されるのだろうか。人類と雖も、神の摂理による生態系に組み込まれた一生物にすぎぬ事を謙虚に反省し、その持つ最高の英智と洞察力で行末を見つめねばならぬ絶対的命の正念場である様に思えてならぬ此頃である。

## 青い女王はなぜさびしい

赤木 郷八郎

昭和十五年発表、佐藤惣之助作詩 服部良一作曲、高峰三枝子唄(敬称略)の「湖畔の宿」の三番目、次の歌詞が面白い。ランブ引きよせ ふるさとへ書いてはまた消す 湖畔の便り旅のころの つれづれにひとり占り トランプの青い女王の さびしさよ

私は、この歌の発表される以前に、ひとつのトランプの恋占いを教えられていた。しかし、使っていたトランプは、ハートとダイヤが赤、スペードとクラブは黒で、青いキングとクイーンとは何か、それがあざやかなので、知りませんでした。高校時代、大連の友達を買ってきてくれたトランプは、台紙裏表とも真黒で、裏には、薔薇の花が一輪、ハートは赤、ダイヤは白、スペードは青、クラブは青でした。そのカードで恋占いをしたら、青い女王(クイーン)のクイーンが出たのです。

この恋占いでは、ハートは女性の愛情、ダイヤは男性の愛情、スペードを恋をばくち、クイーンは賭事を意味します。そして、Aから4までは過去、5から8までは現在、9からQは未来、Jは男性、Qは女性、Kは結婚を示します。

湖畔の宿の歌の中の女性が、この恋占いをして、青い女王、すなわちクラブの女王があられた女性(自分)に賭事があり、結婚を目前にしての運勢としては、まことにさびしいと歌に書いた。この考えたとときは、鬼の首をとつた以上のたかぶりをおぼえました。

愛媛の県庁所在地 松山市は、市街地の真ん中にお城山が拡がり、その頂上に端正な姿の松山城がそびえている。松山の人々は、朝に夕にその優美な城を眺めて生活している。

春や昔 十五万石の城下かな

この句を作つた正岡子規の生まれた伊予の松山は、日本の騎兵生みの親と言われる秋山好古大将「智謀海客が如し」と言われた日本海海戦の智謀真之兄弟の生まれた所でもある。聖徳太子も御幸されたという名湯湯温泉があり、観光客で賑わっている。

おだやかな城下町でありながら進取の気性も旺盛で、アメリカで流行したベースボールを野球と翻訳し、いち早く松山に持ち帰つたのは子規であり、東京大学を卒業したばかりの夏目漱石を、校長より高給で松山中学の英語教師として迎えたものであった。

全国一のみかんの産地として、また瀬戸の海の幸も豊富で、魚の味は格別と遠来の客に喜ばれている。人情のあつた所と言われ紹介いたします。

おだやかな城下町でありながら進取の気性も旺盛で、アメリカで流行したベースボールを野球と翻訳し、いち早く松山に持ち帰つたのは子規であり、東京大学を卒業したばかりの夏目漱石を、校長より高給で松山中学の英語教師として迎えたものであった。

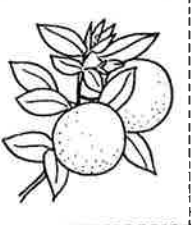
全国一のみかんの産地として、また瀬戸の海の幸も豊富で、魚の味は格別と遠来の客に喜ばれている。人情のあつた所と言われ紹介いたします。

ジョーカーを除いた五十二枚のカードを、両手に半分ずつ持つて、交互にバラバラとまぜます。次に女性の名前の頭文字(五郎など)を、AからBまで、G(七回)と切り替えます。次に女性の頭文字まで、同じ様に切り替えます。

そして、上から三枚目を開き(三枚ずつめく)、Aが出るまで続けま。Aが出たらとりだし、同じ要領で、23:Kまで、とりだして、1から4を

# ふるさとの匂い

玉谷 英雄



くならずすから、ジョーカーを入れたり出したりします。恋占いをしている間、最初に切つたカードの順序は変えてはいいけません。皆様の実りの多き恋占いを希って終ります。

「東京の息子さんお元気ですか」と、暖かさは今も続いている。私の「玉谷農機」の店も農業と共に歩んで六十になる。機械化の進歩中で多くは固定客で占め、悲喜こもも通し合える間柄の商売の深さを、人情に結ばれ信頼もされながら続けている。

石垣運送一千九百八十二メートルの白雲を仰ぎ、稲穂は黄金色に波打ち、まわりの山のみかんに畑はみかんが色づき、土手には秋の七草が咲き乱れるさわやかさである。このようなよき故郷を胸にえがき、心をひろく東京に住む息子よ、どうか元気で、まじめに、がんばって欲しいと願っている。

(監視行 八機・玉谷修二 隊員の父)

(第3面より続く)

関争が、相次ぐ警察の大規模検挙によつて、よりやく下火となつた昭和四十八年八月二十七日、第七機動隊に各隊のスポーツ小隊と同様に、隊員の心身の鍛練と士気高揚を図るとともに、都民に親しまれる機動隊つくりの一環として発足した。

同年五月二十九日、赤木警備部長の企画を受け、元日本バスケットボールチーム(ミューン

活動状況

関東東部部結成二ヶ月後は、バスケット部、スケート部、ルンバ部、バレー部、ソフトテニス部、バドミントン部、卓球部、全勝優勝し十三部に昇格した。その後、昭和五十五年リーグ戦四部で、全勝優勝し三部



- 機動隊の皆様 本年も宜しく
- 大内俊司
  - 新東運輸(株)
  - 杉尾栄俊
  - 谷本隆夫
  - (株)スチールセンター
  - 大東港運(株)
  - 高周波熱錬(株)
  - 木村政次
  - 黒田一
  - 村上益一
  - 国見山(株)
  - 丸定産業(株)
  - 明鋼材(株)
  - 田島鋼材(株)
  - 伊勢湾海運(株)
  - 中村一
  - 三和鉄構建設(株)
  - 高橋重廣
  - 飯田産業(株)
  - 三星金属工業(株)
  - (株)辻作次郎商店

# 今月の言葉

NHKの大河ドラマ「徳川家康」は、一年の間次から次へと、私達に大きな感動を与えて終了した。しかし何と云っても、去年十二月十八日に放送された家康が死ぬ場面の物語は、私達に人間の本来、人は如何に在らねばならないか、人は如何に生きるべきかを教えて、比類ない感動を与えた。

肉体の死期を早めるものと同じく、自ら、自身の安楽は願はず、伊達正宗の討ち込みに関東一円の鷹狩りに出陣した真剣さ、世を乱す恐れある行動として我が子松平忠輝を罰し、永対面禁止を申し渡した肉親の情にも満ちた人生に対する厳しさ、これ

# 死の瞬間まで

らはテレビドラマの場面ではあったが、私は、思わず涙を止さされた思いがした。

天海僧正の導きではあったが、家康は、人間の偉さは何を為したかである。我々は一枚の葉でしかない

得ない。一枚の葉、一本の小枝は、生まれてまた死んでいくが、それらを超えて樹木は繁茂する。一枚の葉、一本の小枝が、ことさらに自立しようとする必要はない。我々の存在も、大いなる宇宙の生命の一つの現れであり、我々の努力はまた、この宇宙の生命に帰一していく。

日本に仏教が伝来してから、数百年

年間にわたって醸成された仏教の思想、色即是空、空即色を、やさしくNHKの大河ドラマは解説してくれたいのである。感動のあと、テレビを消して現実の世相に想いをめぐらすと、政治に、社会に、教育に、感無きを得ない。家康公の遺訓に忠実に、私もまた混迷の社会にあって絶望することなく、自分のできるこ

とで、死の瞬間まで努力を傾注した。「人間の気質における悲観と楽観の最も良い組み合わせは、知性による悲観と意志による楽観だ」という名言がある。現在の世相の混迷は、ひとり日本国内のみではなく、むしろ国外における情勢、国外からの脅威が日本の平和と安寧を攪乱しようとしている。

私達は、現実を厳しく真剣に検討し、危機に際して絶望・落胆することなく、挑戦に反抗していかねばならない。今年、八十三才を迎える私ではあるが、機動隊員と共に、祖国に命を捧げる決意である。

# 名古屋支部総会 隊員の心の支え

## 会の輪がさらに太く大きく



第九回名古屋支部総会が二月九日十七時から名古屋郵便貯金会館で開催された。立春を過ぎたとはいえ、日本列島が寒気団に包まれブルブル震えている中、機動隊員等二百名に会員百四十名が出席した会場は、熱気に包まれ、一足早い春となつた。

政敵を国歌斉唱で始まり、励み重ね、社会正義の実現を目指していくことを誓っており、励ます会が心の支えとなつていくと口を揃えるものだ。

これを代弁して森・愛知県警機動隊長は「警備のプロに徹し、練度の高い隊作りで警備の万全を期す」と謝辞を述べ、木村利秋・励ます会大阪支部世話人の万歳三唱で締めくくられたが、充実した機動隊生活で、隊員がたくましく成長していくことをわれわれは念願している。

第九回名古屋支部総会が二月九日十七時から名古屋郵便貯金会館で開催された。立春を過ぎたとはいえ、日本列島が寒気団に包まれブルブル震えている中、機動隊員等二百名に会員百四十名が出席した会場は、熱気に包まれ、一足早い春となつた。

政敵を国歌斉唱で始まり、励

機動隊員等二百名に会員百四十名が出席した会場は、熱気に包まれ、一足早い春となつた。

政敵を国歌斉唱で始まり、励

# はげまし

発行所  
社団法人 機動隊員等を励ます会  
東京都中央区八重洲2-4-14  
〒104 ミツヤビル3階  
発行人 鈴木 實  
TEL 03(272)2050  
購読料 年間1200円(送料共)  
(但し会費の中には購読料を含む)

まず会の加納保成・名古屋支部世話人代表は「先般、隊員達の訓練を見学する機会を得たが、体力と気力の向上、また練度の高さに敬意を表する。今後とも励ます会が、機動隊と国民のかけ橋になっていくべく支援を続ける」と励ました。

続いて門・中部管区警察局長と四方・愛知県警察本部長が「治安情勢がいつどういった事態に変化していくかは予測が立たない。このために警備体制は緩められない。国民の期待にそうべくさらに努力していく決意である」とそれぞれが力強く挨拶した。

鈴木實・励ます会副理事長の乾杯の首領をきつかけに、懇親パーティーは大きく盛り上がり、隊員と会員の交流があらにちからで花を咲かせた。「いつもご苦勞様です」「ご支援ありがとうございます」……

若き隊員達はさらに訓練を積み重ね、社会正義の実現を目指していくことを誓っており、励ます会が心の支えとなつていくと口を揃えるものだ。

# 北から南から

## シンボルマークの玉竜のごとく 福井県警察機動隊

一、沿革  
「九頭竜隊」の別名で呼ばれた福井県特別機動隊が発足したのは昭和二十七年十月二十日であった。その後幾多の変遷を経て昭和三十六年四月、福井県警察機動隊と改称した。

四十六年四月には、福井市の郊外に独身寮付庁舎が完成し、五十七年十一月に機動隊創立三十周年記念行事を福井県公安委員長、警察本部長、その他他代隊長を招いて盛大に催し、今日に至っている。

二、警備実施対象事業の変遷  
発足当時から四十一年頃までの諸活動は、台風による風水害事案いわゆる災害警備活動が主であった。その後、七十一年安保闘争の前哨としての各種闘争が本県にも波及し、治安警備実施に動くようになった。

昭和五十年代となり、国際的な盛り上がりを見せつつある「反核運動、反原発闘争」の警備実施に動く機会が多くなってきた。日本一の原発本県である福井県にあっては、今後ますます反原発闘争を中心とした治安警備実施の増加が予想される。

この警備の万全を期するため、毎月三回以上「県機・管機第一機動隊合同訓練」が実施され、警備実施技術の向上と研究に努めている。

三、日常の訓練状況  
隊員はレンジャー隊、アクアラング隊、爆処理隊、柔剣道特練のすべてを兼務しているが、年間訓練計画により、効率的かつ完全習熟を合言葉に訓練に励んでいる。

四、出動事例  
最近では、五十三年から翌五十四年にかけて通算九回(延べ百二十三日間)成田空港閉鎖阻止闘争警備に当たった。五十五年四月の高浜原発三、四号炉増設公開ヒアリング反対闘争、同十一月の敦賀原発公開ヒアリング反対闘争、そして五十七年七月の「F.R.R.」もじゅび公開ヒアリング反対闘争警備があった。

最近の治安情勢は一応平穏に推移しているように思えるが、「治いて乱を忘れず」の先訓に学び、あらゆる事態を想定して、シンボルマークの「玉竜」のごとく、強しな機動隊づくりに励んでいる。

## 国際都市の基盤作りに一役 広島県警察機動隊

一、沿革  
広島県警察機動隊の歴史は、昭和二十七年九月一日に発足した国家地方警察広島県機動隊から始まる。その後、警察法の施行等による変遷を重ね昭和四十四年十月、広島県警察機動隊が確立され、現在に至っている。

二、日常の勤務  
毎日の勤務は、隊舎前における全隊員による朝礼から始まる。朝礼は、国旗掲揚、各種の指示伝達、隊歌斉唱、体操が行われ、朝礼終了後、隊舎北西に比る標高七十一メートルの比治山頂上までの折返し約四キロのコースで、マラソントレーニングを行う。

比治山は、市内名所の一つであり、春は桜、夏は青葉、冬は雪景色と風光明媚な所であり、市民の憩いの場所である。しかし、わが隊員にとっては、強靱な警備体制の確立と体力づくりをするための、汗だく必須のマラソントレーニングである。このマラソンから、それぞれの課業に入る。

三、訓練  
治安警備訓練は、県機独自の訓練と、月に九回の第一機動隊(警視庁の特機)との合同別合同訓練がある。その他、県機一機・管機と月一回の合同訓練を行い、八月六日の原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式の一ヶ月前からは単独訓練を行う。

## 精強部隊作りで訓練を反復実施 岡山県警察機動隊

一、沿革  
昭和二十三年十月、国警本隊に「特別機動隊」として、各課から選抜された精鋭で発足し、二十七年七月(国家地方警察岡山県特別機動隊)と改称、三十二年六月一日、隊舎新築、岡山市いずみ町に移転し、隊名も「岡山県警察機動隊」と改称した。

四十四年四月、管区機動隊が編成され、岡山東・岡山西両署に配置して運用していたが、四

十六年四月、機動隊に吸収、合同運用とし、五十年三月隣接する警察学校の跡地へ移転、五十八年十一月、新築成った現在の隊舎で勤務している。

二、日常の勤務及び訓練状況  
当隊は自動車をとり、毎朝点呼時のマラソン訓練は、一日が始まり、各種訓練は、有事に備え、基本・応用・特殊訓練を反復実施している。一方、岡山(第三ページ)……

# この一年間の努力の成果

それぞれが新しい目標を立てているが「将来に対する最上にある予見は、過去を顧みることと改めてこの一年間の成果を警視庁機動隊に代表して貰った。これからも自信を持って取り組んで頂きたい。

今年甲子（きのえね）の干支である。十支をひと機動隊員は今後の輝かしい六十一年の新しい時代にすべく、自己鍛錬に一段と励んでいく決意である。

## 署課隊対抗試合 (剣道) に優勝して

一機 前田洋一

光陰矢の如しと言ふ諺があるように、月日が経つのは実に早い。勤務に特練に汗を流し、暑いと、音を上上げていたのも束の間で、今は厳寒期である。自分なりに昨年一年間を振り返り、心に一番強く残っているのは、念頭であった夏の署課隊対抗試合において、剣道で優勝の栄光に輝いた事である。

武道小隊に就隊して早や四年、署課隊対抗試合では大将として出場させていた。あの優勝の瞬間の感激は今だに忘れられない。思えば、剣道の花もまたつぼみの頃か、署課隊対抗試合に向けての朝稽古、非番を利用しての肉体の鍛練等、特練選手相互が切磋琢磨、ひたすら優勝の二字を目指し励んだ

と叱られたり、「君たちは無他心通について考えろ」とも言われた。

今思うと、出稽古に行き試合に負け駆け足で稽古まで帰り、休日もなく午後稽古に打ち込んだ事もあったが、楽しい事、つらい事も武道やスポーツを経験した者でなければ分らないものである。特に若い時には経験できないものだと思っている。

今回の優勝を通じ、勝者になるにはその陰に必ず努力があり、それを支える者がいること、人に勝つ難しさ、負ける悔しさ、一つの事をやり抜いた充実感を感じ、しみじみと知る事ができた。自分が年老い、白髪になつてから「あの頃は良かった」と思ひ出せるように、仕事に、剣道に精一杯努力し、意義ある警察人生を全うしたいと決心している。

二機 田尻幸夫

久松署員として津田英語会へ派遣されて以来、管区の英語上級課程で英語を学ぶことが夢であった。英語期間が終了に近づいた頃、小隊長からの講習の試験を受けてみるように言われた。「私はまだ新隊員です、今はまだあきらめたいと思いません」と答えて、小隊長に「これは命だ」と言われ、喜びの感情を押えて、命合に従った。

筆記試験には七十名ぐらいの若い署員が集まった。津田の同期の顔もあちこちに見られた。「こんなにも多量に受験するの、とても通りそうにない」とは思ったが、気を落さずかたて問題に取り組んだ。一次試験には十一名が選ばれた。その中から二名が選ばれた。今度こそだめだと思った。

当時、二機は指定重防(官邸)警備に当たっていた。ある日、築山下の勤務を終り指揮所に戻り、入って行くと、「おめでとう。通ったよ」と教えられ、私は夢でも見ているのではないかと

血と汗の結晶であったと思う。夏の一番暑い盛り、道場の窓を全部閉まきつて二時間、わたる掛り稽古。何度竹刀を振り投げて道場から逃げだそうと思つたが分らない。しかしその度に「苦しいのは俺だけじゃない、優勝の為だ、みんな苦しいんだ」と自分に言い聞かせ練習を乗り越えて来た。

助教の厳しい掛り稽古では、足も腰もふくらみ、脳も上がらなくなるくらい引き回され心臓が喉からせりだそうである。自分でも「もう駄目だ、体が動かさないうちか」と泣きかかっていた。そのうち稽古に入る程だ。お前は機の大將だろう、それとも青大将か」と叱咤激励されて、厳しい稽古を乗り越えることができた。励まさればかりではなく、指導室の先生には、試合や稽古で元気がないと「こんなに元気がない機動隊は見えたことない」と

と叱られたり、「君たちは無他心通について考えろ」とも言われた。

今思うと、出稽古に行き試合に負け駆け足で稽古まで帰り、休日もなく午後稽古に打ち込んだ事もあったが、楽しい事、つらい事も武道やスポーツを経験した者でなければ分らないものである。特に若い時には経験できないものだと思っている。

今回の優勝を通じ、勝者になるにはその陰に必ず努力があり、それを支える者がいること、人に勝つ難しさ、負ける悔しさ、一つの事をやり抜いた充実感を感じ、しみじみと知る事ができた。自分が年老い、白髪になつてから「あの頃は良かった」と思ひ出せるように、仕事に、剣道に精一杯努力し、意義ある警察人生を全うしたいと決心している。

二機 田尻幸夫

久松署員として津田英語会へ派遣されて以来、管区の英語上級課程で英語を学ぶことが夢であった。英語期間が終了に近づいた頃、小隊長からの講習の試験を受けてみるように言われた。「私はまだ新隊員です、今はまだあきらめたいと思いません」と答えて、小隊長に「これは命だ」と言われ、喜びの感情を押えて、命合に従った。

筆記試験には七十名ぐらいの若い署員が集まった。津田の同期の顔もあちこちに見られた。「こんなにも多量に受験するの、とても通りそうにない」とは思ったが、気を落さずかたて問題に取り組んだ。一次試験には十一名が選ばれた。その中から二名が選ばれた。今度こそだめだと思った。

当時、二機は指定重防(官邸)警備に当たっていた。ある日、築山下の勤務を終り指揮所に戻り、入って行くと、「おめでとう。通ったよ」と教えられ、私は夢でも見ているのではないかと

## ABC

この講習には、全国から選ばれた人達がやって来る。その中でどれほどの成績を残せるか不安であった。しかし全力を尽くすことが、五月の間、勤務を離れて勉強をさせてもらえ、ことへの恩返しであり、かつ使命であると自分に言い聞かせた。

授業では気取って、英単語や例文を頭を詰めて読んで、毎晩二時間前にベッドに入るといふことはなかった。試験前二週間にわたる時は、徹夜をしたことも何度かあった。しかし、他府県から来ていた人達も頑張っていた。寝る前にトイレへ行く時、その部屋の前を通る度、灯りのついていない机がいくつも見られ、その努力たるや驚くべきものがあつた。

卒業試験の最終科目が終了した時の解放感は一生涯にわたることができない。とにかくやるべきことすべてをやりに、全精力を使い果たしたあとの満足感に似た感じがした。

卒業式当日、私は総代の隣りの席に座っていた。努力が報われたのである。後には、この講習で身につけた英語の力を活かすために、限られた時間、いざ鎌倉という時に、抜いた力が再びかき出されよう。

二機 鈴木澄雄

## S班の任務

三機 鈴木澄雄

第三機動隊S班は、昭和五十七年三月発生のイスマール大使館事件に出勤して以来、爆発物処理の機会に遭遇していない。今年も二十回のS班指定を受け、一度も出動していないことから昨年一年間の成果といつても、特筆することはない。

しかし、この種の事件はいつ発生するか分らないものである。また模倣性も強く、一度発生すると連続的に発生するおそれも予想され、その破壊力、殺傷力の大きさから多数の善良な市民の生命を奪うこととなり、社会に与える不安は図り知れないものがある。

過去の三菱重工爆発事件や東京南部小包集中局の爆発事件を見れば言うまでもないことだろう。私は、このような凶悪な事件を絶対に起こさなければならぬとの強い信念を持ち続けなくてはならない。

また爆発物処理の任務は、班員の生命、身体に直接かかわり、とても非常に危険な任務である。このように重要な危険な任務を完全に遂行する為には何より訓練が大切であり、私達S班隊員は、実際に出勤し現場に爆発物を処理する日に備えて訓練を重ねている。

班員の一人ひとりが、自信を持って爆発物が処理できるような爆発物に関する知識を身につけ、処理器材の知識を、そして実際に爆発物を処理する技術を体得することが大切である。私の「S」を確実(Sure)、安全(Safe)、迅速(Speed)に爆発物を処理する「三S」の目標とする。この「S」を確実(Sure)、安全(Safe)、迅速(Speed)に爆発物を処理する「三S」の目標とする。

S班の任務は、本営に裏方の仕事である。処理してしまえば「なあんた、こんなものだったのか」と安心し、がっかりしてしまふ。しかし、千に一つ、いや万に一つでも爆発物である可能性があるので、生命を賭しても任務を遂行し、市民の安全と平和を守っていかなくてはならない。

二度と再び爆弾による死傷者や爆発事件そのものが発生しないことを願ひながら、班長以下全員が強固な信念のもとに訓練に励み、常に万全な態勢を保持しているのが我々第三機動隊S班である。

## 継続は力なり

四機 木田敏範

私は、近代五種競技を始めて二年目になる。競技を始めるに際し、馬術・フエッティング・射撃は、技術的なことから多分に分かる感覚で、体力の極限を争う部類と水泳にこの競技の大きなウェイトがかかっているのではないかと考えた。

未熟ながら陸上の経験はあるものの、水泳は百メートル程度しか泳げなかった。特にその感が強かった。そして案の定、一年間訓練を積むと、何とか百メートル(近五で水泳の距離を泳げるようにはなつたものの記録的に満足すべきものはなかった。

そこで二年目は、近代五種競技のトップレベルの選手になるべく、この水泳に重点を置いて訓練した。水泳の強化とは、腕力の強化に他ならないと信じ、いかにして筋力を強化し理想的なフォームを削り、しかも他競技への影響を最小限におさえるかに没頭した。

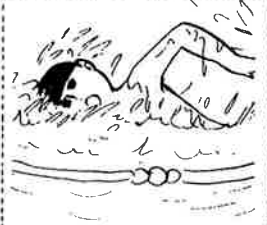
第一の方策として、当庁重曹挙げ競技の大内監督にウエイト・トレーニングの基本を教わり、それを忠実に反復訓練することから始めた。慣れないバーベル「何百キロも、本営に人間が挙げられるのか」という驚きと、たった二十キロから始めた訓練に、いとも簡単に筋力増え、次「次の日の訓練に差し支えるから今日は手を抜こう」と、自

分でもあきれるくらい「怠け心」に切なさと、これからの遠い道程に軽い絶望感を抱いた当初であった。しかし、トレーニングを続けていくうちに、ずっしりと腕や肩に力強さを感じることができた。正に「継続は力なり」である。

第二の方策は、自分の理想とするフォームの追求である。この命題に関しては、水泳に限らず、トップレベルの選手のフォームを盗み、それを自分のフォームにするまで繰り返すことだと思ふ。そこで、まずビデオ・コーダーを購入し、放映される水泳の国際大会でのトップ・スイマーをテープに収め、何度も繰り返し見て、イメージ・トレーニングを行った。更に、週休と夜間を利用して、近頃の開放プールへ通ひ、速く泳ぐことになり、いかにイメージに浮かんだフォームを体得することが出来るかに主眼を置いた訓練を実施した。

これらの成果は、昨夏の職員水泳大会四百メートル優勝となつて、確実に自己のものとなつて現われた。これで陸上の八百メートル優勝に続いて、二つ目の金メダルを取ることが出来た。自信を得た今、努力の大切さを念頭にこれからは、チャレンジングする全てに全力を傾注していきたいと思ふ。

ロス五輪と初めての巡査部長試験を目標に、又、新たな一歩から踏み出す覚悟である。



五機 石橋孝栄

在隊して三年という期間は、あつという間に過ぎ去った。私の最大目標としていたはずの昇任試験長期計画もままならず、長期が駄目なら短期で取得できるものはないだろうか、一念発起したのが、私のこの二年間であった。

手軽に取得できる資格なら何でもとてやろうと、「衛生管理者」の受験案内の掲示をみてからは意欲がわき、「衛生管理者」「調理師」「危険物取扱者」

難関突破 「X線免許」

六機 杉山文敏

機動隊でS班を編成する場合にX線機材の作業があり、そのためにはX線作業主任者が一人は必要である。私は以前からX線の資格を取りたいと思つて来た。

機動隊に来て一年余、重防、デモ、雑給、S班といろいろな経験をした。この辺でいろいろな経験を積んだ。この辺でいろいろな経験を積んだ。この辺でいろいろな経験を積んだ。

五機 石橋孝栄

在隊して三年という期間は、あつという間に過ぎ去った。私の最大目標としていたはずの昇任試験長期計画もままならず、長期が駄目なら短期で取得できるものはないだろうか、一念発起したのが、私のこの二年間であった。

手軽に取得できる資格なら何でもとてやろうと、「衛生管理者」の受験案内の掲示をみてからは意欲がわき、「衛生管理者」「調理師」「危険物取扱者」

難関突破 「X線免許」

六機 杉山文敏

機動隊でS班を編成する場合にX線機材の作業があり、そのためにはX線作業主任者が一人は必要である。私は以前からX線の資格を取りたいと思つて来た。

機動隊に来て一年余、重防、デモ、雑給、S班といろいろな経験を積んだ。この辺でいろいろな経験を積んだ。この辺でいろいろな経験を積んだ。



の三本を取得することができた。毎回そうであったが、部外受験届出の隊長申告がいつも心苦しい。「何をやるんだね」と隊長は質問される。「別にいますぐ行うためと理由はありますが、将来きつと仕事に役立つものと思ひをいまして、」と答えて苦笑いをして来た。

「アブラコムツ」(まぐろに似た魚で食べると中毒症状をおこす)を販売していた業者を、食品衛生法違反で生活課が検挙。「五十人以上の事業所に衛生管理者を一名置くこと」(労働衛生法)。危険物を取扱っている操車係の任務も大変であること、気にとめていた。たまたま見えたのが見えてきて、視界が広がった。たまたま見えてきた。このはずかを一気に今年の昇任試験にも活用できないものか、と苦慮して居るところである。次回、「宅地建物取引主任者」「情報処理技術者」をめざしてみたいと思ふ。

(特務係巡査部長)



(中隊員)

れ、一、管理(主に機械構造)、二、X線の測定、三、生体と与える影響、四、関係法令の項目になっている。

管理と測定は、以前より勉強したことがあり、予備知識があったが、生体と法令は初めてで理解するのにかなり苦労した。独学では限界があるので、資格を取って先ず、待機中や非番の時に指導を受けた。七月の前期講習で講習問題を解いてみると、なかなか容易にはいかなかった。

そこで、暗記を必要とする項目については、範囲別・項目別に整理をし直し色分け式の暗記カードを作り、確実に暗記できるようにした。夏の一ヶ月の勉強だったが、毎日テキスト、暗記カード、問題を繰り返し勉強した。後期講習では、一ヶ月の勉強の効果も少し出たので、応用問題や最も得意な項目の強化に努めた。これは、いよいよ受験当日を迎えたが受験者の多いことに驚いた。その人の顔は、いつも装置を扱うに慣れていないように見え、多少不安になった。試験の内容は、やはり範囲が広か、かつ一電電気や高度応用問題も出題されていた。待ち前のチャレンジ精神で夢中に取り組み試験を乗り越えることができたが、振り返ると次の点が良かったのではないかと考えている。

一、講習の前に予備知識を学習したこと、二、免許を取得している人から指導を受けたこと、三、必要事項を確実に暗記したこと、四、今後の経験を实地に生かすよう努力し、今年も新たな目標を持ち、前向きな姿勢で取り組んでいきたいと思っている。

### 巡査部長昇任試験に合格して

七機 打田孝幸

幸運にも巡査部長昇任試験に合格することができた。これにひとえに、上司や先輩の方のたかい御指導の賜物と深く感謝している。そこで、私が感じたことを述べてみたい。

一、勉強を継続するということが難しい。そこで私は、試験勉強をはじめの第一歩として「なぜ巡査部長昇任試験に合格したいのか」という動機づけを自分なりに行った。これによって、時には挫折しかかかったこともあったが、何とか乗り越えて行くことができたと思っている。

二、自分に合った勉強方法とそれに基いた計画的な目標を設定して勉強しなければ、効率的な勉強ができません。私が勉強しなければならなかったのは、一次試験まで僅か一月という時であった。そこで、次の方法をとった。

(一) 白紙を中心にして、SPB、外勤活動、七機試験の問題を繰り返す。重要事項や不得意な問題を中心に警務要領、参考書等でチェックし、サブノートを作成し体系をつけて覚える。(二) 勤務中の休憩時間、待機時間などに僅かな時間でも有効に使う。特に分隊長を始め、上司に積極的に質問をし、理解度を確かめ、かつ深める。(三) 試験直前は新しいことを覚えるよりも、サブノートを中心に、今までやったことを完全に自分のものとする。(四) 論文、書類作成は、過去の出題例を参考に作成し、上司に添削してもらい、模範試験に添削の試験と考え、繰り返し解答が早くできて、何回も繰り返して確認する。

三、今年の昇任試験問題は昨年と比較して、いわば暗記ではなく「いかに理解しているか」を求める問題が多く(特に多岐式)、そのため「基本書」を決めて読むべきであると思った。今年の巡査部長昇任試験も、目前迫ってきている。最後まで諦めず全力を尽くし、合格

### 自己変革

八機 村井克之

八機機動隊に属して半年余が過ぎた。この間、新隊員として毎日が無我夢中だった。そして、機動隊の空気にこそそう慣れたかと思いつた。この半年を振り返ると、苦しいことが多々あったが、充実を感じた。一番最初に母が「お前の出は、やはり新隊員訓練だ。この一週間は辛く長い。週間は、なかなか辛いと思える。具体的にどうしようか」という言葉が、この半年を振り返ると、苦しいことが多々あったが、充実を感じた。

この半年余の成果はまだ微々たるものだが、これからの機動隊生活において、胸を張って誇れる大きな成果を得るべくがんばる覚悟である。

(中隊員)

### マイホーム獲得

特車 田中章一

結婚して二年を過ぎた私は、独身時代からの夢と希望であったマイホームを、上司、先輩、そして同僚の絶大な指導と協力を得て手にすることができた。私は公共団体の団地に入居しようとして、二年越しで切なる願いを込めて応募書類を出して来たが、返信は「希望」とも「落選」ともなかった。

入居希望者の多さを痛感していた折、前に住んでいた住宅の近くに在住する巡査部長の「土地付分譲住宅にしよう」というアドバイスに、「よし」と思い切った。

それが、専任課長宅相談室からの「住宅情報」や不動産屋の掲示板を見ては物件の高さに胸を組み、新聞広告をにらんで

### 一人四役をこなす激しい訓練

山口県警察機動隊

二十七年八月、警ら交通課長が隊長を兼務、警ら交通課に付置されたが、昭和三十四年一月九日専任機動隊長として編成された。その後、管区機動隊、第二機動隊、警務員兼務隊の編成

の栄冠を勝ち取る信念を持つことと。私も機動隊経験者として恥ずかしくない巡査部長になるために、日々努力して行く決意である。

(特務係員)

ているのかと思いつくほどのつのが遅く感じられ、最初の頃は苦痛に思えた。しかし、こんなことではいけないと思い、自分の頭の中でギリギリ事業を想定して対処すべきか、などとの問題意識を持って立番勤務をするようにした。すると、時間の経過も苦にならず仕事に対するやる気が感じ、そして忍耐力も養うことができた。

また、機動隊に入隊して読書の習慣をつけた。本を読み始めると、すぐに眠ってしまう私が、機動隊に入隊してからは先輩に刺激され、待機時間等を利用しては本を開くという習慣が身についた。

時には疲れて本を開くのがおっくうな時がある。そんな時でも、先輩が真実な表情で本を読んでいるのを目にする。「先輩に負けてはなるのか」という気持ちになり、本を開く。入隊前の私は考えられなかったことである。

この半年余の成果はまだ微々たるものだが、これからの機動隊生活において、胸を張って誇れる大きな成果を得るべくがんばる覚悟である。

(中隊員)

は留置大变な日が続いた。半ば諦めていたある日、ある先輩から、近くに分譲住宅があることを知らされた。

土地や家の知識など皆無に等しい二人である。まずは相談と、さっそく上司の指導を受けることにも、家に関する資料や本を買込み検討しながら、厚生課住宅相談室の扉をたたいた。

「物件・不動産業者について問題はなし、価格についても適当」とこと細かに親切な調査や指導を受けた。さらに警信が「生活は楽ではないが、やっていける」との言葉に力付けられて決断し、小さいながらもマイホームを持つことができた。

これから先の長い返済期間は大変困難な道のりと思ふ。しかし、昔倍のうえで乗り出した二人である。妻と協力し合って今まで以上に明るく、楽しく家庭を築き、親身になって相談に

乗って下さった方々に恩返しをしたいと考えている。昨年の初詣で、妻と手を合わせて祈願した私の夢は、一、マイホームの獲得、二、小さな命を授けたい、三、昇任試験突破の三本立てだった。

空想ばかりの寒々とした部屋で、イチヂクを食うと言えないマイホーム獲得の現実に、そして三年間受かることができなかった子供が昨年十月に誕生し、父親としての実感を味わうことができた。

「来年の試験には必ず合格」を目標にアルバイトを兼せ、努力していきたい。

(中隊員)

統一等幾多の変遷を経て、五十年四月一日「山口県警察本部警備機動隊」として新しく発足した。

二、勤務及び訓練状況  
山口県の場合、県都山口市の人口十万余という二大都市のため、県機と管機の性格、任務、日常の勤務・訓練も大きく違っている。

三月三日は山口市に召集し、合同訓練を実施しているが、県機にあっては、日勤勤務で乗剣道けん銃の特種要員としての特別訓練のほか、治安警備訓練、災害警備訓練、機能別部隊としての爆処理、レンジャー、アタラング訓練等一人四役をこなしている。

管機は、日常は若田市、下関市を中心として三交警制のバイク乗務勤務に従事し、一番番に対応しているが、毎日の計画に基いた治安警備訓練を行い、有事に際しては、県機と一緒に出動している。

三、出勤事例等  
五十八年七月は山陰中津雨により県北西部は大きな災害が発生。機動隊はいち早く災害現場に出動し、救出・救助活動を実施した。現着時、新入隊員(四月入隊)の全隊出動で、警務備に当

備岡山山から北約七十キロメートル、鳥取県に接する山間(演習場)があり、西の三里塚を呼号して極左及び地元反対派の反響、反基地及び射撃阻止争が恒常的に行われ、月平均二回の全隊出動で、警務備に当

(一) 日教組第五十八回大会準備中、八月末は、県北の温泉地湯原町で日教組大会が開催され、全国の右翼団体が乗り込み、激しい反対行動を展開したが、近警署の応援を受けてその警備を無事終了した。当隊は、事前事後警備を含め約一ヶ月、多くの困難に遭遇したが、平素の訓練と団結により、任務を全うした。

四、その他  
機動隊舎は、県庁舎新築に伴い昭和五十六年二月、山口市内から十キロ離れた山間部の高台に建築された。国鉄赤十字線の切り札として運搬されている「S-L」を見ながら郷土の治安を護るため、激しい訓練に汗を流している。

- 若い力を結集
- 治安の機動隊
- 山陽特殊製鋼(株)
- 鈴木 實
- (株)周東商会
- (学)嘉悦学園
- 岡部 (株)
- 光洋商事(株)
- 日誠総業(株)
- 東南貿易(株)
- 高周波熱錬(株)
- 高島 浩一
- 西戸 榮一
- 姫田 清美
- 加納 保成
- 松田 鉄鋼(株)
- 野口 直志
- 堀口 海運(株)
- 豊鋼材工業(株)
- 中條 鋼材(株)
- 金廣 鋼材(株)
- 三福 商事(株)
- 北海 鋼機(株)



(中隊員)

# 読者の 広場



## 五十年ぶりの同窓会

馬場 鋼太郎

昭和七年三月に中学を卒業し、同窓生が、先日美に五十年ぶりに初めて同窓会を開催した。幹事役四名の中に私も加わって、まず名簿の整理から諸々の準備に手取ったが、会場にはある会社の寮を借用して開催の運びになった。

約二百名の卒業生のうち、生存と現住所が確認されて、案内状を出し得たのは僅かに三十四名であった。そのうち当日の出席者は総数二十名で、弁護士、医師、会社役員、自家塾生等お現役で活躍する者もあり、益歳や孫の相手をしている毎日が日曜日の完全隠居生活者も居り、職業生は多岐であったが、平均年齢古稀七十才とは思えない元気が集まった。

光陰矢の如しというが、特にこの五十年の歳月の経過は戦前戦中、戦後と変転極まりない半世紀であった。お互いに感無量

## スキーと私

橋山 和正

五十才にしてはじめてスキーを習った。雪の降らないところまで育った私が、残った人生で今が一番若い、今やらなければ一生やる機会がないと思ひ、迷惑をもらえりませ、強引に連れて行ってもらった。

まず驚いたことは、腹がつかえて靴がはけない、腰が曲がらねばつけれない、雪の上で立つては行かない、ころんと滑り起き上がれない、歩けない、なないななと、びっくり返された。雪の上

では人間として通用しない。親切な方々に助けられ、装備をつけてもらひ、スキー学校に入った。ヨチヨチ歩きのことから私まで、十五、六人が同級生になる。先生の教えをしっかりと守り、午前中大汗をかいた。昼からクラス分けがあり、ヨチヨチ歩きの子と別のクラスになった。(ヤレヤレ上になつたか)と先生に聞いたら、「向うの方が上級」との答え。こちらは午前と同じことをやるという。

次の日も先生の言うことはよく分り、言われた通り体を動かしては置かれたが、原級に止め置かれた。入試に「スベル」よりはまじいと思ひ、原級に止め置かれた。入試に「スベル」よりはまじいと思ひ、原級に止め置かれた。入試に「スベル」よりはまじいと思ひ、原級に止め置かれた。

親切な方々に助けられ、装備をつけてもらひ、スキー学校に入った。ヨチヨチ歩きのことから私まで、十五、六人が同級生になる。先生の教えをしっかりと守り、午前中大汗をかいた。昼からクラス分けがあり、ヨチヨチ歩きの子と別のクラスになった。(ヤレヤレ上になつたか)と先生に聞いたら、「向うの方が上級」との答え。こちらは午前と同じことをやるという。

次の日も先生の言うことはよく分り、言われた通り体を動かしては置かれたが、原級に止め置かれた。入試に「スベル」よりはまじいと思ひ、原級に止め置かれた。入試に「スベル」よりはまじいと思ひ、原級に止め置かれた。



## 天満天神繁昌記

樋浦 忠

梅が咲き、合格受験生のお礼参りで、各地の天神社が賑わう季節になった。

今年の正月三日の湯島天神の参詣者は二十八万五千八、八日は五万人で、そのうち八割までが合格祈願だったという。東京の受験生の何人か一人は必ず参りした勘定になるのだろう。

天神社は全国で一万一千八百九社といわれるが、菅原道真の廟地でもある太宰府天神宮は、年間参拝者が四百万人を超え、日本全国の神社の中でも五指に入る賑わいを見せている。天神さまの細道では、どうしてさばき切れない繁昌ぶり、どうしてこころいって天神さまの人気の秘密は、どこにあるのだろうか。

菅原道真が、太宰府で恨みを抱きつづけたのは、左遷されて三年目の西暦九〇三年であ

始めるのは、十世紀頃からと云われる。道真没後、百年を経た平安末期には、道真の詩文が改めて注目された。道真の詩文が改めて注目された。道真の詩文が改めて注目された。

も人間に害を及ぼす恐れは無くなった。天満天神への人々の対応は、畏怖から畏敬に変わった。その過程で、道真は不運な生涯を閉じたが故に判官ひいきの日本人の同情を呼び、さらに、忠臣蔵好きの日本人に強くアピールしていったことだろう。もちろん義経や忠臣蔵は、それからもっと後の話だ。

また古来、中国や日本で、梅は文人に好まれて来たが、天神と梅は、いままでもなく切っても切れない。ここでもまたいろいろ催しを通じ天神と文人との交流が生まれる。こうして諸々の心が重なって、天神は次第に学問の神として確立される。

梅見といえ、天神さまの境内に相場が決まっている。湯島の白梅のドラマや歌が、そ

## 道くさ

安野 扶美世

パッパビババが、モーターが心よく聞かせる。外科医(父親は胸部外科医)に左手が必要だ、父親が学生時代にやっていた様に、彼が看護婦を兼ねてワイオリンを習わせた。それは三才から九年間続いた私共の楽しみの一つだった。カブ隊からボーイスカウトに進み、日本ジャンパー等にも参加。「そなえよ、常仁」のボーイスカウト精神と博愛の精神を学んだのは、私の父(生前は

PRには大いに役立った。大勢の人たちが梅見がら参りにゆく。梅の開花の時期は地方によって区々だが、おぼね受験のシーズンに重なる。そこで、願ひごは、タイミンクからいって合格祈願ということがある。受験戦争も年を追って激しくなるが、情報時代で学力差もあまり変わらなくなってきた。ちよっとの運不運が合格不合格の別け目になることも多い。天神さまが、ますます繁昌するゆえである。

こういって現象を、かなわぬ時の神頼みだ、と言って現代っ子の御都合主義を非難したがる石頭も居る。しかし私はむしろこのドライな世の中で、子供たちが人間の限界に気づき、謙遜な気持ちで神に祈るという、信仰の芽生えを評価した。何の宗旨であれ、信仰心が世の中の公序良俗を保つのに大きく寄与していることは間違いないのだから。

梅の香る天神さまの境内で「〇〇大学、××学院、どちらか一つに必ず合格お願いいたします」と、下手な字をいいた生懸命に書いた輪筆をほろほろと見て歩きながら、私は涙然と、このように考えていた。



山口県ボーイスカウト副連盟長の影響だったかもしれない。スポーツと学業の両立を父親に約束して始めたのが中学で学時代の彼は見事に約束を果たし、生徒会長やバスケ部のキャプテンを務め、名実共に華のある時期を過ごした。「英雄」の時には孤独になるものだけれど、とうとう言葉で苦しむ苦しみもあつたが、忍耐と協調の精神の養われた時だったと思う。高校は希望通り教育大附属駒

あれから三年余、やっと冷静さを諦めの中で保ちつ、淋しげな父親の姿を見るにつけ、一人涙した事もある。人は無責任に「子供の好きをよりにさせれば」とおっしゃる。確かにそのとおりである。が、そう簡単にいかないのが親心で、振り返って見て、無意識の内にも親になるべく彼を誘導して来たかと思ひ、ガリガリ物強をおしつけたつもりはない。良かれと思ひ、して来た事が仇となり背を向けられた。親の意と自分の意の間で彼も苦しんだであろうが「親も苦しったんだぞ」と云いたい気もする。もっと遠くを育ち方をしていたら、案外今頃は希望通り医者になつていたかも……と思ひ、我作戦をあやまりの感強くなる。断つておくと職業差別する。けるつもりはない。たまたま父親が医者であったからと云うにせよ、今更後には引けぬであらう。岸元総理が外務大臣時代、私は生後八ヶ月の彼を抱いて父と共に永田町の官邸におたずねした事がある。大臣の椅子に座らせ、この椅子に座る偉大な大人になれ」と云われたが、今彼はその場所を譲る身。因縁か、いづれにせよ、今の彼にとってはこれでは道さ。元来、あまり勉強は好きではなかつたが「努力」と「正義」は好きだ。道々の中で得た多くの友人や体験は彼の財産。捨てるもよし、生かすもよし。我が道を責任を持って進んで欲しいと思ひ。

(筆行・九機)

### お知らせ

当励ます会九州支部総会を三月十五日(木)十五時から福岡市博多区博多駅前三二二八住友生命ビルで開催致します。ご参会をお願いします。





**発行所**  
 社団法人 機動隊等を助ます会  
 東京都中央区八重洲2-4-14  
 〒104 ミツヤビル3階  
 発行人 鈴木 實  
 TEL 03(272)2050  
 購読料 年間1200円(送料共)  
 (但し会費の中には購読料を含む)

# 訓練の成果を実戦で 魅力ある機動隊目指す



## 北から南から 様々な顔を持つ県下の治安に傾注

### 神奈川県警察機動隊

神奈川県警察機動隊は、戦後間もない昭和二十二年十一月に発足した。その後、社会の変化に伴い警備事業も急増し、これに伴って警備態勢に対処すべく四十五年四月に第二機動隊が誕生し、今日に至っている。

第一機動隊は主に、横浜・湘南方面の警備事業に対応するため、横浜の最南端磯谷区の一画にある。

第二機動隊は主として、川崎・東方面の警備事業に対応するため川崎市を中心地であり、慶応大学と軒を接した木月町の森の旧警察学校施設を利用していた。しかし建物老朽化がひどいため、昭和六十一年完成を目指して最新設備を完備した新庁舎を建設することになり、現在工事が進められている。

このように大変恵まれた環境のなかで、神奈川県下の治安を守る最後の砦としての誇りを胸に、いかなる警備事業に対処し得る精進な警備部隊となるべく、治安警備訓練を始めとして基礎体力作り、五キロマラソン、サーキット・トレーニング、武道訓練に汗を流している。

過去、本県における警備事業として、昭和四十七年の「相模原自動車競争警備」、五十四年の「日米首脳会議警備」、五十六年の「横須賀母港化反対闘争警備」、そして左翼の違法行為を完全に封じ込めた「日教組第五十六回定期大会警備」、さらには、四十年代後半から激化した「学園紛争に伴う警備」があった。

## 災害訓練を本番でフルに活用

### 岐阜県警察機動隊

岐阜県警察機動隊が、豪雨禍のなかで住民避難や人命救助に大いに貢献した。このなかで、長官賞状を表彰され、また本部長賞状を受けた。

昭和五十八年九月二十八日、一日間降り続いた雨は台風一〇号接近に伴い集中豪雨となり、美濃加茂市加茂郡坂祝町に災害救助法が適用されるなど、岐阜県下全域で死者四名、行方不明者一名、床上浸水一、八〇二名、避難住民二、五七八世帯八九二名、被害総額二〇億八千九百六十九万七千七百七十九円と大きな被害を及ぼした。

なお岐阜県は河川や低地が多いため、同隊では台風一〇月間の間は舟艇訓練を中心とした災害訓練の特訓を実施したことがあり、本番においてその力をいかんなく発揮できたことが隊員にとって一番の喜びでもある。



## 豪雨禍の遺族に激励の寄せ書き

### 広島県警察機動隊

「有難うございました。御恩は決して忘れません。昨年七月山陰西部を襲った豪雨禍で遺体捜索などで応援いただいた広島県警察機動隊に、被災者の遺族から丁寧な礼状が届いた。これに対して機動隊員は、故人の冥福を祈ると共に、被災地の一日も早い復興を願って励ましの寄せ書きを返事に添えた。礼状は島根県三隅町古和農業三沢年子さんと長男の同僚夫妻。昨年七月末、集中豪雨で三沢さん方の農山が崩れ、そばで警戒に当たった夫の緊治さん。

「おかげで遺体が見つかりました。山陰地方の被害が大きくなり、島根県からの応援を要請を受けて広島県警察機動隊が出勤し、行方不明から五日目に遺体を発見した。災害から半年、届いた礼状には「おかげで遺体が見つかりました」とうたがっている。「力強く生きて」という隊員の寄せ書きは、今後とも遺族の心の支えになるだろう。

## 底力発揮で綱引大会優勝

### 山口県警察機動隊

新スポーツとして脚光を浴びている「綱引き」。一月二十九日、吉敷郡阿知町の阿知町体育センターで、第二回山口県綱引き選手権大会が開催され、県下から力自慢八十五チームが参加、熱戦を展開した結果、山口県機動隊が優勝、第一回選手権を獲得した。

綱引きの歴史は、古く千九百年の第二回オリンピック大会から第七回大会までとり入れられたことでもあるそうで、世界選手権は六十回以上を数えている。しかしわが国では、運動会等でやるくらいで、競技としての綱引き大会が開かれたのは昭和五十六年と聞く。

ルールは一チーム八人で、合計体重が五百六十キロ以下で、年の第一回オリンピック大会から第七回大会までとり入れられたことでもあるそうで、世界選手権は六十回以上を数えている。しかしわが国では、運動会等でやるくらいで、競技としての綱引き大会が開かれたのは昭和五十六年と聞く。

## 日頃鍛えた力は

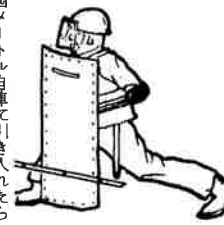
### 岐阜県警察機動隊

岐阜県警察機動隊は昭和五十七年四月、隊員の士気高揚及び体力気力の充実と団結を図る目的で、サッカー大会を開催した。この大会は、日頃鍛えた体力と気力、甘い考えの人々が大半居たので、サッカー大会を開催した。この大会は、日頃鍛えた体力と気力、甘い考えの人々が大半居たので、サッカー大会を開催した。この大会は、日頃鍛えた体力と気力、甘い考えの人々が大半居たので、サッカー大会を開催した。

## 日頃鍛えた力は

### 岐阜県警察機動隊

岐阜県警察機動隊は昭和五十七年四月、隊員の士気高揚及び体力気力の充実と団結を図る目的で、サッカー大会を開催した。この大会は、日頃鍛えた体力と気力、甘い考えの人々が大半居たので、サッカー大会を開催した。この大会は、日頃鍛えた体力と気力、甘い考えの人々が大半居たので、サッカー大会を開催した。



# 都会の雪

今年は何年にもない雪が多い年で、首都圏に一月から二月にかけて六度わたる大雪とはあまり経験ない出来事でした。前々から都会人は雪に弱いと言われていますが、その言葉の通り、雪が降るたびに怪我人が出て救急車は大忙し、車の事故は多く警察官も大忙し、総てがテンパッてしまっています。

あるテレビ局の近くで道路が凍っている時に、滑って転ぶ人の多い事、有名な場所があり、その場所を通りかかった人が見事に転ぶ場面テレビに映していましたが、やはり都会人は雪道の歩き方をよく知らない様です。

雪国出身の者にいわせると、雪道

では、①主体を多少前屈みにする、②足を少し内股にする、③爪先に重心をかける、④膝を少し曲げがみになる、のぞき方、やってみると中々具合よく歩けます。

この雪で一番苦労したのは、車かから、自宅に着いたのが、翌朝のこの程度で雪なら自分一人くらいでなんとかなる、でも何とかなるだろうとか、甘い考えの人々が大半居たので、サッカー大会を開催した。

程余計にかかった程度で自宅に帰れる者、チェーンの装着が出来ない者、雪の中での運転に慣れないため事故をおこしてしまったり、言ってみれば、雪の中を運転する資格のない者が、雪の道を歩けるようになるまで、一般

程余計にかかった程度で自宅に帰れる者、チェーンの装着が出来ない者、雪の中での運転に慣れないため事故をおこしてしまったり、言ってみれば、雪の中を運転する資格のない者が、雪の道を歩けるようになるまで、一般

程余計にかかった程度で自宅に帰れる者、チェーンの装着が出来ない者、雪の中での運転に慣れないため事故をおこしてしまったり、言ってみれば、雪の中を運転する資格のない者が、雪の道を歩けるようになるまで、一般

程余計にかかった程度で自宅に帰れる者、チェーンの装着が出来ない者、雪の中での運転に慣れないため事故をおこしてしまったり、言ってみれば、雪の中を運転する資格のない者が、雪の道を歩けるようになるまで、一般

程余計にかかった程度で自宅に帰れる者、チェーンの装着が出来ない者、雪の中での運転に慣れないため事故をおこしてしまったり、言ってみれば、雪の中を運転する資格のない者が、雪の道を歩けるようになるまで、一般



年がらよりと二回目の干支だ。家族は、妻と故郷である徳島から呼び寄せた母と三人である。今年こそ二世を志願しつつ年男として次の目標をたてている。一、操車係員として仕事に全力を尽くすこと。

操車の仕事は、人間と違い何も答えてくれない。車のエンジンとの触れ合いだから、日々の運行前点検は欠かさない。この点検は、部隊に訓練が欠かれないのと同じだと思っている。以前、隊長から、東京オリンピックの柔道のチャンピオンのことについて話があった。その中で「当たり前のことがこれほど難しくなるとは思わなかった」という言葉があったが、私にはこの言葉が、訓練で泣いて本番で笑えという事と同じように解釈できた。この「当たり前の事」、日々継続できるような努力していきたい。

二、昇任試験合格

今年の試験は私にとって初陣であるが、是非とも合格する決意である。そのためにも、人並みの事をしていくには合格という栄冠は勝ち取れないと思ふ。一杯努力して、後援のないように頑張るつもりだ。その方策として、

(一)勉強を継続すること。勉強を継続することは、なによりも難しい事だと思ふが、自分に常に「合格」の二文字を言い聞かせ、挫折することのないように心掛ける。(二)計画の設定。全項目ごとに、自分に合った勉強計画を立て、効果のある勉強方法で、自宅ではもちろんのこと勤務時の僅かな時間をも有効に活用したい。

(操車係員)



飛躍の三十代

八機 岩崎雄二

私の目標の一つは、体力の錬磨である。

三十六歳となり、世間と言う中年の部類に入ってしまったが、機動隊員には、「中高年」の言葉は存在しない。いつも若々しく、張りのある力に満ちた肉體でなければならぬ。そのためには、常日頃からのトレーニングが必要である。幸いに、勤務係に籍を置く私は、隊員の先頭に立つて、柔道・速歩術・かけ足等に励まなければならぬ立場にある。その立場を活用して、自分で自分を引っ張りながら、各種体育に取り組み、機動隊員として恥ずかしくない、そして若い隊員にも誇れる体力をつくりたい。

目標に向って

九機 新岡栄治

昨年の九月十九日、池上警察署から第九機動隊に転勤した。この間、レオン米田大統領等多数の外国人来日に伴う警備準備を経験することができた。右も左も分らないまま、幹部・組長等に指導、叱責されつつ無我夢中で勤務をした。終わってみて、機動隊の溢れる力強さと辛苦がよく分かった。私は本年で二十四歳、年男である。本年は、「子」、十二支の唐法があり、その中で「子」は、十二支の一番先である。私は、ネズミ年であり、ネズミのごとく働き惜しみをせず、コツコツ何年も積み重ねて行くために、目標を次のように掲げた。

一、柔道の鍛錬。現在、柔道小隊員として、毎日柔道の訓練に汗を流している。しかしまだ未熟若者で実力が無く、ガムシヤに訓練を受けている。機動小隊員となつたからは「九機に新調あり」と言われるよう頑張る覚悟である。それには、他人の二倍三倍努力しなければならぬ。よく「鉄は熱いうちにかけて」といふ諺がある。まさに私にとって今がその時である。毎日自分で時間をつくり訓練に励みたい。

二、巡査部長昇任試験合格。私にはまだ受験資格はないが、ある先輩に「機動隊は互いに色々な面で競争合っている。特に昇任試験合格だ。そして、笑顔で退隊できるように頑張れ」と言われたことをふと思ひ出した。たしかに機動隊は勉強するのには良い環境である。「思ひたつたが吉日である」、今年から一分一秒を無駄にしないよう毎日の勉強を継続し、必ず巡査部長に昇任して胸を張って退隊したい。

三、体力・気力の錬磨。強い警備を完遂するためには、強靱な体力と不屈の精神が必要である。特に幹部は、常に先頭に立って部下を引っ張っていく立場にあり、その姿勢の適否は部下に影響し、部隊の強弱にもつながる。「平素にして有事を忘るべし」の精神で、各種訓練をはじめ体力・気力の強化に努め、集団としての団結をはかり一人の力を十人の力として発揮できるよう、厳しき中にも情のある姿勢で接し、精鋭特車の一助をなしたい。

以上三点を目標に努力し、本年を振り返って見た時、「今年こそ飛躍の年であった」と、隊員とともに諸手を挙げて感謝することができるようになりたい。また機動隊の幹部として、不動の信頼と強い警察魂を持って、大きく飛躍していきたい。(分隊長)

して重要な年である。この意義ある一年を悔いのないようにするため、次の目標を達成すべく努力している。

一、日本一の分隊長をめざす。この目標は、着隊以来ずっと持ち続けてきた大きな目標である。特車車両隊は「技術の特車」と言われるように、車両技術を高める。私は今までの知識、技能を更に磨くとともに、警備能力の向上に努め、有事に際しては自信をもって適切に部下の指揮・指導ができ、自他ともに認められる日本一の分隊長をめざす。

二、警部補昇任試験の合格。巡査部長昇任試験に合格した年に生まれたい長男が、早いもので四月には小学校に入学する。年からは基本勉強をはじめ各種法令の勉強を怠らないために、昨年より余すところ半目ではあるが、最後のため押しこの月より死力を尽くして頑張る。長男の入学祝いに一花咲かせたい。また部下に対しては、計画的な勉強を奨励し、共に喜び合える年にしたい。

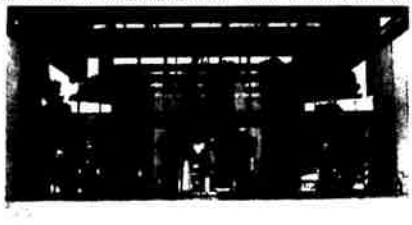
三、体力・気力の錬磨。強い警備を完遂するためには、強靱な体力と不屈の精神が必要である。特に幹部は、常に先頭に立って部下を引っ張っていく立場にあり、その姿勢の適否は部下に影響し、部隊の強弱にもつながる。「平素にして有事を忘るべし」の精神で、各種訓練をはじめ体力・気力の強化に努め、集団としての団結をはかり一人の力を十人の力として発揮できるよう、厳しき中にも情のある姿勢で接し、精鋭特車の一助をなしたい。

以上三点を目標に努力し、本年を振り返って見た時、「今年こそ飛躍の年であった」と、隊員とともに諸手を挙げて感謝することができるようになりたい。また機動隊の幹部として、不動の信頼と強い警察魂を持って、大きく飛躍していきたい。(分隊長)

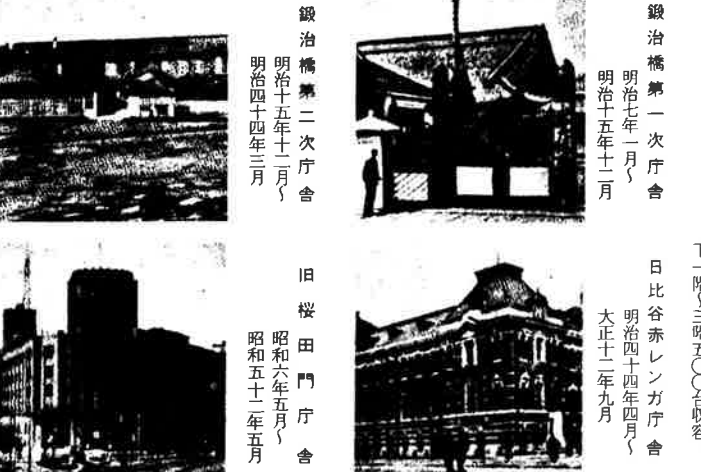
紹介

警視庁

本部庁舎



沿 革  
◎明治七年一月十五日、鍛冶橋(現在の東京駅の一角)に「東京警視庁」創設。  
◎明治四十四年、日比谷に赤レンガ造りの庁舎が完成。  
◎大正十二年、大震災により日比谷庁舎が焼失、昭和六年五月、現在地に旧庁舎完成。  
◎昭和十五年六月十七日、新庁舎完成。敷地面積一、九、五二五㎡、建築面積六、五八二㎡、延床面積九九、二二二㎡、鉄骨造一部コンクリート造、地下四階地上十八階、塔屋、階高七四・三〇m、最高鉄塔の先端一三三・八五m、駐車場地下一階(三階五〇台収容)。



フエンシング部  
沿 革  
フエンシングは西洋の剣術である。警視庁にフエンシングが始められたのは、東京オリンピックの前後と三十七年頃である。その後昭和四十五年九月に第四機動隊にクラブが設置された。当初は、学生時代にフエンシング選手として活躍したごく少数の経験者を当役に集めて練習を始めた。その後、徐々に充実し、現在では、毎年世界選手権大会に選手を送るほどに大きく成長し、第四機動隊ひいては警視庁にフエンシングありと、その名を轟かせている。

戦 績  
一、全日本選手権大会  
サーブル団体、九年連続、十回目の優勝  
フルール団体、五回目の優勝  
サーブル、フルール、個人の部で昨年末までに、十三回優勝の輝かしい成績を修めている。

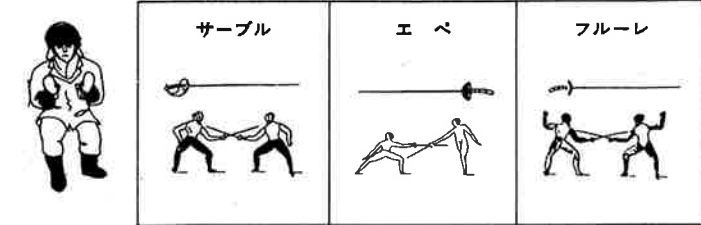
二、アジア大会  
一九七三年、昭和四十八年の大会では、サーブルは、個人優勝、一九八〇年、昭和五十五年の大会でサーブル団体優勝、フルール個人優勝をしている。

三、世界選手権  
毎年行われる世界選手権大会には、クラブから二、三名が日本代表選手として参加している。

フエンシング競技の概要  
フエンシングには個人試合と団体試合があり、種目としてはフルール、エペ、サーブルの三種目がある(用語はフランス語)。

一、ピストル(試合コート)  
フルールは幅一・八メートルで長さは十四メートル。エペ、サーブルは幅一・八メートル、二メートルで長さは十八メートルのコートで競技が行われる。

二、試合時間  
フルール、エペ、サーブルとも六分間。五本勝負で、同点でタイムアップの場合は一本勝負となる。ただしエペの場合は双



# 読者の広場



## 柔と剛

松本三良

一月、二月と引き続き、機動隊の若し隊員諸君に逢うる機会に恵まれました。一月は当社の新年開き大会で、二月は動まらず会古里支部総会の席上でした。

機動隊選りすりの高段者が、剣道柔道の型を演習して下さいます。わが社の部員は社首、来賓の皆様方、わが社の首魁陣は家族とともに、一同固唾をのんで見まわります。咳一つない静寂の時です。

機動隊と新日鐵との対抗戦は、各チーム五人の選手が、所属の名譽をかけて奮戦するのですが、これまた美事な技が、目の間に勝敗を分けますので、目を離すことができません。毎半接戦をくり返して勝敗の予断を許しません。気力といひ、技といひ、実に美事なもので、社の部員にとつて最高の到達目標を示して下さっています。また試合前の準備運動、試合に臨む前後の一つ一つの動作を、見とれる程の美事さで、部員に是非見せよう

よういつも申しつけているところ。武道大会を通じて機動隊の強さ、頼もしさ、訓練と規律の真髓を見る心地がたりました。

一月の名古里支部総会後の懇親会には、管区と県の機動隊から幹部以下二百人が参加されました。夏もたけなわの頃、会員が楽しみにしている隊員の演説大会が始まりました。

先ずロックバンドが五彩の照明の中で、ビートの利いた演奏と歌で気分を盛り上げました。次いで空手部員による型と組手技が披露されました。まるでテレビのカンフー映画を地で見たようです。高段者一人が演じた互割りでは、六枚重の瓦を頭突き一閃、美事に割り砕いて万雷の拍手を浴びました。次がグット気分を和らげた婦人隊員のカラオケで満場の喝采を博しました。

最後に寸劇忠臣蔵と題して、松の原下、田村邸の切腹、討入の三幕です。予算節約型ながらキチンとかつら衣裳を付け、気の利いた背景幕、小道具も皆手造りです。

役者はいすれも素人はなれぬ好演力演で、随所にギャグを連発して観衆の爆笑の渦に巻きこ



みました。最後の幕がおりたとき、アンコールの拍手がいつまでも鳴りひびきました。

演芸大会を通じて隊員の和楽、余蘊、ユーモアあふれる柔軟性を見せたいだいたこととした。偶然ながらひと月の間に、機

## 大過なしという過ち

石原幸男

春が来て日射しが強くなり、桜の花が咲くようになると、転動や退職のシーズンである。大阪のプラットホームでも、飲送のパンサーや朋あげを、主要列車の送るのたひに見かけるようになる。もちろん、この前に、何回もの送別会が繰り返されて



いることだろう。さて、この送別する人の御挨拶だが、ほとんどの場合、一言様のおかけで在任中大過なきを得ましたことは、私の生産の喜びとするところで、謙遜を込めながらも誇らしげに胸を張る。

「以て大過なかるべし」という論語の言葉の引用が、離任挨拶の慣用句に定着しているわけだが、この言葉を口にするとき、当人は本気で、任務を全うした...と思っているのだろうか。そして、はからずもこれが、わが国サラリーマンの多数の人達の根本思想なのではないだろうか。つまり、ノー・ミス主義である。特別の功績はなくても、ミスさえしなければいい、という

ことでは、積極的な働きをしようとしな。No Work, No Money. (働かざればミスも生ず) といわれるゆえんである。運転免許証を持っていても、全然運転しなれば、五年、十年無事故であるのと似ている。

新しい前向きの仕事は、リスクが多いから、できるだけやらないうえ、どうして避けられなくなったら、大勢でハンコを押して、「赤信号みんなで渡れば」方式で責任の所在を不明確にする。一人ひとの仕事にまで気を配ったり、手伝ったりする必要はない。下手すれば逆恨みされるのがオチで、それ自分の給料が二分減るわけでもない。

こういふ現象は、よくに若人たちに顕著である。「モラトリアム人間」ということをいふ人がある。モラトリアムとは「支払猶予」の意味だが、人生にも「一人前の仕事をするまでの猶予」、つまり準備期間が許されている。会社にとっては新人教育の期間である。

ところが近年は、人生の目標が、まず就職しほられ、就職のための大学、そのための高校、中学、塾、ガリ勉と来るから就職したとたん気が抜けてしまった。これだけ努力がけられたのだから、あとは会社が一生面倒をみてくれるのが当たり前という顔つきで、いつまでも「お客さま」気分が抜けやない。だから「モラトリアム人間」が充満してくるというわけである。モラトリアム期間も、もちろん大過のありようはないから、彼らには長けられ長いほどよい。しかし世の中は、急速に厳しくなってきた。何もしくなくても自然に儲かった高度成長時代は

動隊員の柔と剛という、盾の両面の一端に触れることができても鳴りひびきました。

暖かみのある人間警察官に

和歌山県 三田 洋

「空青、山青、海青」と郷土の詩人である佐藤春夫が賛歌した紀南の地。そこ育った我が子が警視庁に奉職して三年半が過ぎました。

私は二男一女の子供がいます。警視庁に在職している長男、郷里の銀行に就職した次男、そして高校三年の娘です。長男と次男は双生児として生まれました。生まれた時は二人とも僅か六百グラム前後の未熟児で、保温器の中でか細く泣く二人を見ると、果して育つのだろうか毎日心が配り続けた。

しかし、その後加速的に大きくなり、一年後には標準に達しました。長男については二才の折、社任地で水害に見舞われ山に避難した時、親の不注ながら頭にかぶせた合羽が鼻口を押えてしまい、窒息死寸前のことがありました。

二人の兄弟は幼稚園から大学の学部まで同じ道をたどり、仲良くコンビとして成長し、最後の就職で始めて別々の道を、最後は次弟です。未熟児であったこと、窒息死寸前追いかけたこと、等、現在の姿からは想像もできません。規律正しい生活と訓

大会社といえども、下手れば倒産の可能性を現実感に感じている時代である。個人的には、大過がない存の人間ではない、いずれ取り残されてしまいに違いない。

練習を積んだためか筋骨もたくましくなり、その挙動もきびきびしてきます。我が子ながら実に頼もしく感じられます。久しぶりで帰省した時、親子で一杯かわすのが最高の楽しみとなりました。離れて生活しているせいもあるでしょうが、長男が一番親愛のようであり、実に優しい心配りをしてくれます。

「春風をもって人に接し、秋霜をもって己を慎む」とは小生の座右の銘でもありますが、警察官たる長男も職務での厳しさをものは勿論、自分自身を律し暖かみのある人間警察官として努力して欲しいと常に念願しております。

三田泰司中隊員の父親 (警視庁・特車)

## 初心忘れる勿れ

岐阜県 和座 茂夫



私共夫婦は、徹の警察学校の卒業式に参列させていただきました。警察という所の一端に触れ、安心して子供をおまかせできる職場として、今まであれこれ

れ思い煩ったことが全く杞憂に過ぎなかつたことを、本当に嬉しく思えたものでした。さて、その卒業式の校長先生の訓示は、「初心忘れるべから



ず」でございました。世阿弥の花鏡の一節から引用されてきたの懇ろな訓示は、子供への教えばかりでなく、齢やがて還暦を迎えようとしている私共への教えへと深く心に刻んだものでした。今、私は国鉄を昨年退職して筆の人生を生きておりましたが、折に折れて世阿弥の花鏡を読み「初心忘れるべからず」とときどきの初心忘れるべからず」と心に刻み込みながら通勤いたしております。ところで徹はどんな気持ちで校長先生の訓示を受けとめているのでしょうか。

性格はまことに素直で心はやさしく、粗暴な振舞いもなく至って親しいで(親バカ...)何の不足もないのですが、たつた二つ親に似て鈍才であること、これだけは親ゆすり、徹にどうにも申訳なく思っております。そこはどうか徹自身が努力努力と人様にいついて貰いたいという願ひのみです。

これから二十年、三十年と人生の旅路を警察に求め、一生を警察に託したうちは、「初心忘れる勿れ」の一言をこけの一念として、朝に夕に繰り返して精進すれば、如何なる鈍才と雖も他日おそろしくや期して待つべきものがある、私共の経験が踏まえて確信をもって声援を送りたい。まことに親の身勝手というところですが、鈍才に育てた親の切なる祈りでもありました。

人生が一番美しい、そして人間として一番尊いのは、仕事に打ちこんでいる時であり、命が打つて努力している時であります。やがて徹が人生の七十九をを迎えて折、静かに振り返ってその頃を限りなくつかしく懐旧の情に浸ることができるような青春時代を、送って貰いたいと願っております。

(警視庁・特車、和座隊員の父親)

- 根性で頑張る 治安の機動隊
- 小川運輸(株)
- 津田鋼材(株)
- 芝本龍平
- 山鉄商(株)
- 関東鉄鐵(株)
- 大野興業(株)
- 高周波熱錬(株)
- 廣慶太郎
- 西野公庸
- 竹之上誠剛
- 橋本尚吾
- 宮崎精鋼(株)
- 広畑海運(株)
- 豊田通商(株)
- 岡谷鋼機(株)
- 丸橋正彦
- 内外運輸(株)
- 自見産業(株)
- 新潟鋼機(株)
- (株)大川鉄工所
- 仙台運送(株)

# 今月の言葉

健康とは肉体的・精神的、そして社会的に良好な存在状態である、と一般的にいわれている。通常の仕事を通して日常生活の中で、何時も心身のバランスの取れた状態が保持できることが望ましい。

伸展自在な今日の世の中に於いて、何事も煩る便利になった反面、価値感の多様化により、物の見方や考え方も年代によって大きく変化をきたし、生活の中で逆にストレスが増えることも多い。このためにも普段から体を鍛え、また心を練ることも大切である。

健康を保持するためには、色々の技法、用具があるが、空海上人の教

# 励ましの輪をさらに充実 北と南で支部総会



北海道支部昭和58年度総会

当励ます会が発足したのは昭和四十九年三月で、あれからちょうど十年たった。日本の治安が確固たるものになっていくが、警備力が評価されていく。励ます会もいまままでの

五十八年度北海道支部総会が三月八日、札幌パークホテルで開かれた。外は白一色の銀装だが、隊員と会員等五百二十名が参加した会場は春爛漫、熱気の増幅と化した。

拍手に迎えられて隊員が整然と入場、励ます会・佐藤健二北海道支部世話人代表が「道民五百六十万人の治安維持に謝意を表す」とも、引続き支援していくと挨拶した。

来賓として北海道知事(代理 本藤哲英室長)、札幌市長(代理 紺野哲郎局長)、北海道警察本部・森野巳本部長がそれぞれ「励ます会が隊員と国民を結びかけ橋になっている」とも等について祝辞を述べた。

東京本部から出席した励ます会・鈴木實副理事長の乾杯をきっかけに懇親会は大きく盛り上がり、佐藤健二機動隊長の謝辞、赤木郷八郎・名古屋支部世話人の万歳三唱で閉幕したが、手を携えた同会の発展はいよいよこれからである。

# はげまし

発行所  
社団法人 機動隊員等を励ます会  
東京都中央区八重洲2-4-14  
千104 ミツヤビル3階  
発行人 鈴木 實  
TEL 03(272)2050  
購読料 年間1200円(送料共)  
(但し会費の中には購読料を含む)

十年に甘んじることなく「はげまし」の輪をさらに力強く充実させてゆくが、ここは北と南でそれぞれ盛大に開催された支部総会をご紹介します。

九州支部の五十八年度支部総会が三月十五日、機動隊員等を励ます会本部の出席者で催された。

## 健

えは、自然の法則に従って人間の心と身体の苦しみを取り去ることを願っておられ、その求められた健康法は「心身の調和である」と云われ

すると云う事である。調息することによって、感情(心)を整える力を持つことができること、その調息とは次のような方法である。

一、長息 長い息をする。心身を強める力がある。二、止息 折れる息のこをい、念の息、折れる息とも云われている。三、腹息

## 康

肌寒い雨の中だが、会場は心の交流で爽やかな春景色であった。

第十回目の支部総会に当って自見真清・九州支部世話人代表は、「十年続いているは大変な努力を要するが基礎が出来た現在、同会を一層強化していく」と励ました。

九州管区警察局長・郡敬太郎局長が「警備第一線として励ます会が心の支えとなっている。現在は静の警備だが、治に居て

腹を動かしてする息、腕の息、ダラダラの息とも云われ、肝門を締め、腹圧をかける要領で、胃腸が丈夫になる。四、吐息 吐く息に力を入れる。加持の息、間合の息とも云われ、この呼吸の仕方、心が爽やかになる。

以上の四つの呼吸法は、自然の原理に基づいており、実行によって精神力を養い、健全な身体が保持されることを教えられる。

繁忙な日々の中で、心と身体に余裕を持つことができるよう、生活の中で実行し大切にしたいものである。



妙技を披露する西日本銀行のパントワラー

### 茨城県警察機動隊

機動別訓練(爆処理、対銃器、レンジャー、アクアラング)は果敢が専従し、管区機動隊、武道小隊は合同訓練時に教養訓練を行っている。

三、出動事例

(一) 初めての火災ビシ  
四十六年九月十六日、成田空遊艇二隊執行に際し機動隊を命ぜられた茨城県機動隊、三里塚公園付近で中核隊員三百名から「火災ビシ」投石、竹やり等で攻撃を受けた。この火災ビシの攻撃は茨城県機動隊の受け初洗礼(第三ページ)続

### 隊訓胸に刻み治安の万全を

宮崎県警察機動隊は、昭和三十一年三月警備交通課に付置されて発足したものの、翌三十二年三月には解散。そして三十四年七月再発足。その後組織改編を経て四十二年四月警備部機動隊として独立。現在に至っている。

また昭和四十二年には第二機動隊の編成、四十六年には管区機動隊が編成され、有事に備えている。

隊舎は昭和四十六年に新築されたもので、宮崎市大淀川、静かな環境下にある。ただ、グラウンドから舞い上る砂塵に悩まされ、さしずめ「ほこりの鬼様」といったところである。

二、日常勤務  
朝八時三十分教場に集合、黙想、カセットによる「君が代」で一日が始まる。分隊長以上の隊長へのあいさつ、副隊長以上の隊長への示達教養、その後は教養訓練計画に従って消化する。通常は一時間程度の学科実務教養トレーニング、午後警備訓練まで

### 北から南から

宮崎県警察機動隊

たは柔剣道を実施する。服装は、第一装・制服、第二装・出動服、第三装をトレーニングウェアと定めている。第二装は通常勤務で、靴は半長靴、帽子は作業帽に統一している。

週一回は、近辺警察署へ派遣して交通取締りに当たり、月二回は第一機動隊との合同警備訓練を実施している。昨年は、七月に幹部団上訓練、十月に警備特科との合同警備訓練、十一月は宮崎県警察機動隊訓練本部長査閲を実施し、練度向上を図っている。

三、出動事例とエピソード  
昨年は県外出動が二回あった。いずれも長崎県佐世保における米原子力空母寄港に伴う警備応援だった。県内では救急的なデモ警備や、新原内航空自衛隊基地における日米合同訓練反対闘争警備が主なのである。一昨年は長崎県島原における日教組大会警備に出動したが、新隊員大会の初出動体験を具へ、青年警察官意見発表大会で発表し優勝した。

# 幸せをつかんだ察祭 警視庁機動隊喜び語る

アフリカで「山また山と出会う」という諺がある。山は決して動き回らず出会うこともない。しかし人間はその一瞬一瞬が出会いである。

察祭は多忙な機動隊員に、男女の出会いと語らいの場を提供してくれる。ここで良き伴侶を得て、幸福な結婚生活を送っている隊員たちの喜びの声をきいてみよう。

よりにあった。それからは、都内の公園でデートしたり、旅行をしたりして、一年は、旅行が過ぎた。その日は、私はチャンスを見つけて思い切ってプロポーズした。彼女はもちろんのこと、お互いの両親も二つ返事でOKしてくれて、結婚。そして結婚して、今では、長男も生まれ毎日楽しく幸せな家庭生活を送っている。

今でも、そのマフラーを妻は大事に持っているが、それを見れば、あのころを思い出す。どこで、何が、人との出会いのきっかけをつくってくれたのか分かりませんが、『一期一会』の諦めがあり、これからも、人との出会いを大切に生きていきたい。(中隊員)

昭和五十六年の暮の察祭で、私は自分の一生の伴侶となる妻を見つけたことが出来た。その察祭で、私は来賓の接待役を受け持ち、女性の相手をする事はできないものと諦めていた。しかし、得てして、そういった時に相手が見つかるものなのかもしれない。

私と妻がベテランになって行なわれてきた。周囲の者にやられて、手を取り合って賞品を受け取りに行き、話も盛り上がった。その日は別れ、一年半の交際が続き、この間に意見の違いや何度となく喧嘩をした。仲直りしたりして、お互いの気持ちのわかれ、昨年の暮、二人が知り合った半蔵門会館で華式となつた次第である。

新婦旅行はハワイへ行きましたが、真青な空と、青く澄んでいた美しい海とはうらはらに、私の体調が悪く、あまり満喫する事ができませんでした。バスポートのハワイへ行こうと話していた、ハワイへ行こうと話していた。

彼女と話すきっかけをつかめず、どうしようかと迷っていた。そのうち時間が過ぎ、チークタイムがきた。私は、「ダンスに誘ってきつて、お返しを。」と考へ、彼女の前に行き、「すみません、よかったら踊って下さい」と誘った。ところが、彼女は「私、ダンスはダメだから。」と冷たく断られた。私は、なぜか目に見えない糸で、その人へ寄せられたかのように、二人の体は舞合中央へと動いていった。



## 幹部の助言

二機 角田武士  
昭和五十六年の暮の察祭で、私は自分の一生の伴侶となる妻を見つけたことが出来た。

## 幸せへのパスポート

三機 桐木益美  
長崎県の島で生まれ育った私と、横浜育ちの妻との出逢いは、三機に着隊して一度目の昭和五十六年十二月、半蔵門会館で行なわれた駒場察祭であった。

## 同郷が縁結び

(四機) 小林好恵  
私と主人が知り合ったのは、今から三年前の十二月でした。私が友人に誘われ、本富士署のクリスマスパーティーへ行くと、その席に主人がいたのです。

## 置き忘れたマフラー

一機 児島高治  
私が妻と出会ったのは四年前の十月十七日、街には「シングルベル」が盛んに流れ、クリスマス色に飾られた日のことだった。

## それは察祭から始まった

六機 横田敏博  
それは、一昨年の察祭のことであった。我が六機の察祭は半蔵門会館で行われ、プラスチックの「ザ・バイオレット」による華やかなオーブリング演奏が始まった。

## 一目惚れ

五機 井手康敏  
私達は、一年前の察祭がきっかけで結婚した。よく「縁は異なもの、異なもの」と言われるが、本当に男女の縁は不思議なものだ。

## それは察祭から始まった

(中隊員)  
出合いから三月ほど経った頃、彼女の父親と会う機会があった。第一印象はたいへん厳しそうに感じたが、ある日、

私の隣には、小柄で色白の女性が座っていた。時間が経つにつれて、私の聴きかたも少しずつお互いが打ちとけて話す様になっていった。あつという間に時間が過ぎていった。

私の隣には、小柄で色白の女性が座っていた。時間が経つにつれて、私の聴きかたも少しずつお互いが打ちとけて話す様になっていった。あつという間に時間が過ぎていった。

翌日、出勤する時、察祭に出席された中隊長の一言は「角田君、結婚したんだね」とある。パスの中でも「どうなんだ、今日中隊に電話してあげ」等一日中言われ続けた。仕事が終わってから一度だけ電話した。彼女はその電話を受けた時、「なんて気の早い人だろう」と思った。

始めのうちは、みんな相手の様子やかがりやうな素振り、私は妻の友人と盛んに話をしたが、しかし不思議と妻の方に眼がくのぞくようになることもなかった。たがんで、妻に話しかけた時、明らかに愛を感じ、親しみを覚えたからだと思う。

それは、一昨年の察祭のことであった。我が六機の察祭は半蔵門会館で行われ、プラスチックの「ザ・バイオレット」による華やかなオーブリング演奏が始まった。

私達は、一年前の察祭がきっかけで結婚した。よく「縁は異なもの、異なもの」と言われるが、本当に男女の縁は不思議なものだ。

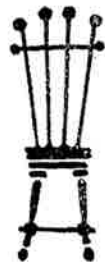
それは、一昨年の察祭のことであった。我が六機の察祭は半蔵門会館で行われ、プラスチックの「ザ・バイオレット」による華やかなオーブリング演奏が始まった。

出合いから三月ほど経った頃、彼女の父親と会う機会があった。第一印象はたいへん厳しそうに感じたが、ある日、





# 読者の広場



## 文化人は話し上手

松田 太刀雄

現代は「トキエンゲージ」だそうである。言葉は文化であり、人格そのものである、という考えが近ごろの通説になってくるらしい。

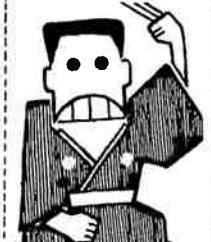
しかし、おしゃべり上手の人は、人間関係を滑らかにする術に長けていて、言葉の本来の目的は、人と人の間に介在する、さまざまな意志の橋を架けることにあるわけだが、場合によっては、目的の軌道を大幅に外れて、思わぬ方向に独り歩きしてしまうこともある。

それは立ち消えになつてしま

えば問題ないのだが、核分裂のようにまたたく間に拡がって、はじめはたった一言でも、それがいつの間にか、原水爆のような強烈な威力を発揮し、まったく無関係な人々にさえ思わぬ影響を与えることは、われわれのしばしば経験するところである。

とはいっても、人間誰でも上手にしゃべりたいし、粋な会話も楽しみたい。ところが言葉の多い少ないは、並々なぬ關心をもっているし、また、上手な会話を厭使して、なんとか緊密な人間関係をつくることに心を砕いているのである。だからこそ「トキエンゲージ」なのだろ

そのうえ「言葉は文化であり、メルヘンです。大いにもてあそばせよう」という司会者のオープニングメッセージではじまる人気テレビ番組もある。



「しゃべり上手は聞き上手、と いわれるように、話が上手な人は、決してのべつまくらにして、しゃべり続けていないものであり、自分の言葉で相手はどう思うか、いつか仕事をちゃんと思つづけられるかどうか、相手の意見を十分に理解してあげられるかどうか、そのあたりをしっかりとわきまをきいているか、いかに「話が上手な人」と、単なる「おしゃべりな人」との差を考へるのだろうか。皆さんはどう思われるのだろうか。

近ごろ、日本語の乱れがよく問題にされている。そう思つて気をつけていると、結構、へんな言葉がまかり通つていることがある。この間も、言葉のプロであるはずのアナウンサーが、**「風流の歌を『まんぼ』と言ひ、曲に衣を着せぬを『ころもを着せぬ』と平気でしゃべつてたのにはびびりた。**

もともと昔は正しいとされてた読み方が、いつの間にか違つた読み方になり、それが慣用語となつてしまつている例もある。例が「こうもう」で、独り言が「どくさんじょう」か、いつか私にたところ、実は間違つてゐる日本語を正しいと信じて使つてゐる場合がずいぶんあるのではないだろうか。そのほか敬語の乱れもずいぶん気になるのだが、これについてはまた別の機会に譲るとしよう。

そこでわれらの機動隊。これはばっかりは、その苦勞に對して、百万言をついで、と、と、と言葉なんかでは言ひ現わせない。ただただ言葉と和ひけた世代が四十才を占める頃から、この世代の自殺率が高くなつてきた。

## 頑張れ昭和ひとけた

田川 義一

ごく悪まれ、かつ限られた人々を除いて、大正生まれはいわゆる「現役」から徐々に消えようとしている。明治生まれは



この理由は、いろいろと考へられるだろうし、いろいろ言はれてくる、だが正しいといふこともないが、頑固で通してこれた明治・大正組と、就職した以上好過するが上司の責任と心得ている戦後派との間に大きな隙が生まれ、心身ともに疲れ果ててきた気の毒な世代に違いない。

この世代に、「おしん」のファンの意外に少ないというのもうなすける。身につまされ過ぎるからである。

つまりこの世代は、うつ病にかかりやすい状態に置かれていると言える。中高年サラリーマンの「うつ状態」には、重大な仕事をなした終えたあとの「荷降りうつ病」状態に伴う緊張から、の「転動うつ病」長年住み慣れた土地を離れる「引越うつ病」、会社内での処遇や、人事に絡む「上昇停止症候群」、家庭内のトラブルから転動、左遷、定年などストレスの芽、うつ状態の原因は、いくらでもところがある。

昭和ひとけた世代の自殺者多発傾向は、昭和五十年頃から目立つようになつたといふ。五才刻みに年代別の「自殺グラフ」を書くに、昭和ひとけた世代が必ずヤマを形成して来ている。昭和五十年以前は、二十才代の若者が、六十才以上の老人がヤマを描くのが特色だったが、それが昭和五十年頃、つまり昭和ひとけた世代が四十才を占める頃から、この世代の自殺率が高くなつてきた。

## 愚息に

新潟県 皆川 喜一郎

大なる新橋平野と眼下に広がる日本海に囲まれ育った息子には、小さい頃からの病弱が、

その手腕(?)は、他の兄弟に勝っており、また、人一倍自立心が旺盛であつたようだ。そんな息子は、現在の職業に落ち着くまではかなり深刻に悩んだようであつた。しかし、やや曲折はあつたにしろ、自分の進路を決めたからには、どんなに辛く苦しい事に遭つても逃げやうとせず、乗り越えてその責務を全うして欲しいと思つた。その成長するさまは目を見張るものがあり、「あの甘んじたがよきもこもこまでたくましくなつたものだ」と家族一同嬉しく思つと同時に、周囲の方々のお陰と深く御礼を申し上げる次第である。

聞けば、現在は機動隊勤務で大変重要な任務であると同時に、やり甲斐のある仕事との専任は違つても、同じ公務員(国立療養所勤務)に服する者として「奉仕の念」だけは忘れて欲しくない。

そして、常に初心に返り、また自分の目標に向かって謙虚な姿勢で、誰からも愛され信頼される警察官として頑張つてくれることを心から望むものである。

(審判員) 機動隊員の父 豊 兼利

▼当勤ます会の岩井理事長が去る三月十九日(日)心不全で逝去されました。謹んで哀悼をお祈りします。

## お知らせ

▼当勤ます会は今年で十年を迎えました。第八回通常総会および懇親会が六月六日(水)十五時より東京都千代田区準町一―半蔵門会館で開かれています。ご参加お待ちしております。

▼五十九年度会費納入をお願い致します。御多用のところ恐縮ですが、早目にお振込みのほどを、不明の点は事務局までお問い合わせ下さい。電話 〇三(二七)二二〇五〇

- 明日を支える 青春の機動隊
- 大内俊司
- 鈴木 實
- 杉尾 榮
- 谷本隆夫
- (株)スチールセンター
- 大東港運(株)
- 高周波熱錬(株)
- 木村政次
- 黒田 一
- 村上益一
- 国見山(株)
- 丸定産業(株)
- 明鋼材(株)
- 田島鋼材(株)
- 伊勢湾海運(株)
- 中村 一
- 三和鉄構建設(株)
- 不動鋼板工業(株)
- 飯田産業(株)
- 北越メタル(株)
- (株)佐藤製線所





発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

訓練の足音がこだまする

伝統を引き継ぐ新隊員



桶の操作要領

毎年春と秋には、多数のフレッシュな新隊員が機動隊の門をくぐるが、今年も春の定期異動で新隊員を迎えた。
厳しい新隊員訓練を、警視庁機動隊では四月十八日から一週間実施、二十五日に警備部長査閲を受けたが、初めて機動隊生活を経験する新隊員のために、各隊の先輩たちがいろいろとアドバイスしてくれる。
きょうも全国各地の各隊から訓練の足音がこだ



弾撃検査訓練

若さでチャレンジ
七機副隊長 馬場 義実
警視庁の機動隊が誕生してから、今年で満二十六歳を迎えるが、十二支から見れば三回目の節目の年となる。人間で言えばいわゆる年男の働き盛りという

望に満ちた機動隊生活を送ってもらうため、心掛けて貰いたいことを一点ぼと述べていた。
まずその一つは、チャレンジ精神を持ってもらいたい。
新隊員面接の際に感ずることだが、機動隊を希望して来た者の中には、昇任試験合格をはじめ、夜間大学卒業、柔剣道の助教、各種資格取得など、それぞれ自分なりにこだわりや目標を決めている者が多いなかで、辞令が出たから仕方ないことという者が少数一部にいます。
若者の集団である機動隊は、自分を磨き鍛える絶好のチャンスであるにもかかわらず、スタート地点で目標を決めていない者がいることは残念である。
選ばれて機動隊員となったからには、一日も早く隊生活に慣れ、心機一転、一つも二つでも自分の目標を決め、若さでチャレンジしてもらいたい。
そして何年か先には、全員が笑顔で退隊できることを願うものである。

「激動の時代」といわれた七十年代は、極左暴力集団による過激な街頭武装闘争や爆弾テロ等荒れ場の連続であった。当時の機動隊の華々しい活躍はマスコミを賑わした。直接国民の眼にふれた機動隊の姿は、世間一般に、強く逞しいイメージを与え、事実その通りであったと確信している。
最近では、荒れる現場が殆んどなく、一時のような機動隊の勇ましい活動の場が少なくなった。しかし反面、反皇室闘争が高まるとともに、日本の国際的地位向上に伴う重防警備の増加、外国人要人の警護警備など、一歩間違えば国の存亡に左右しかねない重要な任務を負って、日夜頑張っているのが現在の機動隊の姿である。
ここで、新隊員の皆さんを迎える副隊長として、これから希望している。
その二は、マンネリを排し、ライドを持ってほしい。
現在、我々の日常勤務は「忍」の警備といわれる重防警備の大きな比重を占めている。勤務の性格上、立番、遊動等の単調な勤務内容にならざるを得ないのが実情である。
ここに警備のマンネリ化を生ずる危険性がある。先に述べたとおり、重防警備の成否が国家存亡に左右するといふ、重要な任務に携わっていることにプライドを持ち、先輩達が残した輝かしい伝統を引き継ぐべく、毎日の警備を全うし、思い出多い機動隊生活を送ってもらいたい。皆さんのご健闘を祈る。

一服の清涼剤になれ

技術本部付 村本 正次 (前・一機中隊長)

私は、警部補になって初めて機動隊勤務の辞令をもらった。その時の中隊長のあいさつに、私は僅れ機動隊にきた……云々といった記憶がある。私の心の中には「機動隊は、規律厳正な男の戦場のイメージ」があっ



今月の重要

近年の異常気象、全地球を襲う公害、核中心の軍拡、人口、食糧、経済摩擦等、平和を脅かす諸々の事象、一方で殺人、放火、誘拐等の凶悪犯罪の増加、更に青少年非行等の教育上の諸問題——今日の世界特に日本の現状は、心ある人をして憂鬱せしめる事が多い。これらは単なる自然現象とか社会現象とかで片付けるには、余りにもきびしく極端な状態である。

教育改革に拍手

今日のような時代には、誰しも多少なれなれ危機感を持たない人は少ないと思うが、現実の仕事に忙殺されたり、レジャー享樂等に眩惑されて日常不感症・麻痺症に陥っている。
自由主義をばき違えて、戦後のアメリカナイズは、アメリカの良さを必ずしも理解せず欠陥のみを模倣し、我がま、放縱、無責任

義務を履行せず権利のみを主張する。しかし冷静に現実を観察するならば、甘んじようとは誰も言えない現在の時代であると思う。このような客観的状況の危機感にもまして、恐ろしいのは人の心の荒廃である。自由主義をばき違えて、戦後のアメリカナイズは、アメリカの良さを必ずしも理解せず欠陥のみを模倣し、我がま、放縱、無責任

自己研鑽

増井 忍

大雪の今冬も厳しい寒さのトンネルから抜け出し、暖かい太陽がいっぱい輝いている。若い希望に満ちた後輩が入隊してくる。私は、この時期が一番好きだ。早いもので、私が第一機動隊に着隊してもう一年半が過ぎた。一年半というのには、上から見てもらって、丁度真ん中、いわゆる中堅の位置だ。この中堅という立場はなかなかむずかしい。仕事やその他のことと、先輩がいるからまだ安心と思ったり、後輩がいるから細かいことはまかせてしまおうからというのなら、中途半端な気持ちになっているのが今の自分ではないかと反省をしている。

最近の機動隊員は若者が多いと言われている。あの安保管等や乗車を超えてきた先輩が聞いたらどう思うだろうか。現在の自分自身をよく見詰めてみる。若い体力がなにより性格が暗い、いつしかそんな機動隊員になってきていてはいないかと反省する。やはりこれは私達中堅のやる気、率先的な盛り上げが必要だと痛感している。私が新隊員のころは、部長に対して口もきけないほど怖かったが、仕事が終ると優しい先輩になり、いろいろの面を通して尊敬されていた。私もいずれの日に社長になると思ふ。その時後輩から尊敬されるように実務能力を高め、体力を向上させるための自己研鑽に努めている。

強い機動隊員になるには、体力、気力の充実が最も大切である。総監の年頭部隊出動訓練時の訓示にあった「たくましくなる運動」の一環として、わが隊では柔剣道はもちろんで、ボート、かけあし等種々のスポーツで体力を、座禅等で精神面の強さを鍛えている。世界に冠たる警視庁機動隊の一員として、先輩の素早い足跡を、伝承を引き継ぎ、更に新しいベロジに我々の足跡を残せるようにお互いに励まし合って頑張っていく。(中隊長)

厳しい新隊員訓練の先に希望の光が

三 蔵盛 史好

私は、第三機動隊へ着隊して早くも半年余りになろうとしていく。着隊した時の気持ちは不安定で、はたはた三機動隊員として立派にやっていると、さういふのが、先輩方に迷惑をかけるのではないかと不安を覚える。先輩方が強くて、自分も強くなるように、自然に自分も強くなるように、なっていく。

一週間の厳しい訓練が終わると新隊員の出動することが日ごとである。出動すると、その日の備品の資材関係準備したり、出動前はいろいろ忙しく、特に出動時間が早い時は大変だ。今年も新隊員が入ってきた。そのほとんどの人は、機動隊を希望して来た人だと思ふ。しかし、中には希望しないて来る人もいて、それが、いやいややだと思ふ。それは毎日がつらくなる。要は気持ちの持ち方一つだ。機動隊は自分の夢をか

なえてくれる職場だと思ふ。また一つに昇任試験である。所帯にいたときは、昇任試験の勉強など全然しなかった私が勉強をするようになったのである。隊員は、みんな少しの時間で、自分で勉強しているのだから、自然に自分も勉強するようになっていく。

「隊員となつたからには、何事も一歩も退かず前進する意気にならねば、私が一昨年の秋、四機動隊着隊する時に前任者担当であった上司から頂戴した」機動隊である。この春、隊員となった新隊員の皆さん、着隊に際し、大きな期待を抱いてきたことと思ふ。しかし、その反面、不安な気持ちも当然ある。特機訓練はあつても、初めての運動と勝負の連続した職場に最初は右往左往の毎日かも知れない。私もそうだった。だが、どうか、あせつたり「さうさう、どうか、あせつたり」単に受身的な期待をするのみにとどまらず、目標を立て、それに対峙すれば、不安は自らなくなる。

「青春とは競走だ!!」 溝口 徹

「青春とは競走だ」といふ言われ。私も相手を敵と意味で、お互いを認め、結果や勝負以前問題として、ただ全力を尽くして競いあう過程こそ、青春である。若さの特長だと思ふ。そして機動隊は、隊員一人ひとりにとってまさにそういう場ではないだろうか。

盗むこと(内) 考えて仕事をすること。以上の点を実行することである。三つは、機動隊生活を有意義に。青春時代は、二度とこない。若さ・情熱は、どんな事でも可能にする。柔剣道や昇任試験など取り組む材料はいくつもある。また、何でも話し合える友人を一人でも多く持つこと。気の合った同僚と一緒なら、どんな辛さでもへたれない。チーム・ワークは、強い機動隊の原点である。素直な気持ちで、集団の輪に溶け込み、誰からも好感を持って受けられるよう、自ら努力することだ。

三つの実践 酒井 満平

初めはの転動、しかも、厳しい新隊員訓練、勤務や生活環境の変化に戸惑いや不安を抱いていると思ふ。しかし、心配はない。機動隊は、幹部が隊員と一緒に汗を流しながら、一つひとつ確実に指導している。新隊員の能力、技量、長所を最大限に伸ばすべく、指導体制や環境も整えられている。

若さが溢れる寮生活 綾瀬 田中 和明 (前六機)

希望と不安を胸に抱いての入隊。寮長として忙しい日々を送る時期である。部屋割りから始まって大掃除を終えるまで、隊員諸氏に気持ちよく入寮してもらうための各種作業を行うこととなる。

疑問点は残すな 原田 誠樹

私が二度目の機動隊生活に入り、早くも半年が過ぎた。機動隊生活は、私にとって楽しくそして張りある毎日である。機動隊は、我が警視庁の要の部隊であり、大警備は我々機動隊が出動せずして警備の万全は期しえず、また警備実施の適否のいかんは、国際関係にも影響を及ぼしかねない。このように重要な下で、直接職務執行し

自分が可能性に挑戦し続けることこそ、世界一の機動隊を支える基幹隊員への道と確信している。(小隊長)

自分が日々を過ごすことに、私は心の張りし誇りを覚えずにはいられない。機動隊の先輩として、私のつたない体験からではあるが、少しでも役立てばいい。若干のアドバイスを送らせていただいた。

まず第一は、従事する警備現場周辺の、地形地物を頭に入れて勤務すること。自分の近くで事案が発生した場合、先輩や幹部が応援に来るまでは自分一人で対処しなければならず、また、的確な報告連絡をするにも必要となるから、自分の任務についたら、自分の配置箇所の近くには何かがあるのか、目の前の道路はどこへ続くのか等の点について、具体的に確認し把握する習慣を身につけておかなければならない。

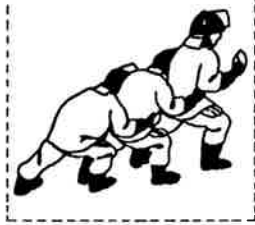
「雨風に逢うは雨風の白さか」といふ私の好きな言葉がある。雨の衣は雨風に打たれるほど白さを増すというので、人間も厳しさにさらされて初めてたくましくなる。そこで、初めて隊長と目撃したとき、新入隊員に対して厳しく指導し、雨風になる覚悟である。

自己への挑戦 笹本 孝

五年前に私が入隊した時の複雑な心境がふと脳裏をよぎった。そこで、一日も早く、新入隊員を両親に輝かせることに決めた。そのために、早くも、新入隊員を両親に輝かせることに決めた。そのために、早くも、新入隊員を両親に輝かせることに決めた。

現在九機では「たくましくなる運動」を推進中であり、全員が「常に一歩前進」を合言葉に頑張っている。隊員一人ひとりが、昇任試験、柔剣道昇段、各種資格取得等について、半期ごとの目標を設定し、その達成のために努力しようとする隊員をあげて取り組んでいく。

初めへの配置換え、未経験な仕事に対する不安、更に機動隊員としての抱負と期待感……



燃えたる情熱で後輩のけん引車となりたい。

三、伝統を大切に  
「至誠、団結、剛健」の隊訓「疾風の九機」のすばらしいニックネーム。先人の貴重な体験の積み重ねの上に、私は輝かしい伝統を受け継いできた。何事にも一丸となって前進する団結力、規律正しさ、仕事に対する厳しさ等、機動隊には長き伝統が受け継がれている。それらを全力で後輩に引き継がなければならぬ。

「いか、でまかせんとは、絶対に言わな、死ぬ気になつてやれ」入隊して間がないころ、機折しかかた私には、ある組長から一喝された。それ以後、何事にも必死に体当たりし、何回か辛苦を重ね、最近では、機動隊員に不可能なことはいと自負するようになった。

新入隊員の諸君、お互いに切磋琢磨し、何事にも一歩前進しよう。

### 技術を盗め

保安一課 弘田 房夫 (前・特曹)

毎年春と秋には、多数のフレッシュな新隊員が、目を輝かし胸を張って機動隊の門をくぐってくる。日ごろの味方存在である我々技術係員にとっては俄然活気がみなぎり忙し充実する時でもある。訓練計画をたて整備の点検補修をし、いざ新入隊員の入隊を待つ。

幾多の先輩隊員の血と汗と涙のしみついた訓練ウェア、服に身をこつみ、やや不安な新入隊員達、「気づかぬや新入隊員明日いや今日の首都治安の任を果たすため、お互い汗を流そうではないか」

この若い樹が、すくすくと天に向かかって育つかなは、わずか一週間の新隊員訓練期間で決するといつても過言ではなからう。それだけに我々も大奮闘を使う。

環境の変化にすぐには対応できず、緊張のあまり腹痛を起こす者、あるいは熱を出す者など

様々である。これらの者の体調を気づかぬが、短期間のうちに諸々の警備技術を体得させ、いかなる困難にも耐えうる、気力体力を養うのであるから容易ではない。これは技術係員と新隊員との一種の戦いである。この戦いに勝てなくて、なんでも一丸となって前進する団結力、規律正しさ、仕事に対する厳しさ等、機動隊には長き伝統が受け継がれている。それらを全力で後輩に引き継がなければならぬ。

「いか、でまかせんとは、絶対に言わな、死ぬ気になつてやれ」入隊して間がないころ、機折しかかた私には、ある組長から一喝された。それ以後、何事にも必死に体当たりし、何回か辛苦を重ね、最近では、機動隊員に不可能なことはいと自負するようになった。

新入隊員の諸君、お互いに切磋琢磨し、何事にも一歩前進しよう。

（中隊員）

数日後、左腰に板、右腰に特車のパッチが輝き、胸を張って先輩隊員の中を動き回っている新隊員の姿。これらが本場の修業だ。それに十分耐えられる君達だ。

機動隊は修業の場であり、若者、男の仕事場である。技を磨き、友を作り、先輩が善い血と汗で勝ち取った栄光の機動隊、そして心ある君、来た花も実もある機動隊。

(技術主任)



## 北から南から

### 厳しい各種訓練で精強部隊作り

#### 栃木県警察機動隊

一、沿革  
昭和二十九年八月一日、警ら交通課の附置機関として発足し、その後幾多の変遷を経て、三十七年四月一日、栃木県警察本部警備部機動隊として独立した。

二、勤務及び訓練状況  
柔道・剣道・銃撃生及び一般隊員で構成し、勤務は日勤制となり、毎朝点呼時に、一 団結と融和、二 勉学と訓練、三 自信と積極性を内容とした隊員の信条を唱和して一日が始まる。

訓練内容は、中隊部隊として治安警備訓練を中心に、災害警備訓練・爆発物処理訓練・レンジャー訓練・特殊訓練・山岳遭難救助訓練・柔道訓練等を反復訓練している。その他、月に三回、果敢・管機・二機と合同警備訓練を実施している。

三、出動事例  
(一) 連続爆弾事件 四十九年二月十九日、宇都宮中央警察署東武駅派出所に爆発物が仕掛けられたのをはじめ、連続五件の爆発物を処理した。

(二) 団休・植樹祭警備 五十五年九月の団休、五十七年五月の植樹祭が本県において実施されたが、機動隊は警備活動の中核として、重責を無事全うした。

(三) 川治プリンスホテル多数死者出火事件 五十五年十一月二十日に発生した川治プリンスホテル火災の出動では、煙と蒸気が熱気とともに立ちこめ、異臭を放ちくすぶり続ける瓦礫の山を、遺族の涙声と怒号を背に受けながら、連日捜索活動(四十五遺体)を遂げたが、筆舌に尽くせぬ辛苦の連続であった。

(四) 警備警備 天皇・皇后陛下は、毎年七月から九月にかけて約六十日間、那須御用邸で御静養されるので、御滞在中の身辺の安全に万全を期す警備警備を実施している。

国民の平穏な生活を守るのは警察であり、そして治安の最後の砦は機動隊である。訓練で泣いて実戦で笑える精強かつ強いな機動隊として、日夜厳しい訓練に励んでいる。

### 多種多様な出動事案に備える

#### 兵庫県警察機動隊

一、沿革  
兵庫県警察機動隊は、昭和二十七年十月兵庫県警察特別機動隊として発足し、その後幾多の変遷を経て現在に至っている。

二、日常の勤務  
特別の警備勤務を除き、大阪国際空港警備と神戸市内を中心とする治安警備、競輪・競馬場警備等に活動し、待機部隊は訓練等に励んでいる。

三、訓練状況  
治安警備訓練と機能別訓練を重点にしているが、当県は北

は日本海、南は瀬戸内海に接する広範囲な地域を管轄する事情から、出動事案も多種多様で、神戸市を含む阪神間の都市型災害、県北部の山岳(雪山)遭難事故・水難事故等に対応する必要がある。特別救助隊の活動は活発である。これら出動は時に隊員の生命に危険が及ぶ活動となるため、訓練は、非常に厳しめである。

特別救助隊は、三十五年十一月レンジャー隊、三十六年七月潜水隊、五十二年航空レンジャー

一隊がそれぞれ発足しているが、とくに潜水隊は、年間数十回の活動を続け、成果を収めている。

四、出動事例  
昨年は県外応援出動が二回。県内出動は、九月の豪雨により県下各所に大きな被害が発生し、延べ千数百名が災害警備に出動した。出動中のレンジャー隊は、訓練の成果を発揮して救助に不可欠な要する孤立重傷の被災者を、関係者の見守る中で救助し、被害を浴びた事例がある。

五、その他  
最後に当該隊の綱領、隊訓を紹介する。

☆ 綱領  
一われらは治安維持の戦士なり、率先挺身もって暴力を制す。

一われらは警察機動の先駆なり、規律厳正もって団結力を発揮せん。

一われらは警備活動の中核なり、心身兼備もって有事に備えん。

一われらは民主警察の精鋭なり、人権尊重もって国民の与望に応えん。

☆ 隊訓  
○ 透徹した使命感  
○ 厳正な自律心  
○ 強固な団結力  
○ 強固な団結力  
○ 強固な団結力

綱領等は毎日の朝礼時、大隊出動時に唱和することにしてはる。

### 四十二キロの行進訓練を実施

#### 埼玉県警察管区機動隊

埼玉県警察管区機動隊埼玉中隊は、三月に、道程約四十二キロ所要時間八時間に及ぶ行進訓練を実施した。

今年度は、県内でも例年になく雪の降る日が多く、寒い日が続いたが、訓練当日は、前日までの強い赤城おろしもびったりと止み、春を感じさせるうららかな日となった。

午前八時三十分熊谷市荒川大橋南詰に集結した中隊は、金子大隊長の指揮で出発し、赤城山を背に足どりも軽く目的地へと向った。

コースは、荒川右岸堤防上を整備されている荒川サイクリング道路で、熊谷市荒川大橋から川越市古谷運動場までの約四十二キロである。左方には山梨県埼玉県、長野県二県にまたがる大規模な指輪山、右方には東松山市の森林公園などのある比企丘陵地帯のなだらかなスロープを望み、のどかな田園風景の中を一路南下するコースである。

出発してから二時間経過した約十一キロ地点で、部隊の行進速度も極めて快調で、河川敷ゴルフ場での女性ゴルフファターのプレーを横目で見ながら歩き続け、時々隊員間の笑声が聞かれてきた。

四時間経過した約二十二キロ地点で昼食の握り飯歩きながら食べた。この頃から隊員の足裏に熱がこもり、汗が流れてくる。五時間経過した約三十二キロ地点で、六時間経過した三十二キロ地点

どして痛々しい姿で更に前進。出発して八時間経過し、春の夕日が奥秩父の山陰に入る午後四時三十分、全員が目的地である古谷運動場へ到着した。

この訓練の目的は、隊員の体力向上と忍耐力の養成、部隊の団結と士気の高揚であったが、その目的を十分に果たした。

### 第四回機動隊レスキュー競技大会

#### 警視庁警備部が主催



警視庁警備部主催による第四回機動隊対抗レスキュー競技大会が四月、隊員三百人の参加で開催された。

本年は、昭和四十九年に災害対策が創設されて十周年を迎えたことから、競技以外にこれを記念する行事も行われた。技能競技大会に先立ち警備部長の部隊長ら及びエンジニア、大規模なイベント、多目的災害活動車など各種災害救助資器材の展示が行われた。

技能競技大会は、団体競技と個人競技で機動隊対抗により競い合うが、団体競技は①結果、②工作資器材操作、③渡橋、④個人競技としてのレスキュー、⑤登はん競技の五種目。個人競技は、各隊から代表二名を選出し、「ロープ結索」「工作資器材操作」「渡橋」「背負救出」「担架組立」の五種目を一人で行い、「最も優秀なレスキュー隊員」を競う。

競技結果は、団体の部で総合優勝が第八機動隊、準優勝が特別車両隊。個人競技の部では第一位第八機動隊隊員谷原一、第二位第八機動隊隊員原秀、第三位特別車両隊隊員藤田大巡査であった。

最後に警備部長から「昭和五十八年中に、レスキュー隊は三百四十三人、レスキュー員は三百七十五人の人命を救助した。災害事故は多種多様であり、起り得るあらゆる事象に対応できる機、レスキュー隊員はさらに気力・体力の錬磨、技術の習熟に努め市民の期待に応えてもらいたい」との訓示があり、レスキュー隊員は、改めて災害救助活動の重要性を認識するとともに、レスキュー隊としての自覚をもった。

# 読者の広場



## 福翁自伝を読んで

滋岡 長平

高橋生ならいざ知らず、今頃何だと笑われるかも知れないが、本屋で何気なく買って何年か振りに「福翁自伝」を読んだ。

面白く読み終ったから気がついたのは、今年の秋発行される一万円札は福翁さんだと云うこと、それで此の本も新しく校訂発行されたのだと云うことである。

福澤さんの肖像が一万円札に起用された理由は、恐らく彼が長い鎖国の眼から開国に踏み切った明治と云う時代を代表する思想家であり、且つ教育者であったからであろう。

その意味で、此の在野人からの選抜は政府として、近來にないヒットだと思ふ。

歴史は、それを書いた人の立場を吟味して読まねばならぬと云う。自傳なるものは特にそうである。ルソンの「懺悔録」は最も虚飾のない自傳だと取沙汰されて居るが、福澤さんの自傳に於ては、福澤さん自身が「天は人の上に人を作らず」とか「封建制度は親の仇である」など建前論が判り易く立派であることは云うまでもないが、本音も率直にして正直であり、融通無礙である。「三例を挙げて見よう。

「天は人の上に人を作らず」とか「封建制度は親の仇である」など建前論が判り易く立派であることは云うまでもないが、本音も率直にして正直であり、融通無礙である。「三例を挙げて見よう。

福澤さんは漢字・洋字のみならず、台も修練されたようだが、暗殺がこわくて堪らない。用心で用心を重ねて行動される。外出の時間を選ばれる。終に大小を捨て、丸腰にまでなられたことを告白して居られる。

使命感を持たれた為でもあろうが、そう云う立論はされて居ない。

次に子供の時から酒が好きで、適量の饗宴の時など酒におぼれ居たことなど。酒の為には悪事を随所に告白し、反省をして居られる。

中年に至り、病気を患って漸く控えるに至った事も記して居られる。

その次に「自分は貨殖の為に進んで努力したことはない」と云う告白がある。

貨殖、理財の方便は充分知って居るが、初期の学校経営は兎も角金儲けを企てたことはないと云って居られる。

開明の先駆者でありながら、金を阿堵物とする武士意識が矢張り残って居たことを述べて居られる。

以上三つの意外な話の他にも、色々感銘を受けることが多く、この平凡の横に見える達人の傳記は老若一読に値すると思ふ。

翁の没年が現在の私の年に当たるが、翁の生涯と比べ、碌々として何等為す所がなかつた自分を省みながら筆を執つた次第である。

## 人生上達法

高島 浩一

ゴルフ、ゴルフで、どうしてこう日本人はゴルフ好きなのだろう。もともと話題に貧困な方も知れないが、休みの日にはゴルフの話、電車の中でもゴルフの話、酒の席でもゴルフの話、商談を始める前にもゴルフの話よくもまあ、ウンザリしないものがある。

そこを逆手にとって、「絶対にゴルフが上達する方法」、というところになると、ピンからキリまでゴルフの、誰かを目を輝かせて聞かせる。人をひきつけるには、もってこいである。

そのゴルフ上達法で、最近言われ始めているものに「3D」がある。サンシーといつてもいいかもしれない。でも、私が知っているのは、ゴルフの前の日は絶対に酒を飲まないとか、コースでボールを打つ前に精神をぐらつかせないとか、いろいろある。

第三は、デリカシー (DELICACY)、繊細、精緻、機敏である。無頓着という無神経というが、無頓着のすふとさでは上達は望むべくもない。

さて、この3Dにしても3Dに私たちが若い時分のコマーンシャルにあった「一姫二太郎三サンシー」の、あれではないか。

まず第一が、コンセンレーション (CONCENTRATION)、専念、専心、集結、集中、つまり集中力である。

第二が、コンフィデンス (CONFIDENCE)、自信、確信、度胸である。このためにさらにもろろん充分な練習や研究された作戦が前提となる。

第三は、コントロール (CONTROL)、管理、統制、制御である。これは、技術面と精神面と、二つの意味をもっている。

この三つが、いわゆる「3C」なのであるが、その後これに加えて、「3D」という新語が出て来た。

3Dの第一は、デザイアー (DESIRE)、願望、欲望、要求。これは、ボクサーがハンギャリーでなければいけない、というのに一派通るところがある。

第二は、デターミネーション (DETERMINATION)、決心、決意である。この意味も広いが、ゴルフの前日は絶対に酒を飲まないとか、コースでボールを打つ前に精神をぐらつかせないとか、いろいろある。

第三は、デリカシー (DELICACY)、繊細、精緻、機敏である。無頓着という無神経というが、無頓着のすふとさでは上達は望むべくもない。

さて、この3Dにしても3Dに私たちが若い時分のコマーンシャルにあった「一姫二太郎三サンシー」の、あれではないか。

まず第一が、コンセンレーション (CONCENTRATION)、専念、専心、集結、集中、つまり集中力である。

第二が、コンフィデンス (CONFIDENCE)、自信、確信、度胸である。このためにさらにもろろん充分な練習や研究された作戦が前提となる。

第三は、コントロール (CONTROL)、管理、統制、制御である。これは、技術面と精神面と、二つの意味をもっている。

この三つが、いわゆる「3C」なのであるが、その後これに加えて、「3D」という新語が出て来た。

## 旅の歌十題

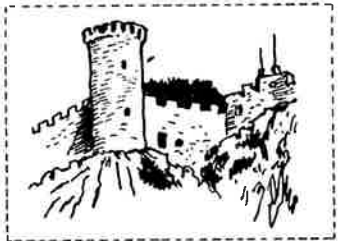
高橋 重廣



昨年暮に眼を病み、今日に至るまで読み書きにほとんど不自由しています。今回は私の拙い旅行の歌を紹介させていただきます。二三年前に、エーゲ海、スペイン、アルプスを妻と一緒に旅行した時のものです。

エーゲ海を旅して  
エーゲ海の藍の中より生れ出て  
群れ飛ぶかもめ天つ日に映ゆ  
ミコンスの町去らむと夕暮り  
灯りつけつ沖待つ船へ  
(サントリーニ島にて)

海なかゆ天に切り立つ断崖に  
鳥巢の如く集落のみゆ  
スペインを旅して  
抜けるよな空の青き夢のせて  
いま飛行機はスペインにつく  
大西洋の浪に挑みしコロンブスの  
猛き心を小さきこの舟に見つ  
(スイスアルプスにて)



静かなるルガノの朝の湖に  
墨絵の如く山々のあり  
(チェルマットにて)

馬車行けば鈴の音きこゆ、チェルマットの  
町に入りつつ心たゆたう  
(グリーンデルワールドにて)

青空に立ちて眺じらう如くあり  
ユングフラウとみじくも呼ぶ  
アイガ北壁、天に切りたつを  
息のむ思ひに見上げて居るのみ

## 苦しさに負けずに

青森県田中 太吉

東京では、この一月と二月は珍らしい大雪だったようですが、ここ青森県下北の地ではきほど珍らしいことではありませぬ。冬は毎日が雪と寒さとのたたかといつてよいでしょう。

私は、青森県下北郡佐井村の漁村で生まれ育った根つからの漁師です。一年のうち三割以上を海に出て漁業をしています。鯉、鱈、平目、昆布、わかめ、あわび、いかなどがとれます。津軽海峡を目の前に、固定公園の沖合いに出て、毎日楽しく働いています。

ここ佐井から約十五キロメートルの所に福浦部落があり、そのそばには自然に出来た奇勝の岩山があります。それぞれ名前がついていて、その高さも数メートルから百メートルに及び



- お知らせ
- △当励ます会は今年で十年を迎えました。第八回通常総会(水)および懇親会が六月六日(水)および五日より東京都千代田区準町一ー一 半蔵門会館で開かれます。ご参加お待ちしております。
- △当励ます会の中国支部総会が六月十四日(木)十七時三十分より広島県社会福祉会館で、また千葉支部総会が同じく十四日十一時から千葉グラウンドホテルで開催されます。△四月に匿名氏より五十万円、また小宮山英一氏より金一封のご寄付をいただきました。ありがとうございます。
- △五十九年度会費納入をお願い致します。御多用のところ恐縮ですが、早目にお振込みのほどを不明の点は事務局までお問い合わせ下さい。電話 〇三(二七)一〇五〇

- 鍛練の機動隊
- 新東運輸(株)
- (株)周東商会
- (学)嘉悦学園
- 岡部(株)
- 光洋商事(株)
- 日誠総業(株)
- 東南貿易(株)
- 高周波熱錬(株)
- 高島浩一
- 西戸榮一
- 姫田清美
- 橋本尚吾
- 加納保成
- 松田鉄鋼(株)
- 野口直志
- 堀口海運(株)
- 豊鋼材工業(株)
- 藤田金属(株)
- 近藤与助工業(株)
- 早達運送(株)
- 北海鋼機(株)